

みやぎの先人集

未来への加木^かけ橋

教師用指導資料 | 道徳実践事例集 |



宮城県教育委員会
平成27年3月

はじめに

先人の生き方に学ぶ「志」

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、まもなく5年目を迎えようとしています。本県では震災復興計画に基づく再生期がありますが、教職員の皆様には、教育の復興・再生に向け、これまで児童生徒一人一人への学習指導や環境整備、心のケア等に御尽力いただいたことに、改めて感謝申し上げます。

再生期に当たる今、子供たちが未来に目を向けた時に、「将来への夢や希望」、「他者を思いやり、貢献する心」をもち、震災からの復興や地域に貢献できる人材として健やかに成長していくことができるようにするためには、小学校から中学校、高等学校へと連続性のある「志教育」を推進していくことが重要です。その核となるものが、日々の授業であり、しっかりとした計画のもと、着実な実践が求められているところです。

平成25年3月に発行したみやぎの先人集「未来への架け橋」には、志をもちくみやぎの郷土を開いた先人たちが子供の頃に描いた夢や、他者を思い貢献しようという「志」を果たすまでの道のりが描かれています。もちろん時代背景は異なりますが、そこには、人と【かかわる】、目標達成に向けて解決策を【もとめる】、そして社会のために自分の役割を【はたす】という、人がよりよい社会を形成する上でいつまでも変わることのない営みがあります。子供の頃に、こうした先人の生き方や考え方に触れ、先生や友達と一緒に考えを深める時間をもつことは、子供たちの心をしなやかでたくましいものに育むものと考えます。

本冊子は、多くの先生方に、みやぎの先人集「未来への架け橋」を一層活用していただくことを期待し、授業を行う際に参考となる指導実践例を掲載したものです。子供たちが先人の生き方や考え方を学び、自ら夢や志をもつことができるように、小学校のみならず、中学校・高等学校等での指導にもお役立ていただきますようお願いいたします。

今後一層、それぞれの学校ならではの志教育が展開され、宮城の子供たちが次世代を築く担い手として大きく羽ばたくことを願っております。

平成27年3月

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

目次

1	「教師用指導資料」について	1
2	「みやぎの先人集 未来への架け橋」学習指導略案...	3
	・片平 観平	4
	・櫻井 喜吉	8
	・高山 善右衛門	12
	・高山 開治郎	16
	・河村 瑞賢	20
	・芦 東山	24
	・慶念	28
	・鎌田 三之助	32
	・佐々木 君五郎	36
	・二階堂 トクヨ	40
	・川村 孫兵衛重吉	44
	・大槻 俊斎	48
	・内海五郎兵衛	52
	・及川 甚三郎	56
	・フランク 安田	60
	・秀ノ山 雷五郎	64
	・落合 直文	68
	・林 子平	72
	・青柳 文蔵	76
	・大槻 磐溪	80
	・富田 鐵之助	84
	・一力 健治郎	88
	・酒井 げん	92
	・志賀 潔	96
	・本多 光太郎	100
	・土井 晩翠	104

1 教師用指導資料について

学習指導略案を参考に、学校の実情に応じた授業づくりを進めましょう

本冊子は、みやぎの先人集「未来への架け橋」の道徳の時間における一層の活用を図るために、各学校で授業づくりを行う上で参考となる学習指導略案を掲載した教師用指導資料です。平成25年度末に配布した「みやぎの志教育推進 授業や活動のヒント集2」に掲載された参考事例に加え、資料分析表や学習過程の実践例、板書計画例、参考資料などを掲載していますので、各学校での実践や指導計画の作成・改善等に御活用ください。

本冊子に掲載している学習指導略案を参考にして、各学校・地域の特色を生かした道徳の授業を実践していただきたいと思います。

本資料の活用の仕方

(1) 学習指導略案について

学習指導略案は、みやぎの先人集「未来への架け橋」の26話分を作成し、掲載しています。

資料は、1話につき4ページで構成されており、下図のような項立てになっています。「志教育との関連」も記載していますので、道徳及び志教育の年間計画立案・修正にもお役立てください。

「4 指導上のポイント」は、実際に授業を行う上で、事前に準備しておくことや実践する上で工夫したいことなどが記載されています。授業づくりの参考としてください。

◇学習指導略案の項立て

<p>第5・6学年 道徳学習指導略案</p> <p>1 主題名 2 資料 3 本時の指導 (1) 本時のねらい (2) 資料分析と活用</p> <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																					<p>(3) 志教育との関連 (4) 学習過程</p> <table border="1"><thead><tr><th>学習活動と主な発問</th><th>指導上の留意点・評価</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	学習活動と主な発問	指導上の留意点・評価									<p>(5) 本時の評価 (6) 板書計画</p> <table border="1"><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>			<p>4 指導上のポイント</p> <p>5 参考資料 (1) ワークシートの例など</p> <table border="1"><tr><td></td></tr></table>	
学習活動と主な発問	指導上の留意点・評価																																			

(2) 参考資料について

「5 参考資料」の項には、授業で使うことができるワークシートや掲示物が紹介されていますが、下の表示がついた資料は義務教育課のホームページから電子データをダウンロードすることができます。必要に応じて加工するなどして御利用ください。



宮城県教育庁義務教育課のホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gikyou/>

(3) 副教材DVDの活用について



各学校に配布しているみやぎの先人集「未来への架け橋」副教材DVDには、26話（1話10分間程度）の朗読が収録されています。

DVDには、本誌には掲載できなかった先人ゆかりの資料や場所の様子、新たなイラストなども加えられており、児童生徒が目と耳でストーリーやその背景を理解できるよう支援します。授業の前に視聴させたり、授業中に部分的に視聴させたりするなどして御活用ください。



指導資料の「2 教材分析と活用」の項に、左のようなマークで、朗読DVDのチャプター番号を表示しています。頭出しをして視聴する時に御利用ください。

DVD収録の動画は、動画共有サイト「YouTube」の<宮城県インターネット広報資料室チャンネル>でも見ることができます。

今後の取組

- 実践を試みながら、年間指導計画に朱書きを書き加えるなどして、道徳年間指導計画の一層の自校化を進めるなど、道徳教育推進教師や志教育担当教諭を中心に取り組みやすく実効的な方法を工夫しましょう。
- 各学校でも、実践例や指導案を累積していくなど、自校化の観点を意識しながら取組を進めましょう。
- 小学校では、全体計画及び年間指導計画にみやぎの先人集「未来への架け橋」を位置付け、道徳や諸活動に生かしましょう。

2 「みやぎの先人集 未来への架け橋」 学 習 指 導 略 案

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 郷土のために ○4-(7)郷土愛・愛国心 ・1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「片平 観平 ― 白石の町の水を豊かに ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.1 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

郷土の先人の業績と、その過程における苦労や努力を知ることを通して、人や社会のために行動することの尊さを感じ取り、郷土のために貢献しようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
水害に苦しみ続ける白石の人々 ①	その様子を見て、片平観平はつぶやきました。 「また農民が辛い目にあう。」	大堰が壊れ用水路に水が流れてこないことは、命にかかわる大きな問題であったことを捉えさせる。	○大堰が壊れてしまうことによって農民はどんな辛い目にあったのでしょうか。
大堰ばかりに頼らずに白石川の水を引く方法を考える観平 ②	何とか人々を救うことはできないものかと考えていました。 「大堰ばかりに頼らずに、白石川の水を引くことはできないだろうか。」 観平は考えこむことが多くなりました。	隧道を掘る計画を願った観平だったが、技術的にも資金面でも大変厳しい状況であったことに気付かせていく。	○観平はなぜ、自分の財産を投げうってまで工事を進めようとしたのでしょうか。
自分の財産を投げうって隧道の工事を始めた観平 ③	「資金がないのなら、わたしがお金をすべて出します。ぜひやらせてください。」 さすがの観平もしばらく考えこんでしまいました。	困難を極める隧道工事に加え、蔵王の噴火、洪水、大飢饉、度重なる災害に見舞われ、このまま工事を続けてもいいものか悩む迷いや苦しみにも目を向けさせるようにする。	◎工事を続けることが困難な状況の中、観平はどんなことを考えていたのでしょうか。
借金をしてまで工事を続けていたある日大雨により隧道が貫通 ④	(こんなときだからこそ、ここでやめるわけにはいかない。この工事は、白石の人々を救うことになる) 観平はこう自分に言い聞かせました。 (この大雨でまた隧道がくずれてしまわなければよいが) 観平は、気が気ではありませんでした。 観平は、しばらく流れこむ水を見つめていました。	私財を投じた上に、借金をしても工事を続けた観平の強い思い、私欲ではなく郷土のための行いの尊さに気付かせていく。	○観平はなぜ、困難な工事を続けたのでしょうか。 ○流れこむ水を見つめながら、観平はどんなことを考えていたのでしょうか。 ○隧道を掘ったり植栽をしたりした観平の生き方について考えたことや心に残ったことをまとめましょう。

<p>現在も市民の手で受け継がれている、きれいな水の流れを守る努力</p> <p style="text-align: center;">5</p>		<p>観平の志が現在も受け継がれていること、自分たちできれいな水を守っていくことが大切であることに気付かせる。</p>	
---	--	---	--

(3) 志教育との関連

- 観平の迷いや苦しみにも目を向けさせることで、自分たちと同じ人間であることに気付かせ、共感させていくようにする。またその生き方から、自己の利益のためだけではなく人のため社会のために生きる生き方があることに気付かせ、自分には何ができるか考えさせるようにする。
【かかわる】 【もとめる】
- 学校や地域での自己の役割や責任について考えたり、大人になったら「こんな仕事がしたい」「こんな人になりたい」という思いを膨らませたりして、志シートに記入する。【もとめる】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
<p>導入</p> <p>5分</p>	<p>1 「川干」の写真から、白石の町では水を大事にしてきた歴史があることを知る。</p> <p>○ 何をしている写真か分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川干だ。 川干の時に川を掃除したことがあるよ。 <p>2 本時の資料、片平観平について知る。</p> <p>○ 片平観平は、江戸時代にこの道具で450メートルものトンネルを掘っています。どのように掘ったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械がないから人間が少しずつ掘った。 10年もかかったって書いてあるよ。 <p>○ 大堰が壊れてしまうことによって農民はどんなつらい目にあったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲み水や洗濯の水がなくなる。 農作物がとれなくなる。 	<p>◆ 白石が昔から川や用水路を大事にしてきたのはどうしてなのか疑問をもたせ、本時の資料につなげていく。</p> <p>◆ 掲示資料を使い、道具も工事技術も発達していない時代に大きな工事を行った大変さを感じさせる。そのような大変な工事を行った人物が片平観平であることを知らせる。そして、どんな人物なのか興味をもたせ、本時の展開につなげていく。</p> <p>◆ 大堰がたびたび壊れることで、生活用水、農業用水、消火のための水がなくなる不安や壊れるたびに修理にかり出されるなど、大きな苦労があったことを捉えさせる。</p>
<p>展開前段</p> <p>20分</p>	<p>3 資料を読んで、観平のしたことや心情について話し合う。</p> <p>○ 観平はなぜ、自分の財産を投げうってまで工事を進めようとしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大堰ばかりに頼っていたのではだめだ。 もう農作物の不作や、繰り返される堰の工事に苦しむ農民の姿を見たくない。 <p>◎ 工事を続けることが困難な状況の中、観平はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事を続けることができるだろうか。 こんな時だから工事はやめた方がいいかも。 	<p>◆ 技術面でも資金面でも難しい工事であり、簡単に始められなかったことにも気付かせるようにする。</p> <p>◆ 人々を助けるために私財を投げうってでも隧道を作りたいという観平の強い思いを感じさせるようにする。</p> <p>◆ ワークシートに観平の思いを想像して書かせることで、各自の考えをもたせるようにする。</p> <p>◆ 噴火、洪水、大飢饉が重なり、食べるものも足りない中で隧道工事を続けることは困難であり、観平も迷い悩んでいたことに気付かせるようにする。</p> <p>* 困難な状況の中で悩んでいる観平の思いを想像して書いているか。(ワークシート)</p>

	<p>○ 流れこむ水を見つめながら、観平はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事をやめないでよかった。 ・ これで白石の人々が救われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ トンネルが貫通した幸運な出来事だけにとらわれず、それまでの観平の長い間の苦労や努力が報われたことに着目させる。 ◆ 観平は隧道だけではなく、その後も白石の人々の暮らしのことを考え続け、水源涵養のため愛宕山に杉の植栽を行ったことにもふれておく。
展開後段 15分	<p>4 観平の行動や生き方について考えたことや心に残ったことについてまとめ、これからの自分を考える。</p> <p>○ 観平の行動や生き方について考えたこと、心に残ったことをワークシートに書きましょう。そして、これからの自分について考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 観平の行動や生き方について心に残ったこと、そして、自分にできることは何かを考えさせ、ワークシートにまとめさせる。 * 人々のために力を尽くした観平の苦労や努力を知り、思いに共感し、自分のこれからについて考えようとするのができたか。(ワークシート、発言、観察)
終末 5分	<p>5 本時の学習を振り返り、自分の考えたことや心に残ったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりすることで、ねらいとする価値を深める。 ◆ 資料の最後の部分に触れながら、観平の志が今も市民に受け継がれきれいな水の流れを守る努力が続けられていることを確認する。

(5) 本時の評価

- ・ 郷土の先人の業績、その過程における苦労や努力を知り、人や社会のために行動することの尊さを感じ取って、郷土のために自分にできることは何か考えようとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画


白石の町の水を豊かに 片平 観平

「川干」
川や用水路を大事にしてきたのはなぜか

(江戸時代)
水害 大堰がたびたびこわれる
・ ・ ・ 命に関わる大問題

隧道をつくろう
× 資金 × 技術

自分の財産で



噴火 大きな
洪水 大きな
さすの観平も
しばらく考えこんだ
大ききん
工事は続けられない

こんな時だからこそ
やめるわけにはいかない

白石の人々を救いたい

隧道貫通
しばらく流れこむ水を見つめていた
(今)きれいな水の流れを守る努力
(これから)

4 指導上のポイント

- ・ 隧道工事の困難さ、度重なる災害、資金不足などの当時の状況を理解させることが難しいため、掲示用資料を用意しておき、視覚的に概要をつかませるようにする。
- ・ 資料が長文であるため、事前に読ませたり、朗読DVDを活用したりして、展開部分の話合いに十分に時間をとることができるように工夫する。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

データダウンロード可能
FREE Download

◎ 今までの自分
これからの自分は・・・

◎ 観平の行動や生き方について考えたことや心に残ったこと

道徳ワークシート

片平 観平

白石の町の水を豊かに

年 組 ()

◎ 工事を続けることが困難な中、考えこんでしまった観平の心の中は？

大ききん

洪水

噴火

(2) 掲示用資料の例

参考資料『わたしたちの郷土』白石市・蔵王町・セヶ宿町教育委員会

『ちょっと素敵なまちの物語 片平観平物語』白石青年会議所

データダウンロード可能
FREE Download

<p>川千の日</p> <p>春と秋に水路のそうじが行われる</p>	<p>白石の人々が昔から川や用水路を</p> <p>大切にしてきたのはなぜ？</p>	<p>白石川より高い町の中に水を引く</p>	<p>隧道(トンネル)があれば</p>
<p>白石の町の水を豊かに</p> <p>片平 観平</p>	<p>江戸時代</p>	<p>困難を極めた隧道(トンネル)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樋とのみで掘る ・ 掘った岩くずを運び出す ・ 蔵王の噴火 ・ 洪水隧道がくずれる ・ 大ききん 	<p>流れこむ水を見つめながら観平は・・・</p>
<p>現在の蛇淵ダム</p>	<p>蔵本村大堰(おおぜき)</p>	<p>蔵王からの隧道工事の支援金で</p> <p>雲岩山に数万本の杉の苗が植えた</p>	<p>現在も大切に利用している切通(きんどし)</p>

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 一人の命も無駄にしない ○3-(1)生命尊重 ・4-(3)役割・責任

2 資料 「櫻井 喜吉 ー わけへだてなく命を救う ー」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.5 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

一人でも多くの命を救うため労苦をいとわず尽力した「櫻井 喜吉」の生き方から、命がかけがえないものであることを知り、自他の生命を尊重する心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼いミヨを救えなかった喜吉 ①	喜吉は、すぐさま手おくれであることに気づきました。 そのセツの姿を、喜吉はじっと見つめていました。	幼い命を救えなかった喜吉の悔しさや無力感を考えさせる。	○泣きくずれる母親セツをじっと見つめている喜吉はどんなことを考えていたでしょう。
船迫の人たちを救おうと決心した喜吉 ②	考え抜いた末に、喜吉は船迫にも診療所を作り、日曜日に診察することにしました。 治療費はすべて無料にし、薬代も喜吉が負担することにしました。	喜吉の一人でも多くの命を救いたいという思いや志について考えさせる。	○喜吉はどのような思いから、治療費も薬代も無料の診療所を船迫に作ったのでしょうか。
船迫の人たちの治療を行う喜吉 ③	喜吉はますます忙しくなりました。 喜吉はさっそく薬を用意して持たせ、おかゆも差し出しました。 喜吉は小さな女の子の手に薬をそっと置き、力強く握りしめながら言いました。 喜吉はかさつく両手を洗いながら、ふうっと大きく息を吐き出しました。	大変な思いをしながらも、皆のために必死で診療を続ける喜吉の心の中を考えさせる。	◎かさつく両手を洗いながらふうっと大きく息を吐き出した喜吉はどんなことを考えていたでしょう。
人々の心の中に生きる喜吉 ④	「一人の命も無駄にしない。」という思いを生涯つらぬき通した喜吉の思いや志は、時代を越えて今も語りつがれています。	喜吉の行動の尊さに気付かせ、生命の大切さについて深く考えさせる。	○村人達は、どんな気持ちで喜吉の「髪塚」を建てたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 無料の診療所を開き、農民を救おうとした喜吉の心情を考えさせることで、喜吉の生命を大切にする思いと、志の強さや高さに気付かせるようにする。【かかわる】
- ・ 喜吉が「医者だからできることに取り組んだこと」に気付かせることで、自分の長所を生かして人のために役立てることは何かなどについて考えさせる。【もとめる】 【はたす】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	1 事前に読んだ資料の感想を発表する。 ○ 喜吉の生き方について、どんなことを思いましたか。 ・ 立派な人だ。 ・ たくさんの命を救うなんてすばらしい。	◆ 喜吉に対しての各自の思いを発表させることで学習への興味をもたせる。
展開 前段 20分	2 喜吉の略歴を聞き、喜吉へ関心を高める。 3 幼い命を救えなかった喜吉の心情を考える。 ○ 泣きくずれる母親セツをじっと見つめている喜吉はどんなことを考えていたでしょう。 ・ 救えなくて悔しい。 ・ 今度は同じことを起こさないぞ。 ・ どうしたらたくさんの人を救えるのだろう。 4 船迫の人たちを救おうと決めた喜吉の心情を考える。 ○ 喜吉はどのような思いから、治療費も薬代も無料の診療所を船迫に作ったのでしょうか。 ・ 救えなかった少女の代わりに、この人たちを救いたい。 ・ 困っている人を何とかして救わなくては。 ・ この人たちを救うためにできることは何だろう。 ◎ かさつく両手を洗いながらふうっと大きく息を吐き出した喜吉はどんなことを考えていたでしょう ・ この少女を救うことができよかった。 ・ あの少女も救うことができればよかったのに。 ・ 疲れたけれど、命を守ることができた。明日からもがんばろう。 ・ 明日もたくさんの人が来るだろう。がんばらなくては。 5 船迫の人々の気持ちについて考える。 ○ 村人達は、どんな思いで喜吉の「髪塚」を建てたのでしょうか。 ・ 自分たちのためにがんばってくれた喜吉さんをずっと忘れないため。 ・ 喜吉さんへの感謝を忘れないため。 ・ 喜吉さんの思いを伝えるため。	◆ 喜吉の略歴を紹介する中で、地域のために活動したことを伝える。 ◆ 喜吉の心情を考えるため、「わが子の名を～喜吉はじっと見つめていました。」を繰り返し音読させる。 ◆ 喜吉の写真や挿絵を活用しながら、診療所を開設した喜吉の思いを考えさせる。 ◆ 喜吉の心情を考えるため、「喜吉はかさつく両手を洗いながら、ふうっと大きく息を吐き出しました。」を繰り返し音読させる。 ◆ ワークシートを活用し、喜吉の命に対する思いの強さについて、自分なりに考えを深めさせる。 * 命を救うことができた喜吉の心情を共感的にとらえながら想像して書いているか。(ワークシート、発言) ◆ 喜吉に命を救われた村人達の心情を考えさせることで、命の大切さについての考えを深めさせる。

<p>展開後段 15分</p>	<p>6 喜吉の生き方を通して、生命の大切さについて考える。 ○ 喜吉がわけへだてなく救おうとした「命」について、あなたはどのように考えますか。 ・ 命はお金持ちも貧乏も関係なく大切なものだ。 ・ 家族が悲しむから、命は大切にしなければならぬ。</p>	<p>◆ 喜吉がわけへだてなく救った命に関してそれぞれの思いまとめさせることで、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。 * 喜吉がわけへだてなく救おうとした命について、その大切さに気付きながら自分の考えをまとめることができたか。 (ワークシート、発言)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>7 教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ これまでに命の大切さを強く感じた経験について話すことで、ねらいとする価値についての考えを深めさせる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ わけへだてなく命を救おうとした喜吉の生き方から、かけがえのない命の大切さに気付くことができる。

(6) 板書計画

命

救えてよかった
あの子も救えたら
つかれたなあ でも
これからはがんばろう

ふうっと 大きく 息を吐き出す

無料の診療所
 たくさんの人を救いたい
人の役に立ちたい
命を守るんだ

幼い命を救えなかった
 くやしい
母親に申し訳ない
同じことは繰り返したくない

一人の命もむだにしない

わけへだてなく命を救う
櫻井 喜吉

喜吉の
写真

4 指導上のポイント

- ・ 資料が長文であるため、資料は事前に読ませたり、朗読DVDを視聴させたりするなどして、本時の中で全文通読は行わない。導入段階で、喜吉に対して感じたことを発表することもあらかじめ伝えておく。
- ・ 喜吉の心情を考える際、喜吉の行動が書かれている文章を繰り返し音読することも効果的である。
例) 「わが子の名を繰り返し呼び続けるセツのさけびにも似た声だけが、静まりかえった部屋中に響き渡りました。そのセツの姿を、喜吉はじっと見つめていました。」
「喜吉はかさつく両手を洗いながら、ふうっと大きく息を吐き出しました。」

5 参考資料

(1) ワークシートの例

	<p>○ 命の大切さについて考えよう</p> <p>かさつく両手を洗いながら、ふうっと大きく息をはき出した喜吉は、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>櫻井喜吉 —わけへだてなく命を救う—</p> <p>年 組 ()</p>
	<p>○ 喜吉がわけへだてなく救おうとした「命」について、あなたはどのように考えますか。</p>

(2) 掲示用資料の例

データダウンロード可能
FREE Download



喜吉の髪をまつる「髪塚」(船迫)



髪塚への登り口(船迫)



櫻井喜吉の写真

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 ふるさとに豊かな大地を ○1-(2)希望・勇気・不撓不屈 ・4-(7)郷土愛・愛国心

2 資料 「高山 善右衛門 — ふるさとに豊かな大地を — 」

出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.9 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「高山 善右衛門」が、郷土への思いから決意を固め、社会のために貢献したことを理解し、その心情に迫ることで、人や社会のために行動することの尊さを感じ取らせ、目標に向かって努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
父親の願いを知り、将来を思い悩む善右衛門 1	外交官になるために勉強を続けようか、角田に帰って家業を継ごうか。		
生活に苦しむ人々の姿や水不足の問題から、用水を作る計画を考える善右衛門 2	用水ができれば、人々の暮らしはきっと良くなるだろう。	善右衛門が人々のことを真剣に考え、行動していることに共感させる。	○水を作ろうと決心した時、どのようなことを考えていたでしょう。 ◎凶作の中で、工事を始めようとした時の善右衛門の決意は、どんなものだったのでしょうか。
町議会や町の人々からの工事への反対 3	自分のすべての力を注ごう。 「みなさん、町に用水ができたときのことを考えてみてください。」		
善右衛門の熱意が伝わり理解が得られ、1年に及ぶ難工事の末に用水が完成 4			
明治40年、丸森から角田の用水に通水されたことを喜ぶ人々と善右衛門 5 6	用水の流れと町の人々の笑顔を交互に見つめながら、何度もうなずいた。	工事完成までの善右衛門の思いをくみ取らせる。 善右衛門を支えてきた人々の存在に気付かせる。	○角田用水がやっと完成し、用水の流れと町の人々の笑顔を交互に見つめながら、何度もうなずいた善右衛門は、どんなことを思っていたのだろうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 水不足の問題を解決するために用水工事を成し遂げた善右衛門の働きから、多くの人々の苦心の上に現在の自分たちの生活が成り立っていることに気付かせる。【かかわる】
- ・ 地域に貢献した善右衛門の生き方に共感し、人や社会のために貢献しようとする心情を育てる。【もとめる】【はたす】

(4) 学習過程

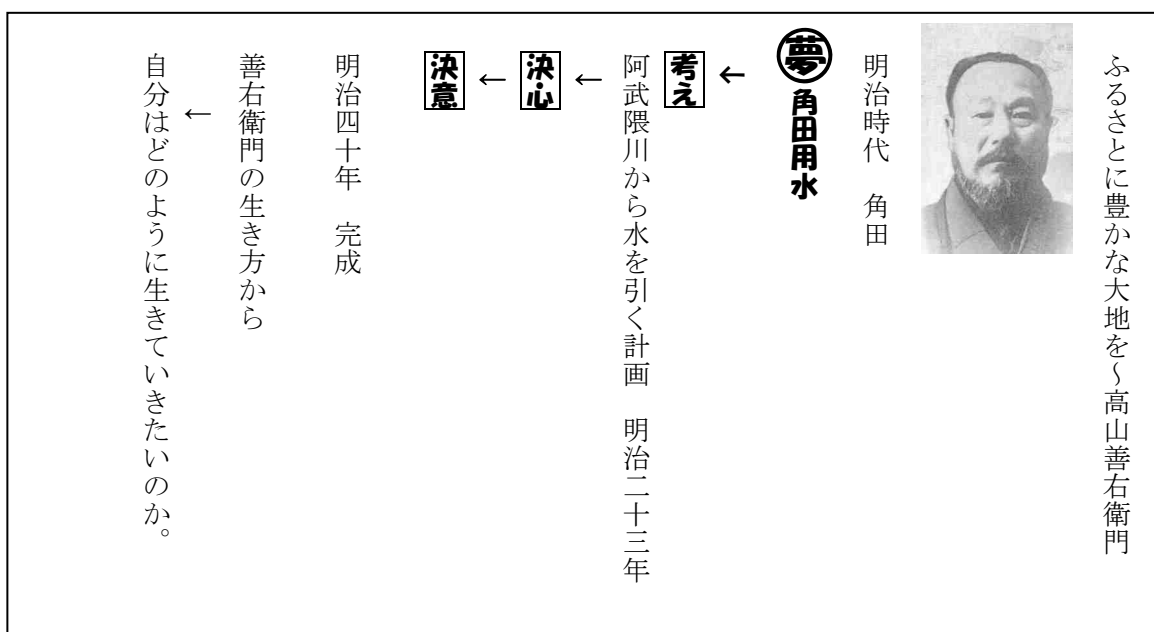
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	1 善右衛門の一生を年表に沿ってつかませる。 2 「高山 善右衛門」の願いについて知る。 ○ 善右衛門は、角田をどうしたいという願いをもっていたのでしょうか。	◆ 掲示資料から、善右衛門のことと、当時の角田の様子を見た善右衛門の願いを知り、角田用水について知る。
展開 前段 25分	3 資料から話し合う。 ○ 角田に用水を作ろうと決心した時、工事への反対の声や2年続けての大凶作の中、善右衛門はどのようなことを考えていたでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どうやってみんなを説得しようか。 ・ 成功しなかった時の借金の責任はとれるか。 ・ 暮らしはきっと良くなる。町は発展する。 ・ 用水ができて米がたくさん取れば、費用は何とかなる。今の技術なら工事は実現できる。 ・ 上水期成同盟会の力で、何とかできるだろう。 ◎ 明治39年、2年続けての大凶作の中で、工事を始めようとした時の善右衛門の決意は、どんなものだったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物がない人たちを助けてあげよう。 ・ 計画に反対する人たちに、工事の必要性をうったえ、説得しよう。 ・ 工事現場で働いて賃金をもらうことで、生活は楽になる。 ・ 借金で町の人に迷惑をかけない。 ○ 明治40年、角田用水がやっと完成し、用水の流れと、町の人々の笑顔を交互に見つめながら何度もうなずいた善右衛門は、どんなことを思っていたのでしょうか。	◆ 水不足の問題を解決したいという善右衛門の思いや、父の代の議会で話し合われた技術面の難しさや資金のことなどから、善右衛門自身が調べたり、相談したりして、次第に決意を固めていったことを押さえる。 ◆ 反対している人々の説得や借金など、心配していたと思われることも想像させる。 ◆ 善右衛門に協力し、支えてくれた人々や上水期成同盟会の存在にふれて、一人の力では実現できなかったことを感じ取らせる。 ◆ 大凶作で食べ物がなく、お金もない人々の苦しい生活を想像させる。 ◆ 善右衛門が、人々のことを真剣に考えて行動していることに共感させる。 ◆ ワークシートに善右衛門の用水への思いを想像して書かせ、発表させる。 ◆ 想像して書けない児童には、板書や他の児童の発表を参考にして書かせるよう支援する。 * 自分なりに善右衛門の思いをくみ取って書けたか。 (発言, ワークシート)

<p>展開後段 10分</p>	<p>4 これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。 ○ 今日の学習から、善右衛門について考えたことや心に残ったことを中心に、これからの自分の生き方について話し合おう。</p>	<p>◆ 感想だけではなく、自分が人や社会のためにどうしていきたいのか話し合わせる。 * 希望や勇気をもって、社会のために貢献したり、努力したりする意欲をもつことができたか。 (ワークシート, 発言)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。 善右衛門の孫である高山彰さんのメッセージを聞く。</p>	<p>◆ 現在の献花式の様子と、彰さんのあいさつから、自分の志を強くもち、生きていくことの大切さを考えさせる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 困難を乗り越え、努力して自分の思いを成し遂げた善右衛門に共感することができる。
- ・ 高山善右衛門の生き方から、自分も社会のために貢献したり、諦めずに努力したりする気持ちをもつことができる。

(6) 板書計画




4 指導上のポイント

- ・ 資料は、事前に児童に読ませたり、朗読DVDを活用したりして内容の理解を図る。本時では必要な部分のみ範読することで、読む時間を短縮することができる。また、4年社会科「郷土を開く」の学習の後に、道徳(志教育)の時間を位置付けると、先人についてより深く考えることができる。
- ・ 角田用水を作る善右衛門の決意を十分に感じ取らせることで、自分と関連させて努力や希望、勇気をもたせるようにする。

5 参考資料

(1) ワークシートの例


 データダウンロード可能
FREE Download

道徳ワークシート 年()

高山善右衛門くふるさとに豊かな大地をく

角田用水の完成

用水の流れと、町の人々の笑顔を交互に見つめながら、善右衛門は何度もうなずいた。



今日の学習で善右衛門について考えたことや心に残ったことを中心に、自分はこれからどのような生きていきたいかをまとめましょう。

(2) 掲示用資料の例

参考・引用文献等

角田市教育委員会・宮城教育大学：「高山善右衛門と角田の大地を潤す上水」

角田市郷土資料館企画展：「高山上水翁と毛利揚水翁」

 データダウンロード可能
FREE Download

ふるさとに豊かな大地を 高山善右衛門

高山善右衛門の一生

1

高山善右衛門
明治時代 角田

生活に苦しむ人々
水の問題



2

水の問題
ため池

- 農業用水
- 水不足
- 水争い



3

角田用水

完成当時



現在の角田用水



4

ため池の干拓

角田用水の完成後、ため池の干拓が行われた。



5

現在の献花式の様子

毎年、たくさんの方が参加して、献花式。高山善右衛門さんの勇気あるお話を聞かれます。



6

(3) 高山 彰 氏のメッセージ

角田用水の水の音を聞くと、おじいさんの声だなとうれしく思います。どんなに苦労があっても、自分の意思を通すことは大切なことなんだなと、おじいさんから色々教えてもらいました。私も角田市の市長をつとめさせていただき、皆さんのために少しでも役に立たせていただけて、うれしく思っています。

-15-

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 ふるさとを思い続けて ○4-(7) 郷土愛・愛国心 ・関連 1-(2) 不撓不屈

2 資料 「高山 開治郎 ― 桜並木を後世に ―」

(出典：みやぎの先人集「未来への架け橋」p.13 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

郷土のことを常に思って努力を続けた「高山 開治郎」の生き方を知り、郷土を愛する心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
「一目千本桜」の名で名所になっている現在の大河原町 1	「なんて美しい桜なんだろう。」 この桜並木は、ある一人の人物の壮大な夢の結晶なのです。	学習への意欲を喚起する。	○自分の町の自慢は何でしょう。 ○一目千本桜はいつごろどのようにしてできたのでしょうか。
東京に働きに出なければならなくなった開治郎	みんなはどうしているだろうか。 いつか必ず胸を張ってふるさとに帰るぞ。それまでのしんぼうだ。	郷土への強い思いや希望を捨てずに仕事や勉学に励んだことに気付かせる。	○ふるさとの景色を思うたび、開治郎はどんなことを思っていたでしょう。
努力の末に実業家として成功した開治郎 2	東京ではこんな豊かな暮らしをしているのに…。何か自分にできることはないだろうか。	郷土の人々を心配する気持ちや郷土に恩返しをしたいと常に思っていた強い気持ちに気付かせる。	○ひとりふるさとの方角を見て開治郎はどんなことを考えていたのでしょうか。
白石川の堤防完成の知らせを受ける開治郎 3	今こそ恩返しをするときだ。何かもっと心に残るものを、みんながずっと喜んでくれるものをおくりたい。		
地元の職人たちと植樹する開治郎 4	これだ。今わたしにできることは、目の前がぱっと明るくなったような気がしました。	未来に生きる生徒たちにどんな思いを抱いているのかも含めて開治郎の思いに気付かせる。	◎生徒たちを見つめながら開治郎はどんなことを考えていたのでしょうか。
柴田農林学校の生徒たちが若木を植える姿を見つめる開治郎 5	開治郎は、一生懸命若木を植樹する生徒たちを見つめました。		
開治郎の意志を引き継いで植樹や世話を続ける地域の人々 6	桜は毎年咲き続け、人々に希望と笑顔をあたえてくれたのです。 今も人々の心に、開治郎の思いが咲き続けています。	保全活動や植樹が脈々と続けられていることに気付かせる。	○桜の寿命が過ぎてもお、桜が毎年咲き続けているのはなぜでしょう。

(3) 志教育との関連

- ・ 開治郎の境遇や苦勞、希望を失わず努力して成功を収めた不撓不屈の精神について、彼の境遇や当時の社会情勢を補足説明しながら考えさせる。【もとめる】【かかわる】
- ・ 二度にわたって桜の苗木を寄贈したことから、心内語を中心に開治郎の意志の強さと郷土に対する愛情について考えさせる。【もとめる】
- ・ 開治郎の志を受け継いで保全活動を続けてきた人々の努力について、「桜の会」の方の話を紹介し、自己の生き方を考えさせる。【もとめる】【はたす】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 5分	<p>1 郷土の自慢について話し合い、資料への方向付けをする。</p> <p>○ 高山開治郎が生まれた地である大河原の自慢は何でしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜・一目千本桜・桜まつり・景色がいい、など <p>○ 一目千本桜はいつごろどのようにしてできたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔・おじいさんの小さい頃 	<p>◆ 学習への意欲を喚起するために、一目千本桜の映像資料をモニターで拡大表示する。</p> <p>◆ 桜まつりの様子のスライド資料を参照させながら、全国的に有名な場所であることをつかませる。誰が、いつ、何のために、どのようにして作ったのか疑問をもたせ、資料を開かせる。</p>
展開 前段 15分	<p>2 資料を読んで話し合う。</p> <p>○ ふるさとの景色を思うたび、開治郎はどんなことを思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜこんな目に遭わなくてはいけないのか ・帰りたい ・つらい ・寂しい <p>○ ひとり、ふるさとの方角を見て開治郎はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懐かしい ・みんなは元気だろうか。 ・ふるさとに何かしたい。 ・自分にできることはないだろうか。 	<p>◆ 開治郎の思いを想像しながら聞かせる。児童が心内語に着目するよう、間を取って範読する。</p> <p>◆ 開治郎の境遇について、当時の交通事情などを補足し、簡単には帰郷できなかったことを押さえる。</p> <p>◆ つらく厳しい生活にもかかわらず、郷土への強い思いや、成功して帰郷するという希望を捨てずに仕事や勉学に励んだことに気付かせる。</p> <p>◆ 米騒動や世界恐慌など当時の社会情勢について、都市部と農村部の暮らしぶりが大きく違うことなどを補足説明する。</p> <p>◆ 郷土の人々を心配する気持ちや郷土に恩返しをしたいと常に思っていた開治郎の強い気持ちに気付かせる。</p>
展開 後段 20分	<p>◎ 生徒たちを見つめながら開治郎はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまく根付くだろうか。 ・大きく育ててほしい。 ・満開の桜が目浮かぶなあ。 ・みんな喜んでくれるに違いない。 ・これでふるさとに恩返しができた。 ・あとは頼んだよ。 <p>3 これまでの自分を振り返って自己を見つめる。</p> <p>4 その後の桜の様子について知る。</p>	<p>◆ 中心発問について考え、ワークシートに自分の考えを書かせることで、開治郎の郷土を愛する心情に迫らせる。</p> <p>◆ 未来に生きる生徒たちにどんな思いを抱いていたのかも含めて開治郎の思いを想像して書かせる。</p> <p>* 自分なりに開治郎の思いをくみ取って書けたか。(ワークシート)</p> <p>◆ ペアで話し合うことにより、互いの意見を知り、自分の意識を高められるようにする。</p> <p>◆ 机間指導をして意図的指名に生かす。</p> <p>◆ 彼の生き方について考えたことや、心に残ったことなど、これまでの自分を振り返りながら考えさせるように促す。</p> <p>* 「郷土愛」や、「不撓不屈」の観点から自分を振り返ることができたか。(発言、ワークシート)</p> <p>◆ 桜の寿命以上の年月が経っていることをおさえ、保全活動や植樹が脈々と続けられていることに気付かせる。</p>
5 終 分末	<p>5 教師の説話(大河原さくらの会の方からの手紙)を聞く。</p>	<p>◆ 地域を愛し地域のために努力した人の話をする。 (◆ 手紙資料を読み聞かせる。)</p>

(5) 本時の評価

- 郷土のことを常に思い努力を続けた「高山 開治郎」の生き方を知り、自分も郷土に誇りをもって自分もその担い手として郷土を大切にしていこうとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画

桜並木を後世に〜高山開治郎

○一目千本桜
東北を代表する桜の名所
さくら名所百選


○十五歳…東京へ下働き
・つらい
・なぜじぶんだけが

○ふるさとをはなれて三十数年
東京で成功を収める
・ふるさとに何かできることは、
ふるさとのために

○一生懸命若木を植樹する
生徒を見つめながら。

開治郎の夢

○開治郎について考えたこと
心に残ったこと



写真：町 HP より

九十年たった今も
彼の志は受け継がれている

4 指導上のポイント

- 桜の名所として名高い「一目千本桜」について、スライド資料を参照させて、その成り立ちに関心をもたせる。
- 本文を読み、開治郎が苦境にもめげずに努力して、夢を成し遂げたことに気付かせ、開治郎の思いを想像してワークシートにまとめさせる。
- 展開後段で、桜の寿命が過ぎてもなお咲き続けている写真を提示し、本文最後の「今も人々の心の開治郎の重いが咲き続けています」という表現について考えさせる。
- 保全活動に携わっている方からの手紙資料を読み聞かせ、開治郎の意志が地域の多くの人々の手によって脈々と引き継がれていることについて考えさせる。

5 資料

(1) ワークシートの例

○道徳ワークシート 六年組 番()

高山開治郎〜桜並木を後世に〜


宮城を代表する桜の名所〜一目千本桜

今日の勉強で心に残ったこと…

(その他、今日の勉強で学んだこと、大切に思ったこと、感想など)

☆開治郎のふるさとへの思いを考えよう。

○一生懸命若木を植樹する生徒たちを見つめながら、開治郎はどんなことを思っていたのだろう。



(2) 展開後段で用いる手紙資料

《まどめの説話・「大河原町さくら会」の方から》
 わたしたちは大河原町で一年を通して一目千本の素晴らしさを伝える活動をしています。
 会社員や自営業、主婦の人やもう退職している人など様々です。主に大河原南公園にセンダイヨシノという品種の桜の苗木を植樹してきました。そのほか甲子公園や、白石川沿いの新しくできたさくら大橋のたもとにも植樹しました。
 桜の季節以外にも、夏は下草を刈ったり、秋には病気の枝を切ったり、冬から春にかけては花芽がつくように肥料をあげたり幹を保護したりとやるのがたくさんあります。
 もちろん、わたしたちの他にも、ライオンズクラブの人や柴田農林の高校生など、いろいろな団体の方や地域の人々も保全活動に取り組んでいます。みなさんの中にも河川敷のごみ拾いなど清掃活動に参加した人がいるかもしれません。
 そうやって、毎年、桜の季節を迎え、満開の一目千本桜を前にしたとき、美しさとともに胸がいっぱいになります。「開治郎さんの夢見た桜並木が今年も咲いたなあ。」「開治郎さんの志を受け継いだ人々の力で、また無事に咲かせることができました。」と安心した気持ちと、この素晴らしい桜がある大河原のことをとても誇らしい気持ちになるのです。
 そして、これからも開治郎さんの遺したこの桜並木を末永く守っていききたい、守っていかねばと、気持ちを新たにしています。

(3) 掲示用資料の例 (スライド資料) * 写真はすべて大河原町 HP より 切手は日本郵便 HP より

高山開治郎～桜並木を後世に～
 大河原・一目千本桜のひみつ

観光客(4月の桜まつり期間だけで)
なんと!
25万人!
 (大河原町民の10倍以上!)

全国的に有名で、東京や大阪、外国からも桜を見に来る。切手にもなっており、東北を代表する桜の名所。

東北のさくら切手のデータ

弘前城の桜	三春桜	一目千本桜
三春海桜	三春海桜	一目千本桜・三春海桜
川上桜(久保野)	三春海桜	一目千本桜・三春海桜
三春郵便局	三春郵便局	三春郵便局

白水郵便

現在、白石川沿いに1062本あるそうです。

- いつから?
- いったいだれが?
- どうやって?
- なんのために?

桜(ソメイヨシノ)の寿命は約70年

- 開治郎さんが最初に桜を植えてから約90年が過ぎようとしています。

しかし、今でも毎年とても美しく咲いています。

どうしてなんだろう?

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 責任をもって役割を果たそう ○4-(3)役割, 責任 ・ 1-(5)真理・創意進取

2 資料 「河村 瑞賢 — 東廻り航路を拓く —」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.19 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自分の責任を果たすために、創意工夫しながら確実にやりとげる「河村 瑞賢」の考えや行動から、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす心情を高める。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
船を見送りながら、瑞賢の強い気持ちが表れているつぶやき。 ①	これまで準備を進めてきた。きっと無事に江戸までたどり着くはずだ。 多くの人々の協力があって、ようやく船が出発できたのだ。やりとげた満足感でいっぱいだ。	東廻りの航路が決まるまで多くの工夫をしてきたからこそ言える、強い責任感が表れている言葉に共感させる。	◎「これで、きっと江戸へ米を送ることができる。」と船を見送りながらつぶやいた時、瑞賢はどんなことを考えていたでしょう。
13歳の頃、工事の様子をいつも見ていた。	石や木材で沼地を埋めたり堀を作ったり、町や屋敷ができていく様子は本当に興味深いものだ。		
20歳を過ぎた頃、仕事を確実にやりとげ、周囲から認められる。	短期間で工事を終えるには、人足をやる気にさせる方法や仕事の段取りが大切だ。		
土木工事を成功させ瑞賢の腕が評判になる。	努力や工夫を重ねると成功させることができる。		
幕府から御城米を早く安全に江戸に運ぶことを任せ、工夫をしながら東廻りの航路を決める。 ②～④	原因をつき止めれば安全に運べる。船乗りの話をできるだけ聞こう。熟練した船頭を乗せよう。 船が沈まない工夫をしよう。話を聞くたびに考えよう。南西の風を利用すればいいのだ。	航路が決められない時に、瑞賢が考えたことや実際に行動したことに共感させる。	○江戸までの航路が決められない時、瑞賢はどんなことを考えたり行動したりしたでしょう。
阿武隈川を整備し、瑞賢堀を作る。 ④	もっと安全に御城米を運ぶには、阿武隈川の実備も必要だ。		
東廻り航路を使い大量に江戸に送ることに初めて成功。仙台藩に大きな利益を生み出す。 ⑤			

(3) 志教育との関連

- ・ 創意工夫しながら，確実にやりとげる瑞賢の考えや行動に目を向けさせることで，自分たちの役割や責任を自覚し，主体的に探求させるようにする。【もとめる】
- ・ 本時の感想を振り返ったりまとめたりしながら，自分の果たすべき役割を認識させ，学習後に委員会や係活動の中で，自分の役割や責任を果たすことで人のために役立つ喜びを体験させる。【もとめる】【はたす】

(4) 学習過程

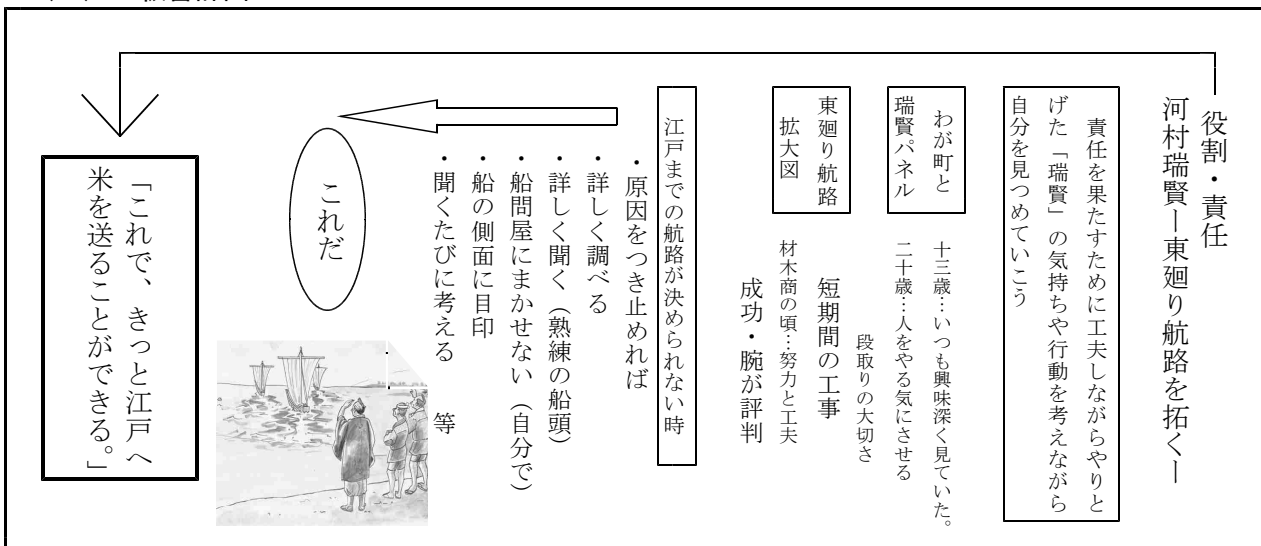
段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 3分	<p>1 責任のある仕事を任された時の気持ちについて考える。</p> <p>○ 委員会の委員長や縦割り班の班長，学校やクラスの代表等，責任のある仕事を任されたときの気持ちについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にできるだろうか。 ・ 少し不安だけど頑張ろう。 ・ 高学年だからやらなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高学年になり，責任のある仕事を任された経験について考えさせ，短時間で価値への方向付けを図る。 ◆ 学校での経験だけではなく，家庭での留守番や家族に頼まれた仕事等も責任のある仕事として考えさせ，どの児童にも価値の方向付けを短時間でさせる。 ◆ 発表は自然に，つぶやきも大切にしながら取り上げる。
展開 前 段 28分	<p>2 本時の学習の見通しを立てる。</p> <p>○ 「役割や責任をはたす」ことについて「瑞賢」の気持ちや行動を考えながら，自分を見つめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割や責任について考えていこう。 ・ 「河村瑞賢」とはどのような人だろう。 <p>3 資料を読んで，瑞賢の気持ちや行動を考え話し合う。</p> <p>○ 江戸までの航路が決められない時，瑞賢はどんなことを考えたり行動したりしたでしょう。(読み・約2分 対話・約3分)</p> <p>(1) 気持ちや行動について，ペアで話す。</p> <p>(2) ペアで話したことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因をつき止めれば安全に運べる。 ・ 海運の方法を詳しく調べる。 ・ 詳しく聞く(熟練の船頭)。 <p>◎ 「これで，きっと江戸へ米を送ることができる。」と船を見送りながらつぶやいた時，瑞賢はどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>(1) ノートに自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無事に江戸までたどり着いてほしい ・ 安全に運べる準備を進めてきた。きっと江戸までいくはずだ。 ・ 多くの人々の協力があって船が発航する。やり遂げてよかった。 <p>(2) 自分の考えを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 瑞賢の気持ちや行動を中心に聞かせる。(p.19～p.20 9行目まで) 分かりにくい言葉は解説を入れながら聞かせる。 ◆ 幕府から仕事を任されてからの瑞賢の様子(P.20 10行目～P.21 12行目)を，気持ちや行動に気を付けて読ませ，気付いた部分に線を引かせて，役割や責任について考えさせる。 ◆ 児童の読みの後，東廻り航路の拡大図や，パネルなどを使いながら分かりやすく説明することで，瑞賢の考えや行動を理解させる。 ◆ 特に記述させず，対話することにより理解を深める。 * 航路が決められない時の瑞賢の心情をとらえられたか。(対話中の発表・本文の線) ◆ 13歳からの経験や，工夫と行動，人々の協力があり，船を見送ることができた瑞賢の強い思いに共感させながら，自分の考えを言語化させる。 * 責任をもって，工夫しながらやり遂げた瑞賢に共感することができたか。(記述内容・発表) ◆ 意図的指名で考え方を深める。

<p>展開後段 7分</p>	<p>4 自分たちの生活を振り返る。 私たちの道徳「集団における役割と責任」を読む。(P150～P151)</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩からアドバイスされているようだ。 こつこつと行う仕事も大切だ。 自分の考えをもちながら他の人の意見も聞くことは大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 瑞賢の考えや行動は瑞賢だからできたのではなく、役割や責任をはたす場面は、普段の生活の中で身近にあることに気付かせるために、「私たちの道徳」の資料を読ませる。 ◆ 早く読み終わった児童には、「河村瑞賢」の資料も読み返していいことを伝え、資料を読むことを通して自分自身の生活を振り返らせる。
<p>終末 7分</p>	<p>5 本時の学習を振り返り、今までの自分を見つめながら、ノートに感想をまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 瑞賢はいつもどうするか考えていたから、やり遂げることができたと思う。 たくさんの人の考えを聞きながら、いろいろな工夫をして責任感があると思う。 今までよりずっと責任について考えるようになった。 みんなの役に立てていなかったと思うので、これから役に立つことをしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本時の学習を通して、瑞賢について考えたことや心に残ったことをまとめたり、自分の今までの生活と瑞賢の行動を比べながら感想を言語化させる。 * 責任をもって役割を果たす瑞賢の気持ちに共感し、今までの自分の生活を見つめることができたか。(記述・発言) ◆ 友達の発表で共感できた言葉を赤ペンでメモしてもよいことを知らせ、ねらいとする価値観を高める。

(5) 本時の評価

- 責任をもって自分の役割を果たす「河村 瑞賢」に共感することができる。
- 「河村 瑞賢」が東廻り航路を拓くまでに考えたことや行動したことに共感し、自分の行動を見つめ直すことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

〈導入〉

- どの児童にも責任のある仕事を任された時のことを想起させるために、実態に応じた仕事の例を指導者が具体的に提示する。

〈展開前段・後段〉

- 資料は全文読むのに、児童だと平均して3分半ほどではあるが、時代背景や使われている言葉が難しいので、朗読DVDを試聴させたり、指導者が解説したりしながら幕府に任される前までを読み、瑞賢の創意工夫と役割を果たしていく責任感の強い性格をつかませたい。本文にはないが、瑞賢は日数も費用も今までの半分で済むようにし、仙台藩に貢献したことを補足すると、より功績がイメージしやすくなる。
- 瑞賢が仕事を任されてから、東廻り航路を拓くまで工夫したことが書かれている部分を自力で読ませ、ペア学習で対話させることで深める。次の中心発問では書く時間を確保する。
- 本資料を先人の偉業として終わらせないように、役割と責任について身近な文章が書いてある「私たちの道徳」を活用すると、効果的である。

〈終末〉

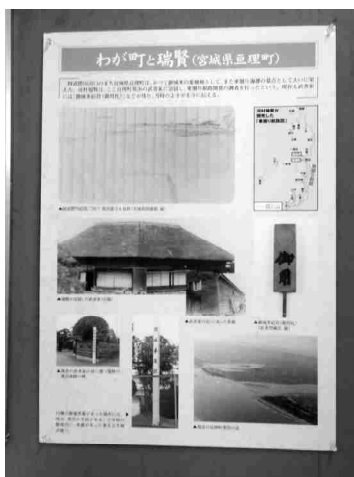
- 書く時間を確保し、児童の書いた内容を確認しながら意図的指名の計画を立てる。いい言葉や文章は机間指導の際に取り上げて読んだり、朱書きを入れて賞賛しながら児童のよさを見取る。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

- ワークシートを使用せずに、道徳の時間には自分の考えや友達のことを書けるような罫線のある用紙や道徳の時間に継続して使用できるノートを活用することも可能である。
- プリントやノートには「瑞賢の気持ち」と書いてから、自分の考えを箇条書きで書く。

(2) 掲示用資料の例（亶理町立荒浜小学校所有資料）



●わが町と瑞賢

瑞賢の功績について詳しく簡潔にまとめてあり写真も大きいので授業の中で生かせる資料と思われる。



●阿武隈川の上流と下流についての資料



●荒浜で使用した船

瑞賢堀で使用した船と形が似ているため児童はイメージしやすい。



●阿武隈川の船運の資料（1番手前）等 他 阿武隈川に関するパネル

●郷土「わたり」第6号「阿武隈川の水運と荒浜」（小冊子の複写 著者：佐藤 孝平）

●わがふるさとの川 阿武隈川（高学年用少冊子）：国土交通省福島工事事務所作製

「昔、阿武隈川には船がいききしていました」（p. 7～8・縦180mm×横250mm）

江戸時代と明治時代の舟運について、小学生の高学年に分かりやすく、図や写真で解説している。主な資料：「110年前の阿武隈川の絵」「米の積み出しの絵」「阿武隈川舟運図」

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 自己の生き方をつらぬく ○4-(3)役割・責任 ・1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「芦 東山 ― 自己の生き方をつらぬく ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.23 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自分の役割を自覚して責任を果たすとともに、主体的に全体の向上に役立とうとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
肝入りの家に生まれ、小さい頃から学問に励む。			
19歳で仙台藩の武士、26歳で儒学者として仕え、27歳、藩主に意見書を出す。儒学者としての学問を続けながら、医学や薬草、冷害なども学ぶ。	苦しい農民の生活を少しでもよくし、ふるさとのために役立つ人になってほしいという祖父の願いを、儒学者として自分が果たそう。		
43歳のとき「他人預け」という厳しい刑罰を受ける。	藩に役立つことを意見することが自分の役目だ。儒官としての自分の考えは決して間違っていない。いつか分かってもらえるときも来る。	儒学者としての信念を曲げようとしなかった東山の心の強さを捉えさせる。 「他人預け」の刑のつらさに共感させながらも師として最も尊敬していた学者「室鳩巢」のすすめであった刑法の作成に取りかかり、儒学者としての責任を果たそうとした東山の信念を捉えさせる。	○「何らかのとがめがあるかもしれない」と思いながらも、東山はどんな思いで藩に意見を出したのでしょうか。
刑法の本の作成に取りかかる。	師として尊敬していた室鳩巢の願いを叶えよう。どのような立場に置かれても、儒学者としての役割や責任を果たそう。 この時間を人のためになることに生かしていこう。		○「今だからこそできる」とつぶやいた東山は、どんな気持ちで刑法の本を書き進めたのでしょうか。
17年をかけて18巻の「無刑録」を完成させる。	儒学者としての自分の役割を果たせた。少しでも多くの人に読んでもらい、理想の社会をつくるために役立つ本になればうれしい。	祖父や「室鳩巢」の願いを叶えるとともに、儒学者としての役割と責任を果たし、自己の生き方をつらぬき通した東山の生涯に共感させる。	◎「無刑録」を完成させたとき、東山はどんなことを考えたのでしょうか。
	祖父や「室鳩巢」の願いを叶えるこ		

	とができてよかった。 今、自分にできることをやり遂げることができてよかった。		
23年間の幽閉生活を終え、ふるさとに帰る。 5			

(3) 志教育との関連

- ・ 儒学者としての信念を曲げようとしなかった東山の心の強さや、幽閉されながらも東山が師として尊敬していた学者「室鳩巢」のすすめであった刑法の作成に取りかかり、自分の役割と責任を果たそうとした東山の信念を捉えさせるようにする。【もとめる】
- ・ 様々な困難にぶつかりながらも、辛抱強く自分の役割と責任を果たして生きた姿を知ることにより、今の自分と照らし合わせ、自己の生き方について考えを書いたり発表したりする。【もとめる】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	1 本時のねらいとする価値にふれる。 ○ 役割や責任を果たせたときと果たせない時の気持ちについて考えてみましょう。 ・ 役割や責任を果たせたときはよい気分。 ・ 役割や責任を果たせなかったときは不快。 ・ 役割や責任を果たそうと思ってもうまくいかない時などは複雑な気持ち。	◆ 自分の経験について話し合いながら資料への方向付けを図る。
展開 前段 20分	2 本時の資料「芦 東山」の生き方について学ぶことを知る。 3 資料を読んで、東山の気持ちや行動について話し合う。 ○ 「何らかのとがめがあるかもしれない」と思いながらも、東山はどんな思いで藩に意見を出したのでしょうか。 ・ 藩に役立つことを意見することが自分の役目。 ・ 儒官として自分の考えは間違っていない。 ・ 親の身分ではなく目上の人を尊重すべき。 ○ 「今だからこそできる」とつぶやいた東山は、どんな気持ちで刑法の本を書き進めたのでしょうか。 ・ 師として尊敬していた室鳩巢の願いを叶えよう。 ・ どのような立場に置かれても、儒学者としての役割や責任を果たそう。 ・ この時間を人のためになることに生かしていこう。 ◎ 「無刑録」を完成させたとき、東山はどんなことを考えたでしょう。ワークシートに書いて発表しましょう。 ・ 儒学者としての自分の役割を果たせた。 ・ 少しでも多くの人に読んでもらい、理想の社会をつくるために役立つ本になればう	◆ 「芦 東山」の人物絵を掲示する。 ◆ 「儒学者」や「儒官」の仕事を教える。 ◆ 祖父の願いや「儒学者」としての信念を曲げようとしなかった東山の心の強さを捉えさせる。 ◆ 「他人預けや幽閉生活」の意味を教える。 ◆ 「執筆する東山」の挿絵を提示する。 ◆ 「無刑録」の意味を教える。 ◆ 「他人預け」の刑のつらさに共感させながらも、師として尊敬していた「室鳩巢」のすすめであった刑法の作成に取りかかり、儒学者としての役割や責任を果たそうとした東山の信念を捉えさせる。 ◆ 完成した「無刑録」の写真を提示する。 ◆ 祖父や「室鳩巢」の願いを叶えるとともに、儒学者としての役割と責任を果たし、自己の生き方をつらぬき通した東山の生涯に共感させる。

	<p>らしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祖父や「室鳩巢」の願いを叶えることができてよかった。 ・ 今、自分にできることをやり遂げることができてよかった。 	<p>* 23年間幽閉されながらも、儒学者としての役割と責任を果たそうとした東山の信念を捉えることができたか。（発言、観察、ワークシート）</p>
展開後段 15分	<p>4 これまでの自分を振り返り、これからの自分の在り方について話し合う。</p> <p>○ 自分の役割や責任を果たすことについて考えたことをワークシートに書いて発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の都合を優先して役割や責任を果たせなかったことが、多くの人の迷惑になることに気付いた。 ・ 自分の役割や責任を果たすことに努力することが周りの人のためになるばかりでなく、自分自身にも新たな希望や勇気が芽生えてくることが分かった。 	<p>◆ 資料から考えたことを基に自分の経験を振り返り、自分を見つめさせる。</p> <p>◆ 単に経験を想起させるのではなく、その時の自分の気持ちや周囲の人たちのことについても考えさせる。</p> <p>◆ 自分の役割を自覚し、最後まで頑張っ て責任を果たすことが、他人だけでなく自分の喜びにもつながることに気付かせる。</p> <p>* 本時を通して考えたことや書かれたことに基づいて、自分の問題として話し合われているか。（発表、観察、ワークシート）</p>
終末 5分	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ 辛くてもあきらめずに役割を自覚して責任を果たしたことにより、多くの人の喜びにつながったことや、教師自身にとっても成長につながった体験談を話す。</p>


(5) 本時の評価

- ・ 自分の役割を自覚して責任を果たすとともに、主体的に全体の向上に役立とうとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画

○自分の役割や責任をはたすことについて考えよう


二十三年間の幽閉生活を終えてふるさとへ帰る



無刑録…完成させたとき

- ・ 儒学者としての自分の役割を果たせた
- ・ 理想の社会をつくるために役立つ本になってほしい
- ・ 祖父や室鳩巢の願いをかなえることができてよかった
- ・ 自分にできることをやり遂げることができてよかった

他人預け…「今だからこそできる」



- ・ 師として尊敬していた室鳩巢の願いをかなえてあげよう
- ・ 儒学者としての役割・責任を果たそう
- ・ この時間を人のためになることに生かそう

意見書：「何らかのつめがあるかもしれない」

- ・ 儒官として自分の考えは間違っていない
- ・ 親の身分ではなく目上の人を尊重すべき

芦 あし
東山 とうざん

- ・ 儒学者
- ・ 中国古来の学問
- ・ 政治・道徳
- ・ 儒学を教える人


4 指導上のポイント

- ・ 第6学年の社会科（歴史学習）、高学年の総合的な学習の時間（地域の特色に応じた課題学習）、特別活動（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）等との関連を図る。


- 資料の時代背景や難しい言葉を理解する場が必要である。そこで、朗読DVDを視聴させたり、事前に親子で読んで家庭の話題に取り上げるようにさせたりして、東山の生き方について関心をもって授業に臨ませたい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例



無刑録



あしとうざん
芦東山
名前（ ）

儒学者
中国古来の学問
政治・道徳
儒学を教える人

○自分の役割や責任をはたすことについて考えよう。


○「無刑録」を完成させたとき、東山はどんなことを考えたでしょう。


(2) 掲示用資料


以下の資料は、学級の実態や必要に応じて活用する。


- ① 芦 東山ゆかりの地（地図）
- ② 芦 東山記念館と展示室（写真）
- ③ 芦 東山記念館前の碑（写真）
- ④ 芦 東山板書用（芦東山の挿絵，無刑録の写真は「みやぎの先人集『未来の架け橋』」より）

① 

② 

③ 

④ 

 データダウンロード可能
FREE Download

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 かけがえのない命 ○3-(1)生命の尊重 ・1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「慶念 — 子どもの幸せを願って —」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.27 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

生命がかけがえのないものであることを自覚するとともに、人間誕生の喜びや死の重さについて知り、生きることのすばらしさを考えて、よりよく生きようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
天明の大飢饉の頃、僧になる決心をした。 ① ②	世の中が少しでも穏やかになるように、仏の道を説いて皆を救いたい。命を救いたい。	仏の道を説くことで、皆を救いたいという慶念の強い思いを捉えさせる。	○慶念は、なぜ僧になろうとしたのでしょうか。
命の大切さを説いてまわる慶念だが、思いは伝わらない。	どうか赤ん坊を手放したりしないように思いとどまらせたい。	なんとしても赤ん坊の命を守りたい慶念の思いと、この世に生まれてくる命にむだな命は1つもないことを訴える慶念の思いに共感させる。	○「人が人であるための正しい道が、どうしてわからぬか。」と言った時の慶念は、どんなことを思っていたのでしょうか。
胸がしめつけられるような思いをした慶念は、ある日、強い決意をする。 ③	なぜ、命がかけがえのない大切なものであることを分かってもらえないのか。 氷の下の小魚や雪の下の草も懸命に生きている。どんな命も絶対に奪ってはならないのだ。それならば、わたしが育てよう。		
隣村の夫婦の間に生まれた赤ん坊を育て始める。 ④	貧しいために育てられない赤ん坊を預かって、大切に育てたい。 生まれたばかりの赤ん坊の命を奪わないで渡してくれたことに深く感謝したい。 赤ん坊のほっぺは、なんて温かいのだろう。赤ん坊の温もりは、生きていることの証だ。かけがえのない命を、なんとしても守ってやりたい。	自分が赤ん坊を育てて命を守っていかうという強い決意がまちがっていないことを、赤ん坊の命のぬくもりを通して感じようとしていることを捉えさせる。	◎預かった赤ん坊に自分のほっぺをくっつけた時、慶念は赤ん坊にどんな言葉をかけたと思いますか。
赤ん坊をおんぶした慶念は、説法を唱え歩く。 ⑤	子どもが健やかに成長してほしい。	命が大事であることだけでなく、一つの命が後世へとつながる大切さにも気付かせる。	○自分が救った赤ん坊が大きくなって、次の世代に命をつないでいく様子を、慶念はどんな思いで天国から見ているのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 赤ん坊を預かって育てることを決意した慶念の思いをワークシートに書かせることで、一人一人の命がかけがえのないものであることを考えさせるようにする。【もとめる】
- ・ 尊い命を守ろうと行動した慶念に手紙を書くことを通して、自分がこれからどのような生き方をしていくのか、考えさせるようにする。【もとめる】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 本時の学習の方向性をつかむ。</p> <p>○ 「命」について皆さんに書いてもらったアンケートの結果を見てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 命は大切なもの。 <p>○ 慶念の一生について知りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 涌谷の町を中心に命が大切なことを人々に唱え続けたお坊さんなんだ。 <p>○ 豊かでなかった時代に、命の尊さを訴え続けてたくさんの子どもの命を救った慶念の生き方について考えてみましょう。</p>	<p>◆ 事前のアンケート結果を提示し、本時で学ぶ価値への方向付けを図る。</p> <p>◆ 事前に資料を読ませておく。さらに導入で慶念の一生について簡単に説明することで、慶念の気持ちを深く考えることができるようにする。</p> <p>◆ 慶念が、少しでも身近に捉えられるように、涌谷町内に残っている顕彰碑やお墓の写真を提示する。</p>
展開 前段 20分	<p>2 本時の資料をもとに、慶念について考え、話し合う。</p> <p>○ 慶念は、なぜ僧になろうとしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆を救いたいから。 ・ 大飢饉によって、人々の心が荒れてきたから何とかしたい。 ・ 自分ができることは何か考えたい。 ・ 人のためになることをしたい。 <p>○ 「人が人であるための正しい道が、どうしてわからぬか。」と言った時、慶念はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いくら貧しくても、命を捨ててはいけな ・ 赤ん坊を手放すことは、命を大切にすることではないことに気付いてほしい。 ・ どんなことがあっても、命を大事にしなければならぬ。 <p>◎ 預かった赤ん坊に自分のほっぺをくっつけた時、慶念は赤ん坊にどんな言葉をかけたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なんて温かいほっぺなんだろう。 ・ この世に生まれてきた、大切な大切な命なんだよ。 ・ 命とは、なんて温かいものなのだろう。 ・ もう大丈夫。ずっと大事に育てていくよ。 ・ これから、どんなことがあっても赤ん坊を守ってやりたい。 	<p>◆ 事前に江戸時代末期の時代背景について教えておく。天明の大飢饉の頃は、この地域でも農作物の収穫が激減して、生きていくことが大変であったことを捉えさせておく。</p> <p>◆ 命の大切さを説いて歩いても、密かに赤ん坊を手放してしまう家があることを知った慶念の憤りと悲しみを考えさせ、共感させる。</p> <p>◆ 道端の生き物を見ているうちに、心が突き動かされた慶念の強い決意を捉えさせるため、資料の一部 (p. 28L13～p. 29L4) を読む。</p> <p>◆ 命を尊ぶ慶念の深い愛情と強い決意に気付かせるため、書く活動を取り入れる。</p> <p>* かけがえのない命を救った慶念の深い愛情に気付くことができたか。(ワークシート)</p>

	<p>○ 自分が救った赤ん坊が大きくなって、次の世代に命をつないでいく様子を、慶念はどんな思いで天国から見ているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 命が、次の命につながっている。 ・ あの時、命を大切にしておよかった。 ・ これからも、ずっと命を大事にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ たった一つの命が、次の時代を担う命となってつながっていくこと、命が助かることで命のつながりが広がっていくことに気付かせる。 ◆ 慶念に命を救われた人の子孫の言葉を聞かせることを通して、生きることのすばらしさを感じさせたい。
展開後段 15分	<p>3 自分たちの生活を振り返って考える。</p> <p>○ 今日の授業で、慶念さんの生き方からどんなことを学びましたか。天国で見守る慶念さんに手紙を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしは、慶念さんの生き方を知って、命を大切にすることを学びました。自分の命だけでなく、人の命も自分の命と同じくらい大切だということを知りました。 ・ ぼくは、慶念さんが男なのに、生まれたばかりの赤ん坊を預かって一生懸命育てたことを学んで、どんなに命を大事にしたのかが分かりました。貧しい時代に、人の命を守ることを深く考えて行動した慶念さんが、すごいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今までの自分の「命」についての考えを振り返らせ、慶念の生き方から学んだことをまとめさせるようにする。 ◆ 尊い命を守ろうと行動した慶念に手紙を書くことを通して、自分がこれからどのような生き方をしていくのか、考えさせる。 ◆ 本時のねらいにせまることができる内容のものを意図的に選び、発表させる。 <p>* 手紙を書く活動や発表を聞くことを通して、命を大切にしようとする気持ちを深めて、これからの生き方に生かしていこうとしているか。 (手紙・観察)</p>
終末5分	<p>4 詩を読む。</p> <p>○ 「私たちの道徳」 ～限りあるたった一つの命だから～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「私たちの道徳」(p.98)の「限りあるたった一つの命だから」を読み、命を大切にしようとする気持ちをあたためる。

(5) 本時の評価

- ・ かけがえのない命を救った慶念の深い愛情に気付くことができる。
- ・ 命を大切にしようとする気持ちを深めて、これからの生き方に生かそうとしている。


(6) 板書計画

かけがえのない命

五十三人の子どもたち

↓

命のバトン



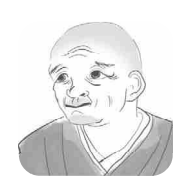
あつたかい 命だ
大切に 育てよう

- ・ 命が大切なことが なぜ分らないのか
- ・ どんなに貧しくてもたった一つの命

命

天明の大飢饉↓まずしい生活

「人が人であるための正しい道がなぜ分からぬか。」



慶念 涌谷
江戸時代～明治時代

4 指導上のポイント

- ・ 事前に、先人集を読ませたり、朗読DVDを試聴させたりしておき、本時では、導入で先人の一生を確認して、中心発問にかかわる部分だけを展開前段で扱うようにすると、児童の発言を取り上げる時間が確保できる。
- ・ 慶念の一生について、補助黒板に掲示しておき、時代背景を捉えさせるようにする。
- ・ 時代背景を理解させるために、「天明の大飢饉」、「打ちこわし」、「一揆」、といった言葉について事前に資料を提示して説明しておく。
- ・ 終末に、「わたしたちの道徳」の赤ちゃんの写真を見せ、命についての詩を読んで、命を大切にしようとする気持ちを深めさせる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

①

②

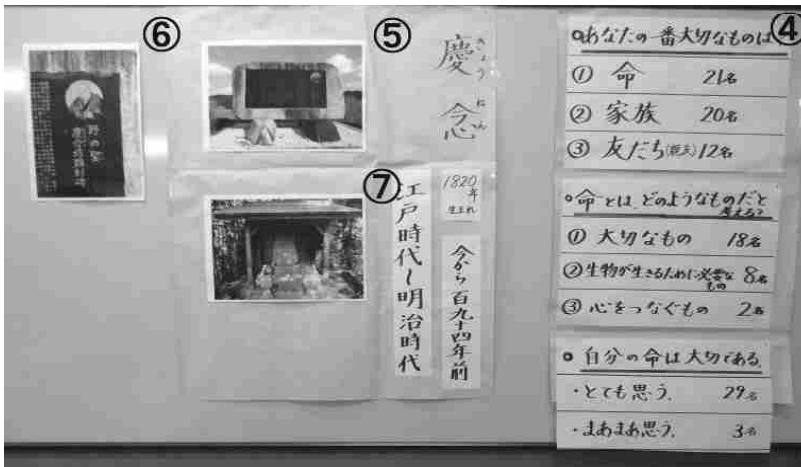
- ① 展開前段で活用。
- ② 展開後段で活用。

(2) 掲示用資料の例

〈板書例〉



〈補助黒板例〉



データダウンロード可能
FREE Download

- ① 慶念の挿絵①
(資料：みやぎの先人集)
- ② 慶念の挿絵②
(資料：みやぎの先人集)
- ③ 命を救われた53人の子どもたち (自作)
- ④ 命についてのアンケート結果
(自作 導入で活用)
- ⑤ 慶念記念碑 (写真)
(宮城県遠田郡涌谷町中江南)
- ⑥ 記念碑に刻まれた慶念の顔
(写真)
(宮城県遠田郡涌谷町中江南)
- ⑦ 慶念の墓 (写真)
(宮城県涌谷町小塚)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 郷土のために ○4-(7)郷土愛・愛国心 ・関連1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「鎌田 三之助 ― 沼地を豊かな土地に ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.31 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

郷土の先人の業績、その過程における苦労や努力を知ることを通して、人や社会のために行動することの尊さを感じ取り、自分たちの郷土を見つめ愛する心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
水害に苦しむ村の人々を救うため、品井沼の排水路の改修を進める祖父と父。①	水害に苦しむ村の人々を救いたい。 祖父の「自分のことよりも品井沼の心配を」の言葉を聞いて、排水路の改修を何としても完成させることを決意した。	14歳で、祖父の思いを引き継ぐ決意をするほど、村の貧しさが深刻であったことを感じ取らせる。	
15歳で軍人をめざし上京。病気で政治家となり村で工事に打ち込む。②	政治家になって、費用や人手をたくさん集めよう。	上京してもなお、品井沼の干拓のために行動する姿から、思いや信念の強さを感じ取らせたい。	○三之助の言葉や行動で心に強く残ったことは、どんなことですか。
郡議会から県議会議員、国会議員に当選③	干拓工事も大切だが、村人の健康のために、村が発展するために、医療や教育も大切だ。		
メキシコに渡り移民事業に取り組むが、県令から呼び戻され、工事に全力を注ぐ。④⑤	100年もの間、品井沼の洪水に苦しめられてきたから、ここで工事を中断するわけにはいかない。 何としても村人を説得するぞ。	百年間もの洪水による苦労と干拓の努力を無駄にせず、村を豊かにという郷土への深い愛情と熱意を感じ取らせる。	○反対されても雨の日も風の日も、一軒一軒回り説得し続けた三之助はどんなことを考えていたのでしょうか。
村長となり、儉約・勤勉の手本を示し38年間無報酬を貫く。⑥	生やさしい覚悟ではいけない。贅沢や無駄遣いをやめさせるためには、自分が手本を示そう。	無報酬を貫き村のために生涯をかけて尽くした三之助への尊敬の念を感じ取らせる。	○つぎはぎの服とわらじで38年間無報酬を貫いた三之助を村人達はどう思っていたのでしょうか。
排水路が完成。千人余りが参加して通水式を行う。⑦	やっと完成した。 おじいさん、お父さん、排水路がやっと完成しましたよ。 これから豊かな村づくりを進めていくぞ。	排水路の完成に喜びを感じ、これから豊かな村にしていこうと決意している三之助の思いに共感させる。	◎勢いよく流れる水をとって見つめ続けながら、三之助はどんなことを考えていたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 生涯をかけて品井沼の排水工事をやり遂げた三之助の姿に共感させることにより、人や社会のために行動することの尊さについて考えさせるようにする。【もとめる】
- ・ 自分たちの町が先人の苦労や努力によって築きあげられたものであることを考えさせることで、自分たちの町のよさを受け継ごうとする意欲を高めるようにする。【はたす】

(4) 学習過程

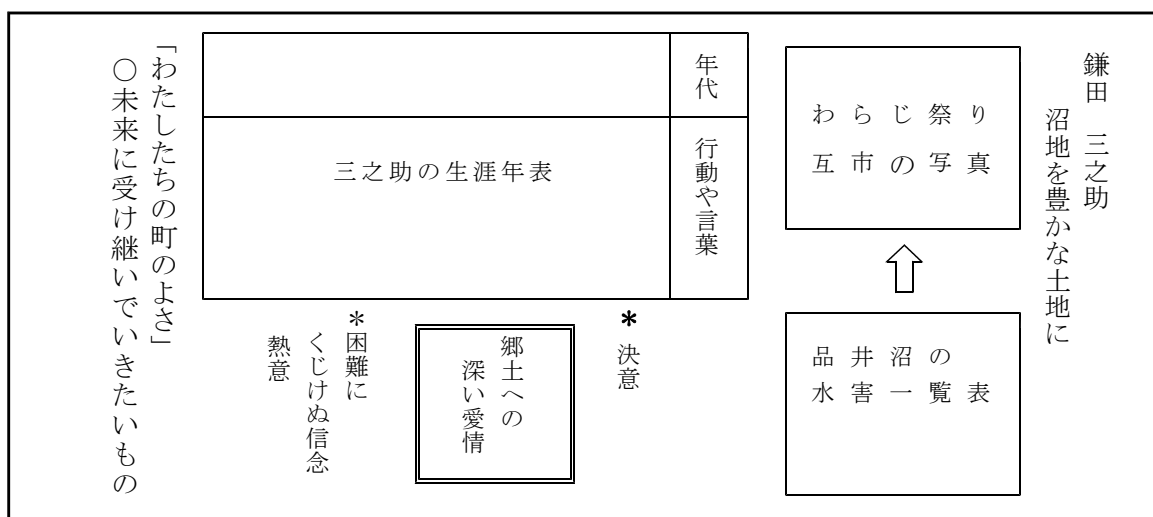
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
<p>導入</p> <p>5分</p>	<p>1 自分たちの住む町のよさについて、事前アンケートの結果を知る。</p> <p>○ 私たちの町のよさや自慢できることはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな自然環境 ・ 伝統行事・郷土芸能 ・ 特産物・特産品 ・ 史跡・施設 <p>2 鹿島台の町で有名な「互市」と「わらじまつり」は鎌田三之助の偉業が基になっていることを知り、その生涯について学ぶことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事前のアンケート結果を提示し、本時で学ぶ価値への方向付けを図る。 ◆ 事前に資料を読ませておく。さらに「鎌田三之助の生涯と品井沼の干拓年表」を掲示することで、三之助の郷土を思う気持ちや信念が貫かれた生き方をとらえやすいようにする。 ◆ 互市とわらじ祭りは三之助の偉業が基になっていることに触れ、学習を方向付ける。
<p>展開 前段</p> <p>20分</p>	<p>3 資料や年表をもとに、三之助の考えや行動について話し合う。</p> <p>○ 三之助の言葉や行動で、驚いたことや心に強く残ったことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 14歳で品井沼の干拓を決意するなんて。 ・ 工事の費用や人手を集めることまで考えて政治家になろうという考えがすごい。 ・ メキシコから帰国を決意したのは、それだけ故郷のことを思っていたんだな。 <p>○ 雨の日も雪の日も、反対している村人を一軒一軒訪ねて回った三之助は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事をやり遂げ、百年もの間続いてきた村人たちの苦しみを終わりにしたい。 ・ ここであきらめたら、これまでの努力が無駄になってしまう。 <p>○ 村長となり、自分から手本となって38年間無報酬を貫き通した三之助を、村人たちはどう思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信念を貫く姿勢を尊敬し、自分たちもがんばろうと考えた。 <p>◎ 勢いよく流れる水をじっと見つめ続けながら、三之助はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ついに、100年の悲願が達成できた。 ・ 豊かな村に生まれ変わらせるぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 三之助の生涯年表をメキシコ移住までと帰国後の2つに分けて、郷土への思いと行動について考えさせる。 ◆ 水害の歴史年表を提示し、約百年前までは品井沼の洪水が毎年のように村人を苦しめ「3年に一度しか米が取れない」貧しい村であったことを想像させる。 ◆ 児童自身と比べ、14歳の少年がすでに水害に苦しむ村の人々を救おうという強い決意をもっていったことに着目させたい。 ◆ 三之助の生涯を貫くものは郷土を思う愛情と信念であったことを確認し、板書する。 ◆ 三之助の考えをワークシートに書かせる。 <p>* 信念をもって行動する三之助の熱意と努力に共感することができたか。(発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自ら「儉約・勤勉」の手本を示すため、ひげをそり、つぎはぎだらけの衣服とわらじ姿で38年間無報酬を貫いたことで、村民の心がまとまっていったことを感じ取らせる。 ◆ 三之助の考えをワークシートに書かせる。 ◆ 悲願達成の喜びと、これから豊かな村にしていこうとする決意に触れさせたい。 <p>* これから村を豊かにしたいという郷土への深い愛情と信念の強さを感じ取ることができたか。(発言・ワークシート)</p>

展開後段	<p>3 自分たちの生活を振り返って考える。</p> <p>○ 今日の授業で、三之助さんの生き方からどんなことを学びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな困難にもあきらめない心の強さ ・ ふるさとのことを大切に思う気持ち 	<p>◆ 三之助の行動や生き方について心に残ったことを発表したり、友達の発表を聞いたりすることで、郷土愛を深める。</p>
15分	<p>○ 「わたしたちの町のよさ」について、未来に受け継いでいきたいものはどんなことでしょうか。ワークシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の町のよさ（自然・名所旧跡・伝統文化・特産物など）を受け継いで、もっと発展させていきたい。 ・ 自分たちの町の偉人や功績についても調べ、伝えていきたい。 	<p>◆ 導入時で提示したアンケートにもう一度着目させ、「自分のふるさとのよさ」を見つめ直すことにより、未来に向かって受け継いでいきたいものや、守っていきたいものは何かを考えさせ、ワークシートにまとめさせる。</p>
終末5分	<p>5 本時の学習を振り返り、教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ どの町にも先人の思いや努力があって今日が築かれていることに感謝し、その願いを感じながら郷土を愛し、未来に受け継いでいこうとする気持ちをもたせる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 郷土の先人の業績、その過程における苦労や努力を知り、人や社会のために行動することの尊さを感じ取って、自分たちの郷土を見つめ、町のよさを受け継いでいこうとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 資料は事前に読ませたり、朗読DVDを試聴させたりして、「鎌田三之助の生涯年表」をもとに、品井沼干拓と町の発展に尽くした功績の足跡を簡潔に見通すとともに、大きな転機となった出来事や行動にポイントを絞って考えさせるようにする。
- ・ 事前に自分たちの町のよさに関するアンケートをとっておき、導入で提示する。

- 品井沼の洪水のために百年以上も続いた「赤貧の村」としての苦労を、水害年表などの資料をもとに実感できるようにする。

5 参考資料

(1) 年表

年	出来事
一六九三	・元禄排水路の工事が始まる。
一六九八	・元禄排水路が完成する。
一八六三 (文久三)	・鎌田三之助が生まれる。
一八七七	・祖父が死去。遺志を引き継ぐ。
一八七八	・十五歳。軍人をめざし上京。
一八八三 (明治十六年)	・病気のため政治家を決意。 ・五年間勉強後、帰郷。父を助けて干拓工事に打ち込む。
一九〇二 (明治三十五年)	・三十九歳で国会議員となる。
一九〇六	・四十三歳。村人と共にメキシコに渡り移民事業に取り組む。
一九〇六 (明治三十九年)	・明治排水路の工事が始まる。
一九〇七	・工事が困難になり、工事中止の意見が強まる。
一九〇八	・県知事から電報が届き帰国。 ・反対する村人を一軒一軒説得。 ・洪水でトンネルがくずれずれる。 ・意見がまとまり続行が決まる。
一九〇九 (明治四十二年)	・四十六歳で村長となる。 ・「日の照らない日があっても、村長さんの見えない日はない。」 ・明治排水路が完成する。
一九一〇 (大正元年)	・吉田川を改修。サイフォンが完成。

(2) ワークシート

鎌田 三之助

沼地を豊かな土地に

年 組

一 雨の日も雪の日も、反対する村人の家を一軒一軒説得して回った三之助は、どんなことを考えていたのでしょうか。

二 明治四十三年の通水式で、勢いよく流れる水をじっと見つめ続けながら、三之助はどんなことを考えていたのでしょうか。

三 「わたしたちの町のよさ」について、考えましょう。

◎未来に受け継いでいきたいものとは：

(3)

揭示用資料の例

【 互市 】

- ※ 三之助が村長となった翌年開催。以来毎年春と秋に行われる。



【 わらじまつり 】

- ※ 鎌田三之助の偉業を讃え、毎年8月14日に開催されている。



品井沼沿岸水害発生一覧表

年	月	日	水害発生	被害状況	被害額	被害者数	被害家数	被害面積	被害者数	被害家数	被害面積
1693	10	10	大規模	死者10名、家屋全壊100戸	1000	10	100	1000	10	100	1000
1698	10	10	大規模	死者5名、家屋全壊50戸	500	5	50	500	5	50	500
1863	10	10	大規模	死者20名、家屋全壊200戸	2000	20	200	2000	20	200	2000
1877	10	10	大規模	死者15名、家屋全壊150戸	1500	15	150	1500	15	150	1500
1883	10	10	大規模	死者10名、家屋全壊100戸	1000	10	100	1000	10	100	1000
1906	10	10	大規模	死者5名、家屋全壊50戸	500	5	50	500	5	50	500
1909	10	10	大規模	死者3名、家屋全壊30戸	300	3	30	300	3	30	300
1910	10	10	大規模	死者2名、家屋全壊20戸	200	2	20	200	2	20	200
1911	10	10	大規模	死者1名、家屋全壊10戸	100	1	10	100	1	10	100
1912	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1913	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1914	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1915	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1916	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1917	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1918	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1919	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1920	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1921	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1922	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1923	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1924	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1925	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1926	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1927	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1928	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1929	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1930	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1931	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1932	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1933	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1934	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1935	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1936	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1937	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1938	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1939	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1940	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1941	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1942	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1943	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1944	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1945	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1946	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1947	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1948	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1949	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0
1950	10	10	大規模	死者0名、家屋全壊0戸	0	0	0	0	0	0	0

データダウンロード可能
FREE Download

第5・6学年 道徳学習指導略案

- 1 主題名 より高い目標に向かって ○1-(2)希望・勇気・不とう不屈 ・4-(7)郷土愛
- 2 資料 「佐々木 君五郎 ― 植林を進め、洪水を防ぐ ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 35 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

困難を乗り越え、自分の目標に向かって努力を続けた「佐々木 君五郎」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念をもってくじけずに努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
<p>子どものころ、江合川の堤防が切れ、田畑や民家が大きな被害を受ける様子を目にした。</p> <p style="text-align: right;">①</p>	<p>どうにかならないか。 上流の山に木を植えれば、洪水を防ぐことができるのではないか。 苦しむ人たちを何とかして助けてあげたい。 洪水の被害をなくせないだろうか。 自分にできることはないだろうか。</p>	<p>大変な被害に苦しむだけでなく、自分の力で、知恵をしぼって何とかしたいと考えた君五郎の前向きな姿勢を捉えさせる。</p>	<p>○江合川の堤防が切れ、大きな被害を受ける様子を見て、君五郎はどんなことを感じたでしょう。</p>
<p>次々に山を買っては植林を続ける君五郎を、周囲の人は「頭が変になった」とうわさしたが、君五郎は植林をやめなかった。</p> <p style="text-align: right;">② ③ ④</p>	<p>父親の応援が大きな支えになった。 自分のしていることは、間違っていない。 何と言われようと、苦しむ人々を助けるのだ。 ここであきらめたら、これまでしてきたことが台無しだ。 植林を続ければ必ず水害は防げる。</p>	<p>子どものころに抱いた「苦しむ人々を助けてほしい」という思いを、困難な状況の中でも変わることなくもち続けている君五郎の強い意志に共感させる。</p>	<p>◎周囲の人から植林のことを理解されない中、君五郎はどんな思いで植林を続けたのでしょうか。</p>
<p>鬼首や鳴子、川渡、中山平など、江合川の上流に次々と山を買って植林した。 山から、穏やかに流れる江合川を見て、君五郎は目を細めた。</p> <p style="text-align: right;">④</p>	<p>これで洪水の被害が、少なくなるだろう。 自分のしてきたことは、間違っていなかった。 辛いこともあったけれど、続けてきてよかった。 これからも植林を続けていこう。</p>	<p>信念をもってやり遂げることの大切さと、君五郎の満足感や達成感に共感させる。</p>	<p>○穏やかに流れる江合川を見て、君五郎はどんなことを思ったでしょう。</p>
<p>君五郎は森林の大切さを子どもたちに伝え、「学校植林の育ての親」とも呼ばれた。君五郎の志は今も人々に受け継がれている。</p> <p style="text-align: right;">⑤</p>			

(3) 志教育との関連

- ・ 困難を克服しようとする心情に触れ、今後の生き方に役立てようとする意識をもたせる。 【もとめる】
- ・ 将来の夢や目標に向かって、信念をもってやり遂げようとする意欲を高める。 【もとめる】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 10分	<p>1 夢をもったり、目標を立てたりした経験について話し合う。</p> <p>○ これまでにどんな夢や目標をもって頑張ってきましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカー選手になって世界で活躍する。 ・ 最高学年として下級生の面倒を見る。 ・ 陸上大会で自己ベスト記録を更新する。 <p>○ 今日は「目標をもって最後までやり遂げる」ということについてみんなで考えます。</p> <p>2 本時の資料「佐々木君五郎」についての説明を聞く。</p>	<p>◆ 将来の夢や6年生になって立てた最高学年としての目標、陸上や水泳などの大会に向けて立てた目標を想起させる。</p> <p>◆ 資料については事前に読んでおくようにする。その上で、植林という作業が成果を出すまでには、30年～50年という長い期間がかかるということを補足し、当時君五郎のしたことが周囲に理解されなかったことについて納得できるようにする。</p>
展開 前段 20分	<p>3 君五郎のしたことや心情について話し合う。</p> <p>○ 江合川の堤防が切れて大きな被害を受ける様子を見て、君五郎はどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうにかならないか。 ・ 木を植えれば洪水を防げるのではないか。 ・ 苦しむ人を助けてあげたい。 <p>◎ 周囲の人から植林のことを理解されない中、君五郎は植林を続けながらどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お父さんが理解してくれているのだからやり遂げたい。 ・ 理解されないのは辛いけれど、自分のしていることは間違っていない。 ・ 自分があきらめてしまったら、村の人たちは苦しみ続ける。 ・ 誰に何と言われようと、洪水に苦しむ人たちを助けてい。 <p>○ 穏やかに流れる江合川を見て、君五郎はどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これで洪水の被害が少なくなるだろう。 ・ これまでやってきたことは間違っていなかった。 ・ 植林を続けてきてよかった。 	<p>◆ 堤防が切れて、周囲が水浸しになっている様子を写真で掲示し、当時の大変さが伝わるようにする。</p> <p>◆ 君五郎の信念の強さを感じるとともに、人々に理解されない中で植林を行う辛さや困難さを感じ取ることができるようにする。</p> <p>◆ ワークシートに書かせることで、君五郎の思いをじっくりと考えさせる。ワークシートは、周囲の理解が得られない困難さを感じ取ることができるよう作成する。</p> <p>* 信念をもってやり遂げた佐々木君五郎の心情に共感できたか。(ワークシート)</p> <p>◆ これまで村人を救うために続けてきたことが、長い年月を経て実現したときの君五郎の心情を感じ取ることができるようにする。</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>4 困難を乗り越えた経験を振り返り、その時の気持ちについて話し合う。</p> <p>○ これまでの生活で、苦しいことに負けず続けたことはありますか。また、それを乗り越えたときどんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上大会の練習で、足が痛くて辛かったけれど、休まずに頑張った。大会で自己新記録を出すことができ、あきらめなくてよかったと思った。 ・ 1年生の面倒を見て、なかなか言うことを聞いてくれなくて困った。でも毎週読み聞かせに行くうちにだんだん分かってくれるようになってきて、楽しくなってきた。 	<p>◆ 高学年になって経験した学校行事の運営や下級生のお世話、対外的な大会への参加などを想起させ、その大変さとともに、乗り越えたときの喜びや満足感を共有できるようにする。</p> <p>* 自分で決めた夢や目標に向かい、信念をもってくじけずに努力することの大切さを考えることができたか。（発言、観察）</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 困難を乗り越え、高い目標をもち続けた人の話を聞き、感想をもつ。</p> <p>○ 君五郎と同じように、高い目標をもってあきらめずに頑張りを続けた人がいます。大切なことは何だと感じますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標をもち続ければいつか達成できる。 ・ あきらめずに努力し続けること。 ・ 強い気持ちを持ち続けることが大切。 	<p>◆ 君五郎の他にも地域のために力を尽くした先人や目標をもち続けてそれを達成させた先輩やスポーツ選手などを紹介することで、夢や目標に向かって強い気持ちを持ち、努力し続けることが大切だと感じることができるようになる。</p>

(5) 本時の評価


- ・ 高い目標をもち、あきらめずに努力し続けた「佐々木君五郎」の生き方に触れ、自分で決めた夢や目標に向かい、信念をもってくじけずに努力しようと考えている。

(6) 板書計画

あきらめずに
努力し続ける


高い目標


強い気持ちを
もち続ける



間違っていなかった。
続けてよかった。

自分のしていることは
間違っていない。
誰に何を言われようと
苦しむ人を助けた
い。



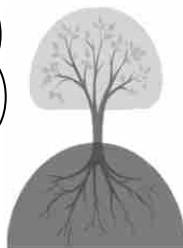


どうにか
ならないか。
苦しむ人を
助けたい。

佐々木君五郎

植林を進め、洪水を防ぐ

植林
三十年～五十年



4 指導上のポイント

- ・ 君五郎の苦勞が伝わるよう、当時の治水の大変さが分かる資料を提示する。
- ・ 高学年としての大変さを経験した時期に実践すると、主題に共感を得られやすい。
- ・ 事前に資料を読ませたり朗読DVDを視聴させたりして、資料の内容を理解させておくとよい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

データダウンロード可能
FREE Download

佐々木君五郎 ～植林を進め、洪水を防ぐ～
年 組 ()

周囲の人から植林のことを理解されない中、君五郎は植林を続けながらどんなことを考えていたのでしょうか。

どうせ
だまされたんだ
ろう

いったい
何のために！

頭が
変になった

(2) 掲示用資料の例



江合川が氾濫し水田に浸水した様子 (出典：鳴子ダム WEB サイト)
(<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/archives/photo/photo.html>)



現在の江合川の様子 (出典：KASEN.net「日本の川」)
(<http://kasen.net/@2/kitakami/eai/11/index.htm>)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 新しいものを求めて ○1-(5)真理・創意進取 ・1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「二階堂 トクヨ ― 女子体育を広めて ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.39 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

真理を追究し、創意工夫を重ね、積極的に新しい分野を切り開いていこうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
トクヨは石川県立高等女学校に着任したが、嫌いな体育を教えることになる。 体育の指導力を認められ、留学生に選ばれる。①	大好きな国語を教えるのが楽しかったが、体育がきらいだとは言ってもらえない。 不思議だ。体が弱かった自分が健康で活発になっていく。 体育がきらいだった私が体育指導で留学を認められた。		
イギリスのキングスフィールド体操専門学校に留学し、日英の体育教育の違いに衝撃を受ける。②	日本では体育の指導力を認められていたつもりだったのに…。 日本の女子体育は遅れていた。 勉強しなければならないことが山ほどある。	明治時代の日本の体育とイギリスの体育との違いを押しさえ、トクヨが衝撃を受けたことに気付かせる。	○黙ったままくちびるをかみしめたトクヨは、どんなことを考えていたでしょうか。
イギリスの恵まれた環境の中でたくさんのスポーツに触れ、「運動の楽しさ」を知る。③④	生活のすべてがよりよく運動するために工夫されている素晴らしい環境の学校だ。 できるだけ多くの運動を学び、「運動の楽しさ」を日本に伝えたい。 後に続く者に苦勞をさせないためにも女子の体操専門学校を作ろう。	トクヨが多くのスポーツをマスターすることで「運動の楽しさ」を知り、日本人たちにも伝えたいという思いをもつようになったことを押しさえさせる。	○どんな気持ちでトクヨは「わたしには時間のゆとりはありません。水泳以外にも覚えたいことはたくさんあります。早くマスターしたいのです。」と言ったのでしょうか。
帰国して7年後に女性の体育の先生を育てるために「二階堂体操塾」を開く。⑤	私が責任をもって、体育の教員として指導力をつけて卒業させよう。 日本の女子体育の未来はあなたたちにかかっている。 「楽しい体育」を日本各地で広めていってほしい。	生徒たちに対して「楽しい体育」を広めてほしいという思いと同時に、新しいものを求める姿勢を引き継いでほしいという思いもあることに気付かせる。	◎二階堂体操塾を築立っていく生徒たちを見送ったとき、トクヨはどんなことを考えていたでしょうか。

(3) 志教育との関連

- トクヨの業績や生き方を児童にとらえさせることにより、地域や社会に貢献しようとする意欲や志を高める。【もとめる】【はたす】

(4) 学習過程


段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする価値にふれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「創意工夫・進取」に関する事前アンケートの結果を知る。 ・ トクヨの一生を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事前のアンケート結果を提示し、本時のねらいとする価値への方向付けを図る。 ◆ 事前に資料を読ませ、トクヨの思いや願いを「事前のワークシート」に書かせておく。 ◆ 「二階堂トクヨ」の年譜を提示し、留学前、留学中、帰国後とトクヨの活躍の場の変化に伴って、トクヨの気持ちや考え方が変わっていくことを押さえさせる。
展開前段 20分	<p>2 本時の資料「二階堂 トクヨー女子体育を広めてー」をもとに、トクヨの気持ちを考え、話し合う。</p> <p>○ 体育ぎらいだったトクヨが日本の女子体育の未来を背負う留学生に選ばれたのはどうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育が好きになるくらい努力を重ねた。 ・ 体育の指導力を認められた。 <p>○ 黙ったままくちびるをかみしめたトクヨは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本では体育の指導力を認められていたつもりだった。日本の女子体育は遅れていた。 ・ 勉強しなければならないことが山ほどある。 <p>○ どんな気持ちでトクヨは「わたしには時間のゆとりはありません。水泳以外にも覚えたいことはたくさんあります。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの運動を学ぼう。 ・ たくさんのスポーツをマスターしたい。 ・ 「運動の楽しさ」を日本に伝えたい。 <p>○ 多くの困難を乗り越え、二階堂体操塾を開いたのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の後に続く者に苦勞させたくない。 ・ 女性の体育の先生を育てたい。 ・ 運動の楽しさを教えられる教員を育てたい。 <p>◎ 二階堂体操塾を巣立っていく生徒たちを見送ったとき、トクヨはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の女子体育の未来はあなたたちにかかっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 体育ぎらいだったトクヨが体育の指導力を多くの人に認められるようになった理由には困難に立ち向かう人一倍の努力があったことを押さえさせたい。 ◆ 「トクヨ」の人物絵を掲示する。 ◆ 明治時代の日本の体育とイギリスの体育との違いを押さえ、トクヨが大いにショックを受け、さらに重大な決意をした背景に気付かせたい。 ◆ 明治という時代背景やその頃の女子体育の様子について補足説明を行う。 ◆ トクヨが多くのスポーツをマスターすることで「運動の楽しさ」を知り、日本人たちにも伝えたいという思いをもつようになったことを押さえさせる。 ◆ 二階堂体操塾を開いたトクヨの思いを話し合わせ、深めることで、トクヨの塾を巣立っていく生徒たちへの思いに迫らせる。 ◆ ワークシートに自分の考えを書かせる。 ◆ 困難を乗り越え、進んで新しいものを求め続け、二階堂体操塾を開いたトクヨの生き方に共感させる。

<p>展開前段</p> <p>20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「楽しい体育」を日本各地で広めていただきます。 <p>○ 生徒たちは、トクヨから学んだ「楽しい体育」をどんな思いで広めていったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トクヨ先生、ここで学んだ新しい体育を生徒に教えていきます。 ・ トクヨ先生から新しいものを創り出す努力の大切さや勇気を学びました。今度は私たちが全国の生徒たちに伝えていきます。 ・ 「楽しい体育」を広めることはもちろん、新しいものに進んで取り組む姿勢も常に忘れずに生きていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * トクヨの生き方に共感し、「運動の楽しさ」を日本各地に広めようとするトクヨの思いを感じ取ることができたか。 (発言・ワークシート) ◆ 生徒たちに対して「楽しい体育」を広めてほしいという思いと同時に、新しいものを求める姿勢を引き継いでほしいという思いもあることに気付かせる。
<p>展開後段</p> <p>15分</p>	<p>3 自分の生活経験について話し合う。</p> <p>○ これまでに新しい自分のアイデアを生かしたルールや作戦を考えたり、作ったりして工夫したことがありますか。また、それはどんなことでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカーやバスケットボールで立てた作戦が成功してみんなに認められた。 ・ むずかしい縄跳びの技にあきらめないで挑戦し、クリアできた。 ・ 水泳で新しい泳法に取り組み、長い距離を泳げるようになった。 ・ みんなが楽しめるドッジボールのルールを作って、低学年の子に喜んでもらえた。 ・ 算数でみんなとは違う解き方で問題を解いて、友達に上手に紹介できた。 ・ 話合いの中で自分のアイデアを伝えたら、学級全体の意見として取り上げられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくしようとしたこれまでの経験を想起させる。 ◆ ワークシートにまとめ、発表させる。 <p>* 創意工夫・進取をして生活することの大切さを考え、まとめたり、発表したりすることができたか。 (発言、観察、ワークシート)</p>
<p>終末5分</p>	<p>4 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「マリー・キュリー」等の先人の業績を紹介し、新しいものを求める気持ちを深めさせる。

(5) 本時の評価

- ・ 新しいものを求めることの価値を理解し、これからの自分に生かそうとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画



データダウンロード可能
FREE Download

二階堂トクヨ年譜

新しいものを求めて
二階堂 トクヨ女子体育を広めて

石川県立高等女学校時代
体育がきらいだと言ってられない
体育きらいの私が留学を認められた。

イギリスの体操専門学校留学時代
日本の女子体育は遅れていた。
できるだけ多くの運動を学ぼう。
「運動の楽しさ」を日本に伝えたい。
後に続く者に苦勞をさせたくない。
女子の体操専門学校を作ろう。

二階堂体操塾を開く
「楽しい体育」を日本各地で広めていってください
い。進んで新しいものを切り開いてください

←

今度は私たちが全国の生徒に伝えていきます。
新しいことに進んで取り組む姿勢も忘れません。

進んで新しいものを求め、工夫を重ねて生きる

4 指導上のポイント

- ・ 事前に創意工夫・進取に関するアンケートをとり、導入で提示することで学習への意欲付けを図るようにする。
- ・ 明治という時代背景やその頃の女子体育の様子について補足説明ができるようにする。

5 参考資料

(1) ワークシートの例 (本時のワークシート)

新しいものを求めて
二階堂トクヨ女子体育を広めて

◎二階堂体操塾を巣立っていく生徒たちを見送ったとき、トクヨはどんなことを考えていたでしょう。

◎これまでに新しい自分のアイデアを生かしたルールや作戦を考えたり、作ったりして工夫したことがありますか。それはどんなことでしたか。

(事前のワークシート)

新しいものを求めて
二階堂トクヨ女子体育を広めて

◎トクヨの思いや願いを考えてみましょう。

石川県立高等女学校時代

.....

イギリスの体操専門学校留学時代

.....

二階堂体操塾を開いて

.....

(2) 掲示用資料の例

日本女子体育の母
二階堂トクヨ女史年譜

明治十三年 大崎市三本木桑折に生まれる。

明治二十九年 福島県師範学校に入学 (十六歳)

明治三十三年 東京女子高等師範学校 (二十歳) 文科に入学

明治三十七年 東京女子高等師範学校 (二十四歳) 文科を卒業

明治三十七年 石川県立高等女子学校教諭 (二十四歳) に任ぜられる。

大正 元年 英国留学を命ぜられる。 (三二歳)

大正 四年 英国より帰国する。 (三五歳)

大正十一年 二階堂体操塾創設 (四二歳)

大正十五年 財団法人日本女子体育大学 (四六歳) 専門学校創設

昭和十六年 永眠 享年六一歳

現在 日本女子体育大学に至る (東京都世田谷区)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 役割を果たす ○4-(3)役割自覚・責任 ・4-(7)郷土愛・愛国心

2 資料 「川村 孫兵衛重吉 ― 北上川の流れを変える ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」p. 43 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

仙台藩主 伊達 政宗の命を受け、身近な人々の生活を向上させるために、多くの苦難を乗り越えて、北上川の改修工事を成功させた「川村 孫兵衛重吉」の生き方に触れることを通して、自己の役割に責任をもってやり遂げようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き	発問の意図	主な発問
孫兵衛は、主君政宗から北上川の改修を命じられていた。孫兵衛は、必ず成功させるという強い気持ちをもっていた。①	自分の土木の知識と技術を役立てたい。 政宗様から命じられた北上川改修工事は必ず成功させたい。	自分の力を地域の人々のために使い、与えられた役割は全うしたいと考える孫兵衛の強い心に共感させたい。	○主君伊達政宗から、北上川改修工事を命じられたときの孫兵衛の心の中を想像してみましょう。
工事は思うように進まず、人夫たちの疲労も限界で、費用も底をついてしまった。孫兵衛は、地域の住民からも信頼されなくなってきた。②	人手、道具、費用が不足している。このままでは、工事を進められない。 どうしたらよいのだろう。 北上川の改修など無理なことだったのだろうか。	北上川改修工事は、様々な障害や困難を伴い、孫兵衛にとって投げ出したくなる要素がたくさんあった。それでも、正面から困難に立ち向かおうとする孫兵衛の姿から、役割を果たすための大切な要素について考えさせ、意見を交流させたい。	○孫兵衛は、北上川改修工事という大きな役割を果たすために、どんなことを考えたでしょう。
孫兵衛は、工事が進まなくても、人夫に思いやりをもって接し、さらに資金の調達に奔走した。次第に人夫たちから信頼を得るようになり、工事ものはかどるようになった。③④	これ以上人夫たちに負担は掛けられない。 工事の遅れを人夫のせいにしてはいけない。 人夫の力になるために何ができるだろう。 地域の人々のためにやり遂げなくては。		
4年の年月を経て、改修工事が終了した。仙北地区では安心して耕作できるようになり、南部藩と船で往来できるようになった。⑤	難しい仕事だったが、多くの人々のお陰で、役割を果たすことができたぞ。 気持ちは晴れやかだ。 自分の知識や技術を、人々のために役立てることができてうれしい。	大きな仕事を終えた孫兵衛の心情を想像させることで、役割を果たすことのすがすがしさや喜びを共感させたい。	◎悠々と流れる北上川を見つめながら、孫兵衛はどんなことを考えていたでしょう。

(3) 志教育との関連

- ・ 孫兵衛が、主君の伊達 政宗から、北上川改修工事を命じられた場面から、自分のもつ知識や技術を人々のために生かしたいという思いや、自分を信頼してこの大きな役割を与えてくれた主君の期待に必ずや応えたいという思いに気付かせるようにする。【もとめる】
- ・ 困難に負けず、北上川改修工事をやりとげようとする孫兵衛の姿から、大きな役割を果たすための要素について考えさせるようにする。【はたす】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 石巻川開き祭りのポスターを見て、川村孫兵衛の偉業について関心をもつ。</p> <p>○ 川開き祭りは、なぜ始まったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏にみんなで盛り上がるため。 ・ 亡くなった方の供養のため。 <p>○ 川開き祭りは、川村 孫兵衛の偉業をたたえて始まったお祭りです。今日は、石巻の恩人と呼ばれる川村孫兵衛のお話で、「役割を果たす」ことについてみんなで考えましょう。</p>	<p>◆ 石巻川開き祭りの話題から、孫兵衛について想起させることで、孫兵衛がとても身近な地域の偉人であることに気付かせたい。</p> <p>◆ 本時の主題である「役割を果たす」について考えていくことを伝え、価値への方向付けを図る。</p>
展開前 25分	<p>2 本時の資料「川村 孫兵衛」を読む。</p> <p>3 孫兵衛の生き方について考え、話し合う。</p> <p>○ 主君伊達 政宗から、北上川改修工事を命じられたときの孫兵衛の心の中を想像してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やりがいのある仕事だ。 ・ 自分の知識や技術を生かせるぞ。 ・ 政宗様の命令だ。絶対やり遂げるぞ。 ・ 自分にできるだろうか。 ・ 洪水で困っている人々を救いたい。 <p>○ 孫兵衛は、北上川改修工事という大きな役割を果たすためにどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事が遅れても人夫のせいにしない。 ・ 仕事を進める人夫に優しくし、信頼を得よう。 ・ 資金集めなど、自分ができるところを一生懸命行おう。 ・ 絶対に役割を途中で投げ出すことなくやり遂げよう。 <p>◎ 悠々と流れる北上川を見つめながら、孫兵衛はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なんとか役割を果たすことができた。ほっとした気持ちだ。 ・ この大工事を成し遂げられたのは、多くの方々の協力があってからだ。 ・ 途中で投げ出さなくてよかった。 ・ これでこの地域の人々が、洪水に悩まされることはなくなる。 	<p>◆ 資料は教師が音読し、児童は話の内容や様子を捉えさせるようにする。</p> <p>◆ 当時の武士の主従関係や、江戸時代以前の北上川の氾濫の様子について補足する。</p> <p>◆ 自分のもつ知識や技術を人々のために生かしたいという思い、自分を信頼してこの大きな役割を与えてくれた主君の期待に必ずや応えたいという思いなどの意見を確実に押さえる。【もとめる】</p> <p>◆ 役割を果たすことについて自信のないという意見についても認め、受け入れる。</p> <p>◆ 孫兵衛は、人夫の体力も限界、工事を進める資金も足りず、さらに地域の人々も協力的でない、そのような困難を、乗り越えて北上川改修工事という大きな役割を果たすことができたことを確認してから発問する。</p> <p>* 孫兵衛の姿から大きな役割を果たすための要素について考えられたか。(発表)</p> <p>◆ 大きな役割を果たした後の達成感や充実感、安心感などの気持ちを児童の言葉で表現させるようにする。</p> <p>◆ 大きな役割を果たすためには、自分ができるところを精一杯やること、そして力を貸してくれるたくさんの人々に感謝の気持ちをもつこと、何より最後まであきらめずにやり遂げようとする強い気持ちが必要であることに気付かせたい。</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>4 これまでの自分の生活をふり返る。 ○ みなさんはこれまで、集団の中で役割を果たしたことはありますか。それは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休みに、図書委員会の仕事をやった。友達は外で遊んでいて、うらやましかったけど、本の貸し出しをしっかりとできた。 ・ 家の手伝いで、お風呂掃除をすることになっていただけ、テレビを見るのに夢中になって忘れてしまった。あのとき家族みんなに怒られたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『私たちの道徳』p.140～142を読み、集団の中の役割について確認する。そして、これまでの生活の中で集団の中で果たした役割について思い出させ、p.143に書く活動を行う。何人かに発表してもらい、どんな小さい役割でも、やり遂げた経験を認め賞賛する ◆ もし、役割を果たした経験を思い出せない場合は、果たせなかった経験を思い出してみ、そのときの気持ちを書いてみるよう助言する。 * これまでの自分の生活を振り返り、役割を果たそうとする意欲を高められたか。(私たちの道徳、表情)
<p>終末 5分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生の頃、花山自然の家でオリエンテーリングをした際、方位磁針と地図を読む役割になり、道を間違えそうになったとき、友達に励まされてなんとかゴールできた経験を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 困難に出会ったときのつらさ、投げ出してしまおうかという気持ちなども含めて話し、役割を果たした後のすがすがしさや友達が協力してくれたうれしさを話して締めくくる。 ◆ 余韻を残して授業を終える。

(5) 本時の評価

- ・ 仙台藩主 伊達 政宗の命を受け、身近な人々の生活を向上させるために、多くの苦難を乗り越えて、北上川の改修工事を成功させた「川村 孫兵衛重吉」の生き方に触れることをとおして、自己の役割に責任をもってやり遂げようとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画

孫兵衛が、北上川の改修工事という大きな役割を果たすことができたのは、なぜだろう。

- 工事が遅れても人夫のせいにならなかったから。
- 人夫に優しくし、信頼を得たから。
- 資金集めなど、自分のできることを一生懸命やったから。
- 必ずやりとげようという強い意志があったから。

・ うれしい・人々の役に立てた
・ みんなのおかげだ・ほっとした 見つけて・・・


北上川の改修工事をせよ! 【政宗】

- ・ やりがいがある
- ・ 自分の力を生かせそうだし
- ・ 困っている人を救いたい
- ・ 絶対やりとげるぞ

強い意志

工事中の困難

- 人手不足
- 資金不足
- 地域の信頼を得られない



川村孫兵衛 Ⅱ 石巻の恩人

土木工事の名人

- ・ 鉾山開発
- ・ 塩田開発
- ・ 水路の整備

伊達政宗の家来

↓ あばれ川

当時の北上川

4 指導上のポイント

- ・ 社会科副読本「わたしたちの石巻」(石巻市教育委員会)の『郷土をひらく』の項を事前に読むよう指導する。
- ・ 「私たちの道徳」を活用し、役割に対する経験を書き表す活動を行う。

5 参考資料

(1) ワークシートの例 (「私たちの道徳」5・6年生 P142, 143)

自分の役割を自覚して


				集 団
				役 割

●あなたはどのような集団で、どのような役割を果たしていますか。

集団の中で自分の役割と責任を果たす

様々な集団の中にある私。たくさんの人と関わりながら、協力して過ごす毎日。一人ではできないことも、みんな力で合わせればできることがある。集団の目標に向かって、自分の役割と責任を果たしていくことで、楽しさや喜びを感じることがある。

集団の中で自分の役割を考えてみよう。



143
142

(2) 提示用資料の例



資料1 川開きポスター



資料2 川村孫兵衛の像 (日和山公園)



資料3 北上川改修工事の図

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 苦しむ人々の役に立ちたい ○1-(2)希望・勇気・努力 ・3-(1)生命尊重

2 資料 「大槻 俊斎 — 多くの人に新しい医療を —」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 49 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

困難を乗り越え、自分の目標に向かって努力を続けた「大槻俊斎」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念をもってくじけずに努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
開拓者の家に生まれた俊斎は、父から自分の運命を自分で切り開いていかなければならないと言いかされて育った。①	人の役に立つことをしたい、医者になり病気やけがで苦しむ人々を救いたいと、考え、江戸に出て医学を学びたいという思いを強めた。	信念を抱き続ける原動力について、夢、目標、仲間、感謝など、様々な観点から意見を交流させたい。	○20年もの間、俊斎が医学を学び続けることができたのはなぜでしょうか。
同郷の仲間と励まし合い、兄や恩師から援助を受けながら、20年もの間医学を学び続けた。②	(これからの医学では、蘭学を学ぶ必要がある。) 仲間とお互いに励ましたり自分を高めたりしながら、新しい医学を学び続けた。		
志を同じくする仲間とともに、幕府へ種痘所開設の許可を願い出た。なかなか思うようにいかなかったが、何度も訴え続けたことで俊斎たちの熱意が役人の心を動かし、種痘所の開設に至った。③④⑤	漢方医の圧力があり思うようにいかなかったが、俊斎たちはあきらめなかった。「よかった。」 念願かなって種痘所の開設に至り、俊斎は江戸に出てきて以来初めて熱い涙を流した。	志を果たした俊斎の喜びを想像し、俊斎が味わった達成感に共感させたい。	○熱い涙を流す俊斎は、どんなことを考えていたのでしょうか。
種痘所が大火で失われた。俊斎たちはあきらめずに再建し、病気で困っている人の治療に全力を注いだ。⑥	(それでも病気で苦しんでいる人を救わなければならない。) 必死でがんばる仲間の姿を見てますます力がわいた。	せっかく作り上げた種痘所が失われてもあきらめない信念の強さを取り上げ、その理由について様々な意見を交流させたい。	◎せっかく作り上げた種痘所を大火で失ってもあきらめずに再建し、病気で困っている人の治療に全力を注ぎながら、俊斎はどんなことを考えていたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 医療の道を究め、人の役に立ちたいと考える俊斎の思いに、範読や時代背景の説明などを通して十分共感させるようにする。【もとめる】
- ・ 俊斎が、同郷の仲間など様々な人々と関わる場面については、切り返しの発問などにより、他者との関わりや影響力という観点からも考えさせるようにする。【かかわる】
- ・ 挫折を重ねてもくじけることなく行動し、抱き続けた志を果たした大槻俊斎の生き方について、自己の生活を振り返りながら考えを深めさせるようにする。【はたす】

(4) 学習過程

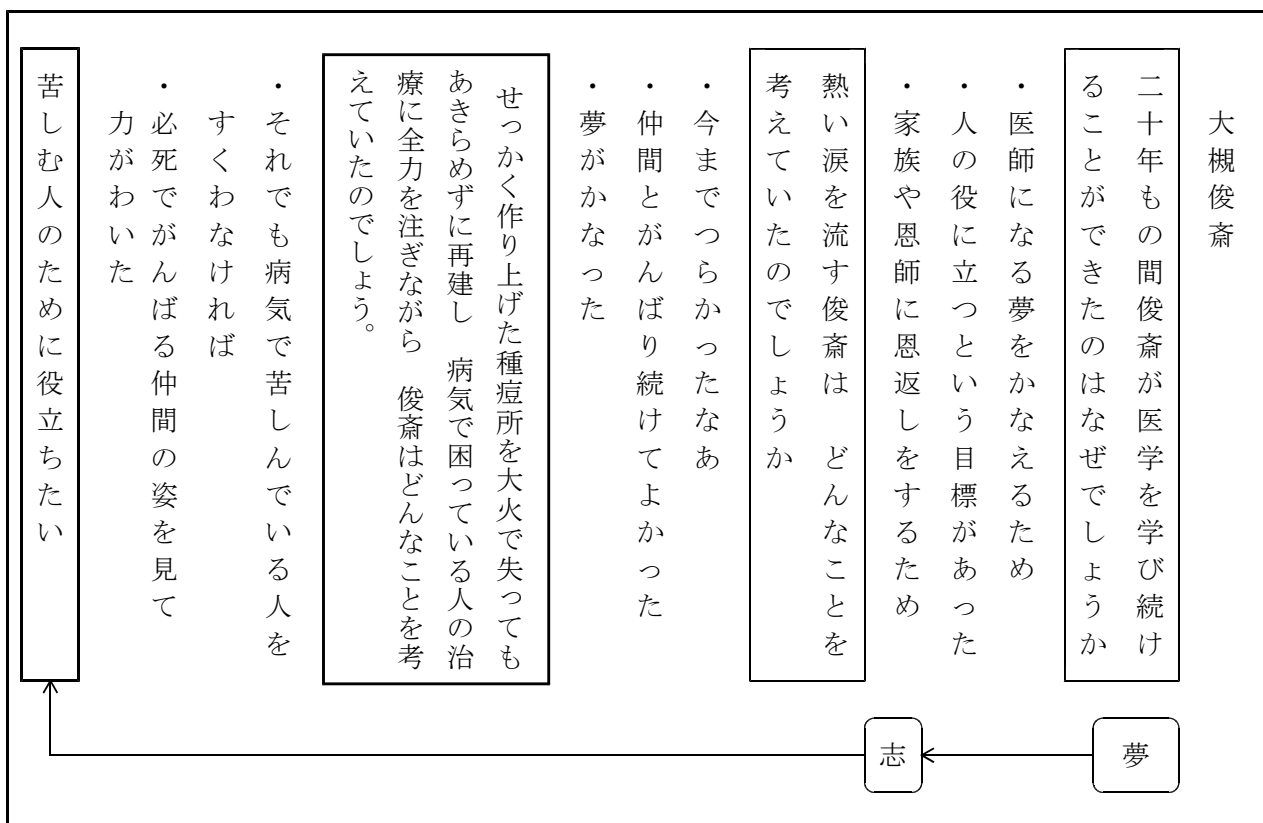
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導 入 5 分	<p>1 将来の夢についての思いを語り合う。</p> <p>○ 将来の夢という言葉からどんなことを連想しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来になりたいもの。 ・ 職業。 ・ 実現させたいもの。 <p>○ その夢をもったのは、なぜですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビでサッカー選手を見て憧れた。 ・ 母の姿を見て。 	<p>◆ 事前に児童にアンケート調査を行い、「将来の夢、連想する言葉、夢をもった理由」について把握しておく。</p> <p>◆ 意図的指名をすることで、夢をもった理由について数人の児童に話させ、互いに聞き合い賞賛することで価値への方向付けを図るようにする。</p>
展 開 前 段 20 分	<p>2 本時の資料「大槻俊斎」の範読を聞く。</p> <p>3 大槻俊斎の生き方について考え、話し合う。</p> <p>○ 20年もの間、俊斎が医学を学び続けることができたのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師になる夢をかなえるため。 ・ 人の役に立ちたかったから。 ・ 仲間の支えがあったから。 ・ 家族や恩師に恩返しをするため。 <p>○ 熱い涙を流す俊斎は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までつらかったなあ。 ・ 仲間とがんばり続けてよかった。 ・ 夢がかなった。 ・ お世話になった人たちのおかげだ。 <p>◎ せっかく作り上げた種痘所を大火で失ってもあきらめずに再建し、病気で困っている人の治療に全力を注ぎながら、俊斎はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでも病気で苦しんでいる人を救わなければならない。 ・ 必死でがんばっている仲間の姿を見ると、ますます力がわく。 ・ まだまだ救わなければならない人がいる。 	<p>◆ 範読後、「蘭学」「種痘」「種痘所」については、関連する画像等を用いて解説を加える。また、出身の赤井村の人々の温かさや強さについて補説を加えるようにする。</p> <p>◆ 信念を抱き続ける原動力について、夢、目標、仲間、感謝など、様々な観点からの意見を賞賛しながら受け止め、友達との考えの相違に気付かせるようにする。</p> <p>◆ 志を果たした俊斎の喜びや達成感に共感させることで、その後の大火による挫折感をより強く感じ取らせるようにする。そのために、教師との対話の中で、子どもたちががんばってやりとげた時の思いも引き出すようにする。</p> <p>◆ ワークシートを活用し、書く活動を取り入れることで、自分自身の気持ちとじっくり向き合わせるようにする。机間指導の中で意図的に発問する計画を立てる。</p> <p>◆ 発表に対して、教師が「もう志を果たしたのだし、がんばらなくてもよいのでは。」と切り返しの発問をする。そのことで、児童が俊斎の強い信念に対する考えをより深められるようにする。</p> <p>* 困難を乗り越え、自分の目標に向かって努力する俊斎の生き方に共感することができたか。(ワークシート)</p>

<p>展 開 後 段 15 分</p>	<p>4 自分たちの生活について振り返る。 ○ 自分の将来の夢に向かって、努力していることはありますか。そして、それはどんなことですか。 ・ 警察官になるために、空手で体を鍛えている。 ・ 保育士になるために、勉強をがんばっている。 ・ 将来の夢はまだはっきり決まっていなけれど、まずは目の前の勉強をがんばっている。</p>	<p>◆ どの発表も肯定的に受け止め、児童が互いの夢に共感する雰囲気作りをする。</p> <p>* これまでの自分の生活を振り返り、将来の夢に向かって努力しようとする意欲を高めることができたか。 (発言内容、表情)</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。 ・ 教師になりたいと思ったきっかけや、そのためにどんな努力をしたかについて話す。</p>	<p>◆ 説話が終わったら、特に説明を加えることなく、余韻を残して授業を終えることを意識する。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 困難を乗り越え、自分の目標に向かって努力を続けた「大槻俊斎」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念をもってくじけずに努力しようとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画




4 指導上のポイント

- ・ 画像を使った語句説明を行うことで、児童が時代背景の一端を想像できるようにする。
- ・ ワークシートを活用した書く時間を設ける。自分の思いと向き合わせることがねらいであると同時に、机間指導の中で児童の記述内容を見て、その後の話合いの構想を立てるようにする。
- ・ 中心発問に対して話合う場面では、教師が「俊斎は志を十分果たしているのだし、もうがんばらなくてよいのでは」という切り返しの発問を投げかける。そのことに対して児童が考えを深めていくことを期待したい。

5 参考資料

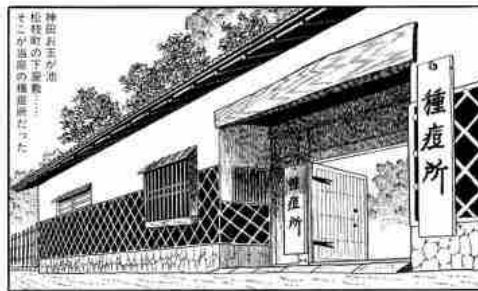
(1) ワークシートの例

<div style="border: 1px dashed black; height: 400px; width: 100%;"></div>		道徳ワークシート
	<p>せつかく作り上げた種痘所を大火で失ってもあきらめずに再建し、病気で困っている人の治療に全力を注ぎながら、俊斎はどんなことを考えていたのでしょうか。</p>	

(2) 掲示用資料の例



資料①
お玉ヶ池種痘所について記述された石碑
(東京都神田)



資料②
『陽だまりの樹』(手塚治虫作)に描かれている種痘所のイラスト



資料③
「種痘所跡」を示す碑(東京都神田)



資料④
大槻俊斎像(東松島市)



資料⑤
お玉ヶ池種痘所の看板(東京都神田)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 人々のために ○4-(4) 勤労・奉仕 ・1-(2) 希望・勇気・努力

2 資料 「内海 五郎兵衛 ― 命と生活の架け橋をつくる ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 53 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

父の死をきっかけとして、社会に役立つために多くの困難を乗り越えながら橋作りを行った「内海 五郎兵衛」の生き方に触れることをとおして、社会に奉仕し、公共のために役立つという態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
<p>五郎兵衛が、24歳のとき、父が重い病気にかかり、医者を呼びに行くが、川が氾濫して石巻村に行くことができなかった。</p> <p>何日か後に、父の元へ戻ることができたが、そのときには父親は亡くなっており、父の死を悔やんだ。③</p>	<p>父を何とかして助けたい。 どうして、病気になったのだろう。 急いで医者を呼びなければ…。 どうして、舟を出せないのだ。 川を渡ることさえできれば…。</p> <p>どうして死んでしまったんだ！ 村に行くことができれば助かったかもしれない。 どうすれば助かっただろう…。 悔しい！何とかしたかった…。</p>	<p>五郎兵衛が、社会の役に立ちたいと考えたきっかけは父の死にあることに気付かせ、人々のために何としても橋を架けたいと思う五郎兵衛の思いを共感的に理解させる。</p>	<p>○五郎兵衛は、どうして橋をかけたいと思ったのでしょうか。</p>
<p>五郎兵衛は北上川に橋を架けることを決意する。反対もあり橋作りの許可がなかなかおられないが、説得を続けることで許可を得ることができた。④ ⑤</p>	<p>何としても橋をかけるんだ。 分かってもらえるまでやるぞ！ お金をなんとかしなければ みんなを悲しませたくない。 自分のように人々を悲しませたくない。</p>		
<p>資金不足、洪水、人々の反対があっても、5か月間かけて橋の工事を終えることができた。⑥</p>	<p>お金を集めなければ…。 妻も協力してくれている。なんとしてもやるぞ！ 果たして、本当にできるのだろうか。 どうして、みんな分かってくれないのだろうか…。 洪水さえなければ…。 何度失敗しても、やるぞ！ 自分がやり続けないと、人々が困る…。</p>	<p>自分の思いが達成できないことに悩みながらも、人々のためになんとかしたいと考え続ける五郎兵衛の葛藤に共感させる。</p>	<p>○壊れた橋を見つめながら、五郎兵衛はどんなことを考えたのでしょうか。</p>
<p>橋の完成式にはたくさんの人が参加し、五郎兵衛の仕事を讃えるために、その橋は「内海橋」と名付けられた。⑦</p>	<p>頑張ってきてよかった。 これで、みんなも安心だろう。 みんなが喜んでくれている。本当によかったな。 みんなのためにやってきてよかった…。</p>	<p>喜ぶ人々の姿を見て、誰かのために働くことのすばらしさを実感する五郎兵衛の心情に共感させる。</p>	<p>◎橋の完成を喜ぶ人たちを見て、五郎兵衛はどんなことを考えたのでしょうか。</p>

(3) 志教育との関連

- ・ 父の死後、人々のために自分の仕事を全うし、人々の助けになりたいという内海五郎兵衛の心の動きに十分に共感させるようにする。【もとめる】【かかわる】
- ・ 困難に負けずに橋を完成させ、喜びや達成感を抱く五郎兵衛の心の動きに触れることで、人々のために自分の力を尽くすことのすばらしさを実感させる。【はたす】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 石巻市の中瀬の写真を見て、内海五郎兵衛の生涯に関心をもつ。</p> <p>○ ここはどこか知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 萬画館があるところだ。 ・ 昔はこんな風になっていたんだ。 	<p>◆ 現在の中瀬の写真と昔の中瀬の絵を比較できるように提示することで、昔、様々な苦勞とおして、橋を建設した内海五郎兵衛の業績への興味を高める。</p>
展開前段 25分	<p>2 本時の資料「内海五郎兵衛」を読む。</p> <p>3 資料について話し合う。</p> <p>○ 五郎兵衛は、どうして橋をかけたいと思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父さんが死んだことが悔しかったから。 ・ 自分と同じ思いをさせたくなかったから。 ・ みんなを喜ばせたかったから。 ・ 困っている人を助けたいから。 <p>○ 壊れた橋を見つめながら、五郎兵衛はどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっとお金を集めなければ…。 ・ ここまで頑張ったのに、どうしてだ！ ・ 何度失敗してもやるぞ！ ・ 橋を作ることは無理なのだろうか。 ・ 俺は、何度でも作ってみせる。 ・ 自分と同じ思いをさせたくない！ ・ 悲しんでいる人がいるはずだ。 ・ これを作ればみんなが喜んでくれる！ <p>○ 橋の完成を喜ぶ人たちを見て、五郎兵衛はどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで頑張ってきてよかった。 ・ これでみんなも喜んでくれるだろう。 ・ みんなのためにやってよかった。 ・ こんなに喜んでくれるなんて…。 ・ 頑張ってくれたみんな。ありがとう！ ・ お父さん、俺はやったよ。 ・ これで、みんなも安心だ。 	<p>◆ 主人公の心の変化を考えながら読むようにさせる。発問として取り上げる場面は、心の動きを考えられるように間をとって読む。</p> <p>◆ 父の死と同じ悲しみを他の人々に味わわせたくないという五郎兵衛の思いを確実に押さえさせるために、父を助けたかったが橋がなくて助けられなかったこと、父が死んでしまい苦しんだことを十分に感じさせてから発問する。</p> <p>◆ 五郎兵衛の考えに迫らせるために、以下の点を押さえ、書く活動を取り入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 橋の工事が始まるまで15年以上経過していること。 ② 資金を調達するために、私財を売りに出したこと。 ③ 五郎兵衛の取り組みを馬鹿にする人がたくさんいたこと。 <p>◆ 「みんなのために」という思いが五郎兵衛の心の支えであったことが引き出されるよう、意図的に指名を構成する。必要に応じて「どうして、それでも橋作りを続けたのだろう」と問い掛けることで価値に迫らせる。</p> <p>◆ 人々の喜ぶ姿を見て、自分の心にも喜びがあふれた五郎兵衛の思いを押さえさせるために、父の死から17年という年月が経過していたことを振り返らせてから発問する。</p> <p>◆ 五郎兵衛の喜びの思いをじっくりと浸らせることで、人々のために行動することのすばらしさを実感させる。</p> <p>* 五郎兵衛の姿から、人々のために行動することのすばらしさを実感することができたか。(発言、観察)</p>

展開後段	<p>4 これまでの自分の生活を振り返る、</p> <p>○ 地域や社会のために何かをしたことはありますか。そのときは、どんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の周りのゴミ拾い活動をやったことがあった。何気なくやっていたけど、あのときに街の人に「ありがとう」と言われてうれしかったなあ。 ・ 家族と一緒に、ボランティア活動に参加したことがあった。誰かのためにやるっていいなって思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『私たちの道徳』p.154 を読み、震災の時に人々のために力を尽くした方々の思いを想像させ、「人々のために」という経験を振り返らせる。 ◆ 経験を書くことができなかった児童には、学校での活動などを想起させて振り返らせる。 ◆ 行動のきっかけとなった思いやそのときの気持ちに触れながら発表させることで、だれかのために行動できたときの充実感を想起させる。 <p>* これまでの自分の生活を振り返り、人々のために役立とうする意欲を高めることができたか。</p> <p>(『私たちの道徳』, 表情, 発言)</p>
10分	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <p>○ 地域や社会のために、という思いをもって行動できた時の清々しさを話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 頑張って仕事に取り組み、だれかに喜ばれた経験を伝えることで、勤労の尊さ、すばらしさを感じさせる。
終末		
5分		

(5) 本時の評価

- ・ 父の死をきっかけとして、社会に役立つために多くの困難を乗り越えながら橋作りを行った「内海 五郎兵衛」の生き方に触れることをとおして、社会に奉仕し、公共のために役立とうとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画

喜ぶ人々を見つめる五郎兵衛

みんなが喜んでくれている。やっつてよかった。こんなに喜んで…



↓ 五郎兵衛の心の支え

- ・ がんばったのに…
- ・ もう無理か…
- ・ きつとみんなが喜んでくれるはず
- ・ もう悲しませたくない
- ・ 自分と同じ思いは…

十五年

自分の財産を売る

人々にばかにされる

こわれた橋を見つめる五郎兵衛

- ・ どうして！
- ・ お金を集めて…
- ・ 何度でも



橋をかけたという思い

- ・ 父の死
- ・ 悔しい。
- ・ みんなのために。
- ・ 悲しませたくない。
- ・ 同じ思いは…





内海五郎兵衛

— 命と生活の架け橋を作る —

今の内海橋

明治時代の内海橋

4 指導上のポイント

- ・ 授業をする前に「内海 五郎兵衛」を児童とともに一読したり，朗読DVDを視聴したりしておき，難解な語句や時代背景を押さえた上で授業を行うようにする。
- ・ 志教育との関連を図るために，父の死を経験したことによって，「地域の人々に自分と同じ思いをさせたくない」という強い願いをもって取り組んだ五郎兵衛の心の動きを大切にする。
- ・ 人々が喜ぶ姿を見て，自分にも喜びの思いがあふれたであろう五郎兵衛の心の動きに十分に触れさせることで，公共のために役立つことのすばらしさ，充実感を児童に実感させたい。
- ・ 展開後段では，『私たちの道徳』p.154を活用することによって，人のために役立ちたいという思いが心の支えとなって活動することのすばらしさを確認した上で自己を振り返らせたい。時間があれば，自衛隊の方々の心の支えについても触れた上で，振り返らせる。

5 参考資料

(1) 掲示用資料の例 (出典：『わたしたちの石巻』石巻市教育委員会)



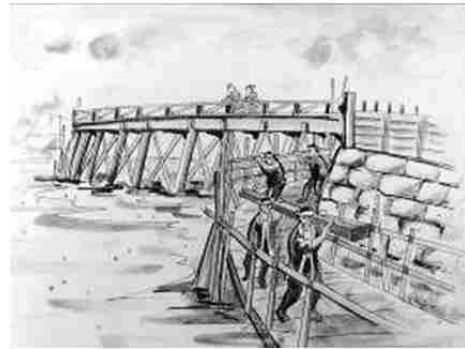
現在の内海橋付近



内海橋ができた頃の中瀬



父を看病する五郎兵衛 (本文挿絵)



内海橋建設の様子 (本文挿絵)

(2) 『わたしたちの道徳』 p.154

公共のために役立つことを

学校での活動 町内会の活動(おいも)活動 海に漂った物資を回収する活動

話し合いの場

自分のできるボランティア活動

●私には地域社会のために何ができるのでしょうか。

活動を通して

社会のために力をつくす

平成二十三年(二〇一一年)三月十一日、東日本大震災が発生した。この震災の被害にあった地域の復旧活動や人々の救援活動のために、地方公共団体、自衛隊、警察、消防、海上保安庁などから多数の職員や西条スタッフが派遣された。また、世界の多くの国や地域、国際機関などから、大きな支援が寄せられた。

さらに、国内外から多くのボランティアが参加した。

困難な状況の中、活動に当たった人たちは、どのような思いで救助や救出などに力をつくしたのだろうか。

それを支えていたものは何だったのだろうか。

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 目標に向かって ○4-(2)不とう不屈, 希望, 勇気 ・1-(5)真理・創意進取

2 資料 「及川 甚三郎 ― 夢を追い続ける ―」
(出典：みやぎの先人集「未来への架け橋」p.57 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「及川 甚三郎」の生き方について考えることをとおして、より高い目標に向かって、障害や困難に打ち勝ち、粘り強くやり通そうとする態度を養う。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
〈子どもの頃〉 「金の馬」に会い に行った。 海水が塩辛いのか を確かめに行った。 ②	何でも自分でやってみないと気がすまない。	エピソードからその人柄を押さえる。	○甚三郎は、どんな性格の人だったでしょうか。
〈大人になって〉 製氷会社や製糸工場を作った。 会社を設立するためにいろいろなことを調べたり、工夫したりした。 ④	思い立ったら、納得するまでやってみないと気がすまない。 鱒漁でもできるのではないかな。	会社を設立するためにいろいろなことを調べたり、工夫したり、努力していることに気付かせる。	○甚三郎は、どんな事業を行ったのでしょうか。
たった一人で海を越え、カナダに向かう。 ⑤	たとえ一人でも、絶対にサケ漁を成功させるんだ。 目の前にチャンスがあるのだから、チャレンジしなければ。	「たった一人でもサケ漁をする」という強い気持ちで海を渡ったことに気付かせる。	○たった一人で海を越え、カナダに向かう甚三郎は、どんなことを考えていたのでしょうか。
サケ漁をする。 ⑥ ふるさとの村の状況を知り、多くの人をカナダへ移住させた。 ⑦	目の前に大きなチャンスが広がっている。 様々な困難もあったが、カナダで新しい仕事に取り組んでよかった。 夢がかなった。あきらめないでよかった。 みんなに幸せになってほしい。	夢をかなえるためには、目標をもち強い気持ちで努力することが大切であることを気付かせる。	◎日本から来た人たちが、生き生きと働いているのを見て、自分のしてきたことをどのように考えたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 多くの障害や困難に打ち勝ち、あきらめずに努力をしている姿を捉えさせることにより、より高い目標に向かって粘り強くやり通そうとする意欲や志を高める。【もとめる】
- ・ 夢を追い続けた結果、成果を収めた甚三郎の姿から、自分だけでなく、同郷の人々の幸せにもつながった生き方を考えさせる。【はたす】

(4) 学習過程

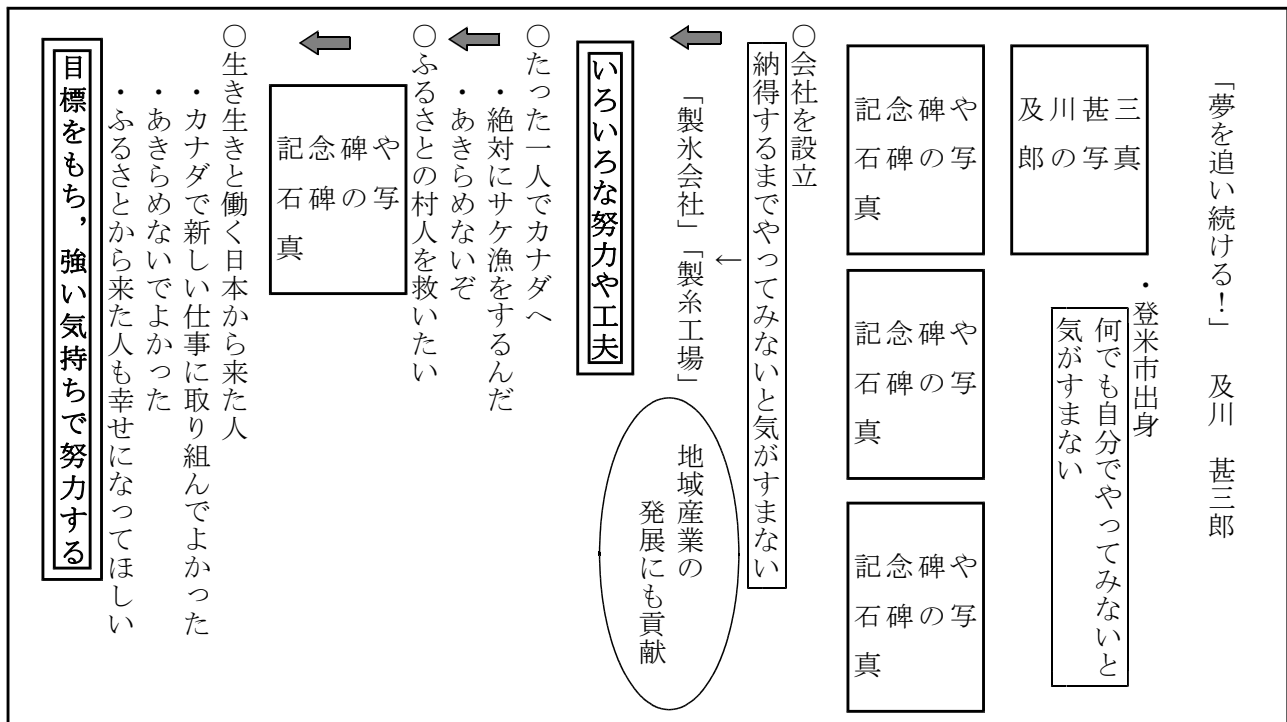
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 これまでの自分の取組の様子について振り返る。</p> <p>○ 今までの自分は、目標やめあてに向かってどのように取り組んできましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途中であきらめたこともあった。 ・ 嫌なことがあると逃げ出したくなった。 ・ できそうもないとあきらめようとした。 <p>○ 今日は、自分の目標に向かって努力し続けることの大切さについて学習します。</p>	<p>◆ 目標やめあてを立てて取り組んだことを想起させ、価値への方向付けを図る。</p> <p>◆ 事前にアンケート調査を行い、提示する。</p> <p>◆ 事前に資料の前半部分を読ませ、甚三郎の性格や様々な会社を設立したことなどについて読み取らせておく。</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料「及川 甚三郎－夢を追い続ける－」の前半部分を読んで話し合う。</p> <p>○ 子どもの頃から、甚三郎はどんな性格の人だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいことに興味をもって、自分の力でやろうとする人。 <p>○ 甚三郎は、どんな事業を行ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製氷会社を作った。 ・ 製糸工場を作った。 ・ 会社を作るために、いろいろなことを調べた。 <p>3 資料「及川 甚三郎－夢を追い続ける－」の後半部分を読んで話し合う。</p> <p>○ たった一人で海を越え、カナダに向かう甚三郎は、どんなことを考えていたのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絶対にサケ漁をするんだ。 ・ 一人でも絶対に成功させてみせる。 ・ あきらめないぞという強い気持ち。 ・ 困難に出合っても、チャレンジ精神を忘れない。 <p>◎ 日本から来た人たちが、生き生きと働いているのを見た甚三郎は、どんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な困難もあったが、カナダで新しい仕事に取り組んでよかった。 ・ 夢がかなった。 ・ これまであきらめないでよかった。 ・ ふるさとから来た人たちにも幸せになってほしい。 	<p>◆ 資料の前半部分 (p.58 12行目まで) を読み聞かせる。</p> <p>◆ 写真を提示しながら、甚三郎が登米市出身であることや、何でも自分でやってみないと気がすまない性格だったことを押さえさせる。</p> <p>◆ 現代との違いを押さえ、誰もが簡単にできることではないことに気付かせる。</p> <p>◆ 持ち前の性格を発揮し、大人になっても会社を設立するために、いろいろなことを調べたり、工夫したりして、努力していることをつかませる。</p> <p>◆ 資料の後半部分 (p.58 13行目から) を読み聞かせる。</p> <p>◆ たった一人でもサケ漁をするんだという強い気持ちで海を渡ったことに気付かせる。</p> <p>◆ 努力して夢を追い続けたことが、自分だけでなく、同郷の人々の幸せにもつながったことを捉えさせる。</p> <p>◆ 書く活動を取り入れ、甚三郎の考えにじっくり向き合わせる。</p> <p>* 夢をかなえるためには、目標をもち、強い気持ちで努力をすることが大切だということに気付くことができたか。(発表、表情、つぶやき、プリント)</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>4 これまでの自分について振り返って考える。 ○ 今までの自分やこれからの自分について考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難しいとすぐにあきらめることがあった。甚三郎さんみたいに、苦手でも勉強をこつこつと頑張ることが大切。 ・ 今まで以上に、素振りや体力トレーニングを頑張りたいと思った。 ・ 目標やめあてをしっかりと立てて、毎日取り組むことは難しいけど大切なことだと思う。 	<p>◆ これからの生活の中で、今の自分ができることを考えさせる。</p> <p>* 自分のことを振り返り、これからのことを考えることができたか。 (発表、表情、つぶやき、プリント)</p>
<p>終末5分</p>	<p>5 夢をかなえるために頑張ってきた人のエピソードを聞く。</p>	<p>◆ 『私たちの道徳』 p.26「夢に向かって確かな一歩を」を読み、本時のまとめとする。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 「及川甚三郎」の生き方について考えることをとおして、より高い目標に向かって、障害や困難に打ち勝ち、粘り強くやり通そうとする気持ちをもつことができる。

(6) 板書計画




4 指導上のポイント

- ・ 資料が長文のため、分割して取り扱う。資料前半部分では、まず、時代は違うけれどもできるだけ身近に感じられるように、甚三郎が登米市出身であることやどういう人柄であったのかを押さえさせたい。資料は事前に読ませておく。
- ・ 資料後半部分は、家族や周囲の反対を押し切り、たった一人でカナダに渡る強い思いに気付かせたい。誰もができることではないが、夢をかなえるために目標をもって強い気持ちで努力することの大切さをつかませ、ねらいとする価値に迫りたい。
- ・ 今までの自分の生活について振り返り、これからの自分ができること、しなければいけないことについて考えさせ、価値の内面化を図りたい。
- ・ 『私たちの道徳』を活用し、自分の身近な経験を想起させながら、今後の実践へとつなげる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

<p>○夢や希望に向かって（または、夢や希望をみつけるために）、今自分ができること、しなければいけないことは何でしょうか（大切だと思うこと）？</p>	<p>これまでの自分を振り返ってみよう</p> <p>名前（ ）</p>	 <p>考えてみよう</p> <p>名前（ ）</p> <p>○日本から来た人たちが、生き生きと働いている姿を見て、甚三郎はどんなことを考えたでしょうか。</p>
---	--------------------------------------	--

(2) 掲示用資料の例

※一部  データダウンロード可能
FREE Download



〈本資料写真〉



〈登米市東和町 米谷大橋河川敷公園内 水安丸記念碑〉



〈登米市東和町 米谷大橋〉



〈登米市東和町 華足寺 水安丸記念碑〉



〈登米市東和町米川
及甚と源氏ぼたる交流館〉

■登米市とカナダB・C州バーノン市の友好姉妹都市としての交流について

バーノン市とは、東和町米川出身の実業家・及川甚三郎翁が、凶作などにより困窮にあった村人を救うため、帆船「水安丸」にてカナダに渡航したことにより、その子孫などとの交流が続いていた。

昭和60年ブリティッシュコロンビア州のベネット首相が、「つくば博」視察のため来日し、当時のバンクーバー総領事・片倉邦雄氏（中田町出身）の働きかけで、東和町長が招待され、姉妹都市交流について協議が始まった。

昭和61年第1回東和町国際交流親善使節団20名がバーノン市を訪問、姉妹都市締結をし、相互交流が始まった。

平成18年、バンクーバー市をはじめとする周辺地域において、カナダ在住の日系人など多くのカナダ国民が一堂に会し、水安丸航海百周年記念式典等が開催され、登米市として訪問団を派遣し祝意を表すと共に、あらためて姉妹都市の締結が行われた。

〈登米市国際交流協会 www.tome-kokusai.com/より〉

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 人種を越えて共に生きる ○4-(8)国際理解 ・3-(1)生命尊重 ・1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「フランク 安田 ― イヌイットを救う ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 61 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

外国の人々や文化を大切にできる心を持ち、人種を越えて共に生きていこうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
石巻生まれの安田恭輔がアラスカで暮らすことになった。①②	言葉を覚え、狩猟の腕をみがきここで暮らしていくぞ。 優秀な若者として認められ、イヌイットの娘と結婚できた。	新しい土地で精一杯生きていこうとする気持ちに気付かせる。	○アラスカで多くのイヌイットから認められるようになったフランクはどんな気持ちだったでしょう。
海の動物が捕れなくなり、はしかが流行し、たくさんの人が亡くなった。③	娘も死んでしまった。何とかしなければ。 何とかしたいけれど、どうしたらいいだろう。	自分に何ができるのか思い悩む気持ちに目を向けさせる。	○はしかが流行して多くの人がいなくなり、イヌイットから頼りにされたフランクはどんなことを考えたでしょう。
金と新しく住む場所を探すために、内陸部に入っていく。④	よし、これでみんなを助けることができるぞ。 動物が手に入る新しい村を作ることができるぞ。	自分のためではなく、イヌイットの人たちのために喜んでいく気持ちに気付かせる。	◎リーダーとなったフランクはどんなことを考えていたでしょう。
イヌイットを200人引き連れ800キロの距離を進む。⑤	困っている人を見捨てるわけにはいかない。 これ以上人を亡くしたくない。 みんなを助かりたい。	人種を越えて共に生きのびること、命を優先して行動したフランクの熱い思いに共感させる。	

(3) 志教育との関連

- ・ ペアやグループなどでお互いの考えを聞き合わせ、人種を越えて共に生きのびること、命を優先して行動したフランクの熱い思いに共感させるようにする。【かかわる】
- ・ 偉業を成し遂げた郷土の先人を家族で話題にしたり、原作「アラスカ物語」を紹介したりするなどして発展させるようにする。【もとめる】


(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 5分	1 外国の人と交流した経験について発表する。 ・ ALTの先生と交流したよ。 ・ ボランティアで来た外国の人と話したことがあるよ。 ・ 外国に住んでいたことがあるよ。	◆ グループ内で発表し合わせ、話しやすい雰囲気作りをする。
展開前段 25分	2 本時の資料「フランク安田」について知る。 3 フランク安田の生き方について考え、話し合う。 ○ アラスカやイヌイトについて知っていることはどんなことですか。 ・ とても寒くて氷に閉ざされている所。 ・ 生の肉を食べ、毛皮の服を着ている人たち。 ○ アラスカで多くのイヌイトたちから認められるようになったフランクはどんな気持ちだったでしょう。 ・ ここでみんなと暮らしていくぞ。 ○ はしかが流行して多くの人が亡くなり、イヌイトから頼りにされたフランクはどんなことを考えたでしょう。 ・ 娘も死んでしまった。なんとかしなければ。 ・ なんとかしたいけれど、どうしたらいいだろう。 ◎ リーダーとなったフランクは、どんなことを考えていたでしょう。 ・ 困っている人を見捨てるわけにはいかない。 ・ これ以上人を亡くしたくない。みんなで助かりたい。	◆ 本資料を事前に朝の会等で範読し、概要をとらえさせておく。朗読DVDを活用する方法もある。 ◆ 役割演技などをしながら、困惑している場面や状況を想起させ、なんとかしたいというフランクの強い気持ちに共感させる。 * 外国の人々や文化を大切にできる心を持ち、人種を越えて共に生きていこうとする心情に共感できたか。(発言、ワークシート)
展開後段 10分	4 フランクの行動や生き方から学んだことを、これからの自分にどう生かすかについて考える。 ・ 自分が何で人の役に立つことができるか、もっと考えていきたい。 ・ 自分のことよりも人のことを考えられるフランクはすごい。自分もそういう考え方を大切にしていこう。	◆ フランク同様、国を越えて命を救う活動をした人物をあげながら、国際理解、生命尊重、勇気、行動力等について感想を述べさせ、これからの自分の生き方について考えさせる。
終末 5分	5 本時の学習の感想を書く。	◆ 数人を意図的に指名して発表させ、余韻を残して授業を終える。

(5) 本時の評価

- ・ 外国の人々や文化を大切にできる心を持ち、人種を越えて共に生きていこうとする「フランク安田」の生き方から、外国の人々と積極的に交流する意欲をもつことができる。

(6) 板書計画


<p>日本と アラスカ の位置を 示す地図</p>		<p>人種を越えて共に生きる フランク 安田 — イヌイットを救う —</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ アラスカはアメリカの北のはし。 ・ 北極に近くとても寒い。 ・ イヌイットは北極圏に住む原住民。 ・ 魚や獣を取って生活している。 	<p>アラスカで多くのイヌイットから認められるようになったフランクはどんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>はしかが流行して多くの人が亡くなり、イヌイットから頼りにされたフランクはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>砂金を見つけたとき、フランクはどんな気持ちになったでしょう。</p>
<p>リーダーとなったフランクは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p>		

4 指導上のポイント

- ・ アラスカでは真夏でも平均気温は5度を下回ることも普通であることを知らせ、いかに寒いか捉えさせたい。
- ・ 生肉を食べることに抵抗を示す児童がいるかもしれないが、日本人が刺身を食べるとなればわからないことを知らせる。
- ・ 伝染病に免疫のない人たちにとって、はしかは怖い病気であることを理解させたい。
- ・ 砂金がなぜ川のなかにあったのか質問が出たら、金を含んだ岩石が砕けたときに、金の比重が重いために川底の深い部分に砂金がたまることを知らせる。
- ・ 大金を手にしたフランクが自分のためではなく、イヌイットの人たちの村づくりのために惜しげもなく使ったことを捉えさせたい。
- ・ 朗読DVDを効果的に活用し、視覚的にも理解させるようにしたい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

	<p>三 リーダーとなってイヌイットを救おうとしたのはどんな気持ちからでしょう。</p>	<p>二 はしかが流行して多くの人が亡くなり、イヌイットから頼りにされたフランクはどんなことを考えたでしょう。</p>	<p>一 アラスカで多くのイヌイットから認められるようになったフランクはどんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>人種を越えて共に生きる フランク 安田 — イヌイットを救う — 名前 ()</p>
---	--	---	--	--

(2) 揭示用資料の例

① 絵及び写真データ

データダウンロード可能
FREE Download



生肉を食べるフランク安田



フランク安田（左）とトム・カーター



高い山々を越えるイヌイットたち



ビーバー村のオーロラ（高砂宏之 撮影）

② フランク安田に関する資料

No	参考資料・文献名	出典(出版社等)	執筆者(編集者)等	備考(所蔵先等)
1	アラスカ物語	新潮文庫	新田次郎	市販されている
2	ビーバー村をつくったフランク安田	北文社	湊小道德部	道德自作資料
3	石巻圏 20世紀の群像 中巻 スポーツ・社会編	三陸河北新報社		市販されている
4	石巻まるごと歴史探訪	ヨークベニマル	石垣 宏ほか著	石巻市図書館など 市販されている
5	石巻 ふるさと人物事典	ヤマト屋書店	千葉賢一著	石巻市図書館など 市販されている
6	週刊「少年チャンピオン」1974年No.42~51 1975年No.1	秋田書店		石ノ森萬画館
7	映画「アラスカ物語」		堀川弘通監督、北大路欣也主演 1977年 東映	
8	テレビ番組「アラスカの星 極北の村を救った日本人フランク安田」	KHB東日本制作		2004年 ナビゲーター 中村雅俊
9	新聞 石巻かほく	三陸河北新報社	平成16年2月19日、 平成19年11月14日、12月13日 平成20年2月11日、3月22日、6月13日、8月19日、8月21日、8月23日、 8月27日、8月29日、8月30日、9月2日、9月4日、9月5日、 9月9日、9月10日	

上記以外に、フランク安田は2011年2月12日にテレビ東京系「世界を変える百人の日本人」の番組で取り上げられた。その映像の一部が、朗読DVDでも用いられている。

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 目標に向かって ○1-(2)希望・勇気・努力 ・関連4-(7)郷土愛

2 資料 「秀ノ山 雷五郎 ― 小さな体で大横綱に ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.65 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

相撲取りになることを決意し、様々な困難を克服して大横綱になった「秀ノ山 雷五郎」の生き方を知り、自分で決めた目標に向かって、あきらめずに努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
相撲取りへのあこがれ ①	自分も相撲取りになりたい。 兄のようにになりたい。	児童が辰五郎の夢を共有することで、ねらいに迫るための方向付けを図る。	○辰五郎の夢は何でしたか。
相撲取りになることへの決意 ②	体が小さいからな。 自分より強い相撲取りがたくさんいる。 自分は田舎者だから相手にしてもらえないんだ。	辰五郎は相撲取りになることを決心したが、夢を実現させることは容易ではないことを想像させる。	○相撲取りにはなれなかった辰五郎はどんなことを考えていたでしょう。
相撲取りになることへの挫折 ③	もう相撲取りにはなれない。 ここで働くしかない。 やっぱり相撲取りになりたい。 今は源之丞さんを頼るしかない。	人との出会いや関わりの大切さを考えさせる。	○入門できず油問屋で働いていた時、辰五郎はどんなことを考えていたでしょう。
相撲取りになることが実現し、横綱になった辰五郎 ④	やっと相撲取りになれた。 もっと強くなりたい。 技にみがきをかけた。 欠点を克服しなければならぬ。 厳しい稽古に耐えても頑張りたい。 源之丞のおかげでなれた。 この感謝の気持ちは忘れぬ。	入門したことが夢の完結ではなく、入門した後も自分の欠点を克服し、努力を続ける辰五郎の姿を想像させる。 支えてくれた源之丞への感謝の気持ちに気付かせる。	◎相撲部屋に入門できてから横綱になるまでの辰五郎は、どんなことを考えながら稽古をしていたのでしょうか。
生家の近くの岩井崎に銅像 ⑤			

(3) 志教育との関連

- ・ 辰五郎が横綱になるまでの生き方を知り、自己の将来の夢を思い描き、夢の実現に向けて生き方を考えられるようにする。【もとめる】
- ・ 秀ノ山 雷五郎（辰五郎）の困難に屈しない姿を捉えさせることにより、目標を実現するためにあきらめずにやり抜こうとする強い意志と心情をもつことができるようにする。

【はたす】

(4) 学習過程

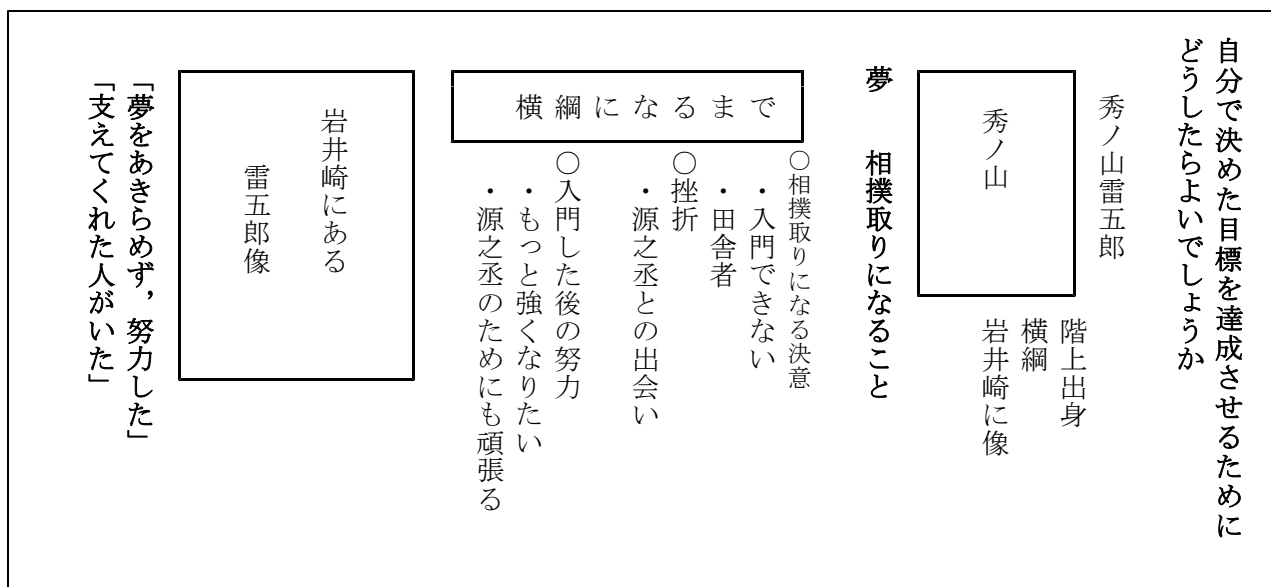
段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価（方法）
導入 5分	1 自分の夢や目標を書く。 ○ 将来なりたい職業や今の目標など、自由に書きましょう。 ・ 野球選手になりたい。 ・ 公務員になりたい。	◆ 前向きに考えられる雰囲気努める。 ◆ 将来のことだけでなく、今現在の夢や目標も考えさせる。(ワークシート①) *自分の夢や目標を書くことができたか。(記述)
展開前段 20分	2 「秀ノ山 雷五郎—小さな体で大横綱に—」を読んで話し合う。 ○ 辰五郎の夢は何でしたか。 ・ 相撲取りになること ・ 兄のようになりたかった。 ○ 相撲取りにはなれなかった辰五郎はどんなことを考えていたでしょう。 ・ 体が小さいからなれないんだ。 ・ 自分より強い相撲取りがたくさんいる。 ・ 自分は田舎者だから相手にしてもらえないんだ。 ○ 入門できず油問屋で働いていた時、辰五郎はどんなことを考えていたでしょう。 ・ もう相撲取りにはなれないんだ。 ・ ここで働くしかない。 ・ やっぱり相撲取りになりたい。 ・ 源之丞を頼るしかない。 ◎ 相撲部屋に入門できてから横綱になるまでの辰五郎は、どんなことを考えながら稽古をしていたのでしょうか。 ・ やっと相撲取りになれた。 ・ もっと強くなりたい。 ・ 技にみがきをかけたい。 ・ 欠点を克服しなければならない。 ・ 厳しい稽古に耐えても頑張りたい。 ・ 源之丞のおかげでなれた。 ・ 源之丞への感謝は忘れない。	◆ 黒板やTVモニターに秀ノ山を提示し、興味を喚起する。 ◆ 秀ノ山について簡単に紹介する。 ◆ 夢を実現させるために江戸に出たものの容易に相撲取りになることはできず、挫折してしまったことを捉えさせる。 ◆ 夢の実現のために努力してくれたり、支えてくれたりしてくれる人がいることに気付かせる。 ◆ 力士になる夢が実現した後も、努力や感謝の気持ちを忘れることがなかったことを想像させる。 ◆ 辰五郎がどんな気持ちで稽古に打ち込んだのかを考えさせ、ワークシートに書かせる。(ワークシート②) *辰五郎の気持ちをとらえることができたか。(発表・記述)

<p>展開後段 15分</p>	<p>3 自分の夢や目標を達成するためにどんなことを頑張ればよいか考え、ワークシートに書いて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うまくいかないときでも、あきらめないで続けることが大切だ。 ・ 支えてくれている家族やチームのみんなに感謝の気持ちを忘れないようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 最初に書いた夢や目標から1つ選び、実現させるためには、どんなことに努力すればよいか考えさせる。 ◆ 考えをワークシートに書かせ、発表させる。(ワークシート③) * 夢や目標を実現させるためにどのような努力することが大切か明らかになったか。(記述・発表)
<p>終末 5分</p>	<p>4 現在の秀ノ山雷五郎像について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災の大津波でも流されなかったことや天皇陛下も秀ノ山雷五郎への関心が高かったことについて新聞記事等を提示し、紹介する。(記事のコピー プレゼンソフト等の活用) ◆ 「秀ノ山像は、私たちにどんなメッセージをおくっているのか。」などの投げ掛けで、余韻のある終わり方にする。

(5) 本時の評価

「秀ノ山 雷五郎」の生き方を知り、自分で決めた目標に向かって、あきらめずに努力しようとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 自分の夢や目標を明確にし、辰五郎（秀ノ山雷五郎）の生き方や気持ちと比べながら自分の夢や目標を実現させるために何をすべきかが考えられるようにする。
- ・ 自分一人の努力だけでなく、人との出会いや支えてくれる人の存在にも気付くことができるようにする。
- ・ 身近にいる頑張っている人のことや誰かに支えられたことの実験などに関連させることで、より自分自身の課題として捉えることができるようにする。
- ・ 秀ノ山雷五郎の功績は、今も認められていることを知らせる。(自分たちが住んでいる地域からも秀ノ山のような素晴らしい人物が出ていることを理解させる。)

5 参考資料

(1) ワークシートの例

「秀ノ山 雷五郎 ー小さな体で大横綱にー」
名前

自分で決めた目標を達成させるためにどうしたらよいでしょうか。

① 自分の夢や目標を書きましょう。

② 相撲取りになった辰五郎はどんなことを考えながら稽古をしていたと思いますか。
(思いつくことをいくつでも書きましょう。)

③ 自分の夢や目標を達成するためにどんなことを頑張ればよいか考えましょう。
(思いつくことをいくつでも書きましょう。)

(2) 掲示用資料の例

・岩井崎に建っている秀ノ山雷五郎像



データダウンロード可能
FREE Download

・秀ノ山雷五郎浮世絵
(日本相撲協会所蔵)

・秀ノ山像に関する新聞記事

稽古場復活に喜びの声

相撲場 落成
白鵬らが少年力士を激励

気仙沼

相撲場の落成を祝う力士会と気仙沼少年相撲教室の選手たち
相撲場の落成を祝う力士会と気仙沼少年相撲教室の選手たち
相撲場の落成を祝う力士会と気仙沼少年相撲教室の選手たち

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 広い心でくじけずに ○1-(2)希望, 勇気, 努力 ・2-(4)謙虚・寛容

2 資料 「落合 直文 — 短歌を多くの人に広める —」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.69 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

広い心で、相手の立場を大切にしながら、夢に向かおうとした落合直文の生き方に触れることで、謙虚な気持ちで自分と異なる意見や立場を大切にしながら目標に向かって努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
新しい短歌を作ろうと希望を抱く直文	歌人や国文学者として仕事をしたい。 短歌や国文学を新しい時代に合ったものに発展させたい。	夢をもち、励もうとする直文の姿に共感させる。	○直文はどんな夢をもっていたのですか。
正岡子規の記事を楽しむ直文	子規の随筆を読むのを楽しみにしていた。	直文が子規の連載に期待していた思いを考えさせる。	○直文はどんなことを思っ て、子規の連載を楽しみに していましたか。
悪化する子規の病 気	早くよくなって新しい短歌を 作って行ってほしい。 ふるさとから送られてきたり んごを子規に送ってあげよう。		
短歌を厳しく批評 される直文	子規は自分の短歌をよくしよ うとして批評している。 今、りんごを送ったのでは、 子規が遠慮して連載をやめてし まうのではないか。	これからの短歌をつくるた めには批判を受けることも大 切なのだという直文の気持ち に気付かせる。	○新聞の批評を読んだ直文 がりんごを送ることをため らったのはどんな気持ちか らですか。
悪くなったりんご をおだやかな目で見 つめ続ける直文	子規の病気が早くよくなって ほしい。子規にも認められるよ うに努力しよう。そして新しい 短歌や国文学のために、これか らもっと協力していかなければ。	自分の思いを実現させるた めには、相手の批評にも素直 に耳を傾ける謙虚さ、おだや かな中にも強い意志が大切で あることを感じ取らせる。	◎悪くなってしまうたりん ごを見つめながら直文はど んなことを考えていたでし ょう。 ○自分の夢の実現のために どんなことを大事にしてい きたいと思いますか。

(3) 志教育との関連

- ・ 自分の目標に向かって、おだやかな中にも強い意志をもって努力を続けた落合直文の生き方に共感させ、学んだことを自分の行動に生かすようにする。【かかわる】【もとめる】
- ・ 終末の段階で、「落合直文短歌大会」の新聞記事（出典：三陸新報）を紹介し、主人公の功績に触れることで、地域の誇りや身近な存在であることを感じ取らせるようにする。【かかわる】

(4) 学習過程

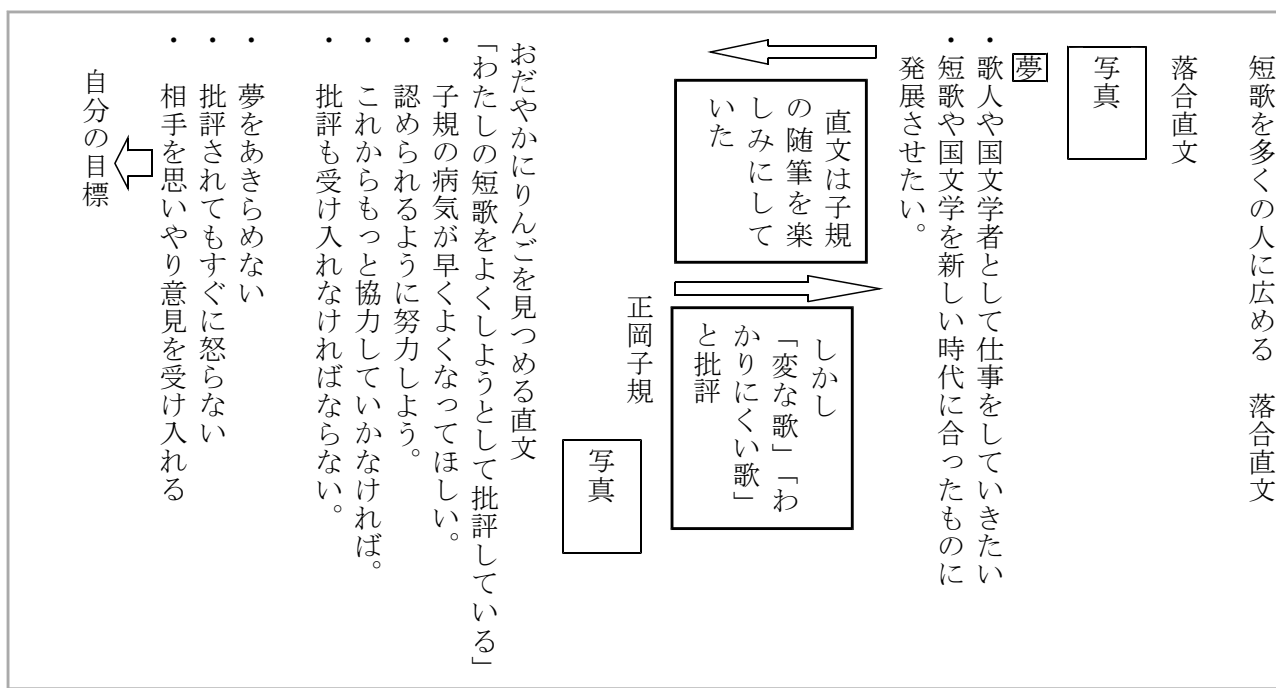
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価（方法）
導入 5分	<p>1 「将来の夢アンケート」の結果を見て考える。</p> <p>○ 「将来の夢」の実現のためにがんばっていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連の本を読む。 ・ 仕事の役に立つように、そろばん、漢字検定をしている。 ・ 毎日サッカーの練習をしている。 <p>○ 夢を実現するためにどんなことに気を付けていくとよいか落合直文のお話から学んでいきましょう。</p>	<p>◆ 児童の事前アンケート結果を提示することにより、本時の学習を自分のこととして捉えさせるとともに、本時の価値への方向付けをする。</p>
展開 前段 30分	<p>2 「落合直文ー短歌を多くの人に広めるー」を読んで話し合う。</p> <p>○ 直文はどんな夢をもっていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌人や国文学者になりたい。 ・ 短歌や国文学を時代に合ったものに発展させたい。 <p>○ 直文はどんなことを思って、子規の連載を楽しみにしていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と同じ志の歌人の考えを知りたい。 ・ もっと短歌について勉強したい。 <p>○ 新聞の批評を読んだ直文がりんごを送ることをためらったのはどんな気持ちからですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今、りんごを送ったのでは、子規が遠慮して連載をやめてしまうのではないか。 <p>◎ 悪くなってしまうたりんごを見つめながら直文はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子規の病気が早くよくなってほしい。 ・ 認められるように努力しよう。 ・ 新しい短歌や国文学のために、これからもっと協力していかなければ。 ・ 自分の短歌をよくするためには批評も受け入れなければならない。 	<p>◆ 明治時代の変化についてプレゼンテーションソフトを使って簡潔に説明する。</p> <p>ワークシート1</p> <p>◆ 直文が歌人として子規の随筆を楽しみにしていたことを捉えさせる。</p> <p>◆ 直文の、批評されても自分の目標をかなえたいという強い意志に共感させる。</p> <p>ワークシート2</p> <p>◆ 直文の、目標に向かうためには相手の批判も受け止めようとする気持ち、おだやかな中にも強い信念を捉えさせる。</p> <p>* 直文の、夢を実現するためには広い心で、自分と異なる意見や立場を大切にしようという気持ちを感じ取ることができたか。（発言、ワークシート）</p>

<p>展開後段 7分</p>	<p>3 直文の行動や生き方から学んだことを、これからの自分にどう生かすかについて考える。</p> <p>○ 自分の夢の実現のためにどんなことを大事にしていきたいと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 些細なつまずきで夢をあきらめてはいけない。いろいろな人のアドバイスを聞き入れながら粘り強く取り組みたい。 ・ どんな人の言葉にも耳を傾け自分のためになるようにしたい。 	<p>◆ 自分の夢を実現するために大事にしたいことを考えさせ、自分のこれからを見つめさせる。</p> <p>ワークシート3</p> <p>* 直文の生き方から学んだことを生かして、自分の夢の実現のために大事にしたいことを考えることができたか。(ワークシート)</p>
<p>終末 3分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ 「落合直文短歌大会」の新聞記事を紹介し、主人公の功績に触れることで、地域の誇りや身近な存在であることを感じ取らせる。</p>

(5) 本時の評価

- 直文の心情に共感し、謙虚で広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしながら目標に向かって努力しようという気持ちをもつことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 資料が長く、児童にとって読み取りに若干時間がかかるため、事前（朝読書の時間等）に資料を読ませたり、朗読DVDを視聴させたりしておく。
- ・ 児童の実態に応じて明治時代が変わったもの（建物、服装、食事など）を簡潔に補説し、明治時代は日本が大きく変化した時代であることにも触れておく。
- ・ 直文の行動を深く見つめさせ、自分の生き方に生かしていけるようにするために書く活動を取り入れる。

5 資料

(1) ワークシートの例


三 これから自分の夢の実現のためにどんなことを大事にしていききたいと思いますか。

二 悪くなったリンゴを見つめながら直文はどんなことを考えていたでしょう。

一 直文はどんなことを思って、子規の連載を楽しみにしていましたか。

道德 ワークシート
番 名前 ()

落合直文—短歌を多くの人に—



(2) 掲示用資料の例

全国から約3千首

気仙沼 落合直文短歌大会

28日

気仙沼市出身の歌壇に立つかたわらで、人・落合直文を顕彰する第28回落合直文全国短歌大会が、28日午前10時から松岩公民館で開催される。

落合直文顕彰会（西城重一会長）が主催。


教壇に立つかたわらで、歌集や文学集を刊行し、明治以降の近代短歌で初めて「恋人」という言葉を使うなど、近代短歌の先駆者として知られる直文の功績をたたえることを目的に毎年開催している。今回は、全国から3024首（一般309首・高校808首・中学1907首）が寄せられた。大会では、入賞作品と入賞者を表彰するほか、日本歌人クラブ会長で歌誌「りとむ」創刊発行人の三枝昂之さんによる講評がある。

また、開会セレモニーでは、気仙沼アマチュアコーラス連絡会がステージを披露する。同顕彰会では「日本の文化に触れられる機会であり、会場に足を運んでいただき、短歌に親んでもらいたい」と話している。

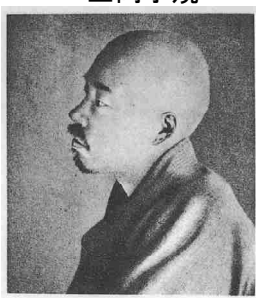
←落合直文短歌大会を報じる記事（三陸新報）

データダウンロード可能
FREE Download

落合直文




正岡子規

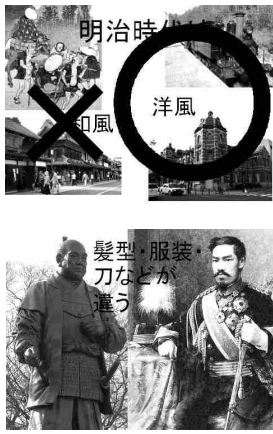


プレゼンテーションデータの例

明治時代のくらしは大きく変わった。



明治時代の建物



明治時代のくらしは大きく変わった。
髪型・服装・刀などが真う

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 目標に向かって行動する ○1-(2)希望・勇気・努力 ・1-(5)創意・工夫

2 資料 「林 子平 ― 志あれば必ず道あり ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 75 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

挫折を克服しながら努力を続けた「林 子平」の生き方に触れることをとおして、自分の夢や目標に向かい、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
子平は仙台藩をよくしたいという情熱をもって行動するが、藩は子平の意見を取り入れようとしな い。 ③	仙台藩のために自分の力を役立てたい。尽くしたい。 仙台藩をよくしたい。 役人はどうして分かって くれないのだろう。	何よりも仙台藩をよくするために、自分の力を注ぎたいという子平の思いを 押さえさせたい。	○仙台藩の仕事につけないのに、仙台藩のために研究を重ねる子平はどんな思い をもっていたのでしょうか。
ロシアが日本をねらっているといううわさを確かめに長崎に行き、うわさが本当であることを知って大きな衝撃を受ける。 ④	ロシアが攻めてきたら大変なことになる。 このままでは蝦夷地だけでなく、仙台藩も危ない。 早くこのことをみんなに知らせないといけない。 どうしたらよいだろう。	日本に重大な危機が迫っていることを幕府や各藩に知らせることに子平が大きな使命感を抱いた心情に 共感させたい。	○ロシアが日本をねらっているといううわさが本当であることを知り、大きな衝撃を受けた子平はどんなことを考えたでしょう。
「志あれば必ず道あり」という信念をもって学問を続け、寝る間も惜しんで『三国通覧図説』『海国兵談』を書き上げる。 ⑤	早く知らせたいのに、なぜ自分にはその力がないのだろう。 日本人たちのためにあきらめしないで、考えよう。 今の自分にできることは、知っていることを本に書くことだ。	日本に迫る重大な危機を伝えるには、子平はあまりにも無力であった。その上思いとは裏腹に周囲から指弾される状況もあった。それでも、困難に負けず、努力を続ける子平の心情に 共感させたい。その心情から目標を達成するための大切な要素について考えさせ たい。	◎版木に少しずつ少しずつついでに文字を彫り続ける子平は、どんなことを考えていたのでしょうか。
自分の手で印刷のための版木を彫ることを決心し、5年の年月をかけて完成させる。 ⑥	どんなに時間がかかっても、本を出版してやる。 日本を救うために本を完成させなければならない。 何か方法があるはずだ。		

(3) 志教育との関連

- ・ 分からないことがあると、すぐに調べて解決せずにはいられない性格であること、そして藩のために尽くしたいという強い気持ちで生き方を探求する子平の姿に気付くことができるようにする。【もとめる】
- ・ たとえ困難なことにぶつかっても、自分の願いを達成させようとあきらめず強い意志で行動する子平の姿に十分共感させ、学んだことを自分の行動に生かすようにさせる。【はたす】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 3分	<p>1 目標を立てた経験について話し合う。</p> <p>○ これまで目標を立てて頑張ったことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マラソン大会で、ベストタイムを出す目標を立てた。 ・ 漢字テストで満点取れるように練習した。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の経験を想起しやすくするために事前のアンケート結果を提示する。 ◆ いくつかの経験談を挙げた後、本時の主題である「目標に向かって行動する」について考えることを伝え、価値への方向付けを図る。
展開 前段 20分	<p>2 本時の資料「林子平」の話の筋を確認する。</p> <p>3 林子平の生き方について考え、話し合う。</p> <p>○ 仙台藩の仕事につけないのに、仙台藩のために研究を重ねる子平はどんな思いをもっていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台藩のために尽くしたい。 ・ 仙台藩をよくしたい。 ・ 自分のためでなく、人のために働きたい。 ・ 藩の人たちはなぜ分かってくれないのだ。 <p>○ ロシアが日本をねらっているといううわさが本当であることを知り、大きな衝撃を受けた子平はどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これは大変なことだ。 ・ このことを知っているのは自分だけだ。 ・ 早くこのことを知らせないといけない。 ・ どうすればいいのだろう。 <p>◎ 版木に少しずつ少しずついねいに文字を彫り続ける子平は、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なんと少しでも、本を完成させたい。 ・ ここでやめたら、日本がせめられる。 ・ 時間がかかっても、必ず出版する。 ・ 一文字でも彫れば完成に近づく。 ・ できた本を読んでもらえれば、きっと分かってもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料は事前に教師の範読で提示しておく。ここでは p.75 の林子平像を提示し、話の内容を押さえさせる。 ◆ 当時の日本がとっていた鎖国や情報伝達手段が乏しかった背景について補足する。 ◆ 報酬をもらえないのに、仙台藩のために尽力したいという子平の情熱を押さえさせる。 ◆ 自分の思いが届かなくて、もどかしい思いをしているという考えも受け止め、人間理解を図る。 ◆ 重大な事実を知った驚きとともに、大きな使命感を抱く子平の心情に共感させる。 ◆ 日本に迫る危機を伝えようにも、子平はそのような立場になく、本を書いたが出版できない。困り果てた末に自分で版木を彫って印刷することを決心したことを押さえさせてから発問する。 <p>*子平の姿から、希望と勇気をもって努力する大切さについて考えることができたか。(ワークシート、発言)</p>

<p>展開後段 15分</p>	<p>4 自分とかかわらせて考える。 ○ 林子平の生き方から、どんなことを考えましたか。 ・ 常に学び続けた人だったと思う。僕も積極的に学んでいきたい。 ・ 強い気持ちをもって、努力を続けたと思う。自分も勇気をもって行動したい。 ・ 日本のことを考え、行動し続けた子平はすごい。私も誰かのために役立ちたい。</p>	<p>◆ 日本全体を思い、自分の信念を貫いた子平の生き方をつかませ、自分とのかかわりで考えさせる。 * 子平の生き方をこれまでの自分に照らし合わせながら、希望と勇気をもって行動していこうとする意欲をもつことができたか。 (ワークシート、発言、つぶやき)</p>
<p>終末 7分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。 6 『私たちの道徳』を読む。</p>	<p>◆ 途中に感じた苦しさ、つらさ、楽をしたという気持ちについても触れ、やり遂げたときの達成感、満足感を話す。 ◆ 『私たちの道徳』 p.18 を読み、余韻を残して終了する。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 子平の姿から希望と勇気をもって努力する大切さについて考え、子平の生き方をこれまでの自分に照らし合わせながら、希望と勇気をもって行動していこうとする意欲をもつことができる。

(6) 板書計画

志あれば必ず道あり

希望と勇気をもって

大きなしよげき

- ・ 大変なことだ。
- ・ 知っているのは自分だけだ。
- ・ 早く知らせないといけない。
- ・ どうすればいいのだろう。

林子平
漢字テストで満点
マラソン大会でベストタイム

林子平像の
拡大写真

藩のためつくしたい
藩をよくしたい
人のために

文字をほり続ける子平

『海国兵談』
の拡大
写真

- ・ なんとしてでもやる。
- ・ ここでやめたら、日本がせめられる。
- ・ 時間がかかってもやる。
- ・ 一文字でも彫れば完成に近づく。
- ・ この本を読んでもらえれば、きっと分かってもらえる。

4 指導上のポイント

- ・ 『海国兵談』の拡大写真から版木作りの大変さに目を向けさせ、どんな苦境においても、事実を追求し、自分にできることを行い続けた子平の姿勢について考えさせる。
- ・ 日本全体を思い、自分の信念を貫いた子平の生き方をつかませ、自分とかかわらせて考えさせる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

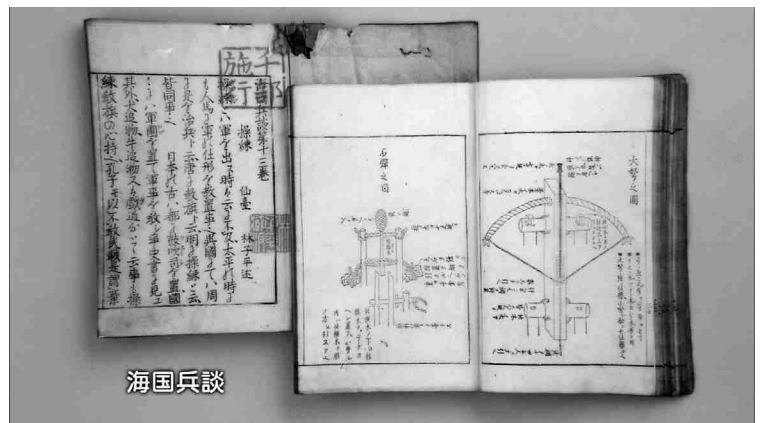
		<p>林 ^{はやし} 子平 ^{しへい} — 志 ^{こころざし} あれば ^{かなら} 必ず ^{みち} 道あり — 年 ()</p>
--	--	--

(2) 掲示用資料の例

↓ データダウンロード可能
FREE Download



林子平像（仙台市 勾当台公園）



『海国兵談』画像



ペリー提督横浜上陸の図
(横浜開港資料館 蔵)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 郷土のために ○4-(7)郷土愛 ・1-(2)希望, 勇気, 不とう不屈

2 資料 「青柳 文蔵 — 日本最初の公開図書館をつくる —」

(出展: みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 79 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

社会への貢献が父母への恩返しとなり, さらに郷土の発展につながると考えて行動した青柳文蔵の生き方から, 郷土のために尽くそうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼い頃から書物に親しむ。 16歳で医師のもとで修業するが, 儒学を学ぼうと江戸に行く。 1	医師の仕事をつがせようとする父には感謝している。しかし, 医師は民衆を思い, 慈しみをもたなければならない。父への恩返しのためにも, もっと勉強しよう。		
様々な仕事をしながらも, 本を買い勉強する。 中国の本から影響を受け, 公事師になりたくさんの収入を得るようになる。 2 3	貧しい生活を送しながらも学ぶ意欲を失わず, 少ないながらも得たお金で本を買い勉強する。 何も知らない人のために, 法律を勉強し, 困っている人の味方になろう。	貧しい中でも, 本を買って勉強しようとする文蔵の思いに気付かせる。	○貧しく, 生活が苦しかった文蔵は, どんなことを考えていたのでしょうか。
ふるさとのために, 誰でも読むことができる文庫を作りたいと申し出, 仙台に日本最初の公開図書館「青柳文庫」が建てられる。 4	富をなし, 書物に囲まれてはいるが, 思うのはふるさとのこと。残り少ない人生だからこそ, 何かふるさとのためになることをしたい。 自分の蔵書を, 志をもった若い人や未来のために役立てたい。身分や地位に関係なく誰でも利用できる, 誰でも読むことができる文庫を作ろう。それが, 父母に対する恩返しだ。	父母や郷土を思う気持ちから, 文庫を作ることを考えたことに気付かせる。	◎文蔵は, どんな思いから文庫を作ろうとしたのでしょうか。
「青柳倉記碑」に「書すなわち吾の賢子孫なり…」という言葉を残す。 5	書物を読むことで, 人として知らなければならないことが分かる。私が残す書物を読んでも勉強する人が出てくれば, 書物こそが私にとって親孝行な子どもたちだ。	自分が集めた書物を後世に残すことが, 未来の人々のためになるという考えをつかませる。	○文蔵は, 「書すなわち吾の賢子孫なり」という言葉にどんな思いを込めたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 社会に奉仕する行動の背景に、父母に感謝しふるさとのことを考える文蔵の心情があることを捉えさせることで、自分の利益だけを考えるのではなく、人のためふるさとのために役立つとする気持ちに共感させる。【かかわる】【もとめる】
- ・ やろうと決めたことは、苦しくても最後までやり遂げようとする文蔵の強い気持ちを感じ取らせることで、自分もあきらめずに努力し続けようという気持ちをもたせるようにする。【もとめる】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 県や市の図書館や学校の図書館などを活用した経験について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の家にはない本が、たくさん揃っている。 ・ 読みたいときに借りて、読むことができる。 ・ 高いお金を出して買わなくても、読みたい本を読むことができる。 	<p>◆ 図書館には、読みたいときに読めるようにたくさん本が揃っていることを確認し、本時は、そのような図書館を日本で初めて作った人物「青柳文蔵」について学習することを知らせ、「ふるさとのために力を尽くした文蔵の生き方について考えていく」ことを伝える。</p>
展開 前段 20分	<p>2 資料「青柳 文蔵」の範読を聞き、どのような人物であるか、おおまかな人物像を知る。</p> <p>○ 貧しく、生活が苦しかった文蔵は、どんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生きるのに精一杯だ。もう、どうしたらよいのだろう。 ・ せっかく江戸に出てきたのに、これでは勉強などできない。 ・ お金がない。でも、やはり本が読みたい。 ・ 少しではあるがこのお金で本を買って学ぼう。 ・ 生活に困っているのは自分だけではないはずだ。 ・ 今自分にできることは学ぶこと、そして学んだことを世の中の人役に立てられれば、みんなの生活が少しでも楽になるかもしれない。 <p>3 文蔵が文庫を作ろうとした気持ちを考える。</p> <p>◎ 文蔵は、どんな思いから文庫を作ろうとしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い頃から本を読めたのは父母のおかげ。人のためになることをすれば、父母が喜ぶだろう。 ・ 何かふるさとのためになることがしたい。 	<p>◆ 資料の内容を児童がよく理解できるように、教師が範読する。</p> <p>◆ 事前に読ませているので、児童の感想を発表させて、どのような人物なのか興味をもたせる。</p> <p>◆ 事前に取り組んでいるワークシートをもとにしながら、本が文蔵にとってとても大切なものであったことを捉えさせる。</p> <p>◆ ポイントとなる言葉は、事前に板書カードに書いていたものを貼り出したり、掲示用資料(別紙参照)で確認したりする。</p> <p>◆ 儒学を学ぼうと江戸に出たものの、お金がなくて読みたい本が買えず、思うように勉強することができなかったこと、不安定な世の中で生き延びるために必死だったことなど、様々な苦労があったことを捉えさせ、そのような苦しい状況の中でも、少ないお金で本を買って勉強を続けた文蔵の思いを考えさせる。</p> <p>◆ その当時自由に書物を読むことができたのは、身分や地位の高い侍や学者などに限られていたことを押さえさせ、身分や地位に関係なく、ふるさとのだれもが自由に利用できる文庫を作りたいという文蔵の思いを感じ取らせる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身分や地位に関係なく、ふるさとの誰もが自由に本を読めるようにしたい。 ・ 自分の蔵書が、少しでもふるさとの学問を志す人の助けになればいい。 <p>○ 文蔵は「書すなわち吾の賢子孫なり」という言葉にどんな思いを込めたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書物は自分の残したものだから。 ・ 書物が自分の気持ちを後世に伝えてくれる。 ・ 自分が本を愛したように、たくさんの人に自分の書物を愛し、読んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ これまでにはなかった文庫というものを、日本で初めて作ろうとした思いを考えさせる。 * 文蔵が郷土への思いを持ち続け、郷土のために尽くしたいという思いに気付くことができたか。(ワークシート・つぶやき・発表) ◆ 掲示用資料を提示し、人として知らなければならないことや人としてしなければならないことが分かる書物を「我が子」と重ねている心情を感じ取らせる。 ◆ 集めた書物を後世に伝えていきたいという文蔵の願いが、青柳文庫と石碑に残されることになったことを紹介する。
<p>展開後段 15分</p>	<p>4 文蔵の生き方について考えたことを振り返り、これからの自分の生活について考える。</p> <p>○ 地域の人のために図書館を作った文蔵の生き方を通して考えたことを、これからの生活にどのように生かしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人のために財産を投げ打つ覚悟で行動したところに感動した。自分もこれまで育ててきたふるさとのためにできることがないか考えていきたい。 ・ 苦しくてもずっと勉強し続けた姿から、自分もどんなときもあきらめずにがんばり、人の役に立てるような人間になりたいと思う。 ・ 蔵書や千両もの寄付など、人のためになることをしたのは、それだけふるさとを思う気持ちがあったからだと思う。自分も父母、地域の人々への感謝を忘れず、自分にできることを考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文蔵がどんな志をもち、どのような行動をとったのかを振り返りながら、「文蔵への手紙」という形でこれからの自分の生活にどのように生かしていきたいと思ったかを記入させ、発表させる。 ◆ 自分のことばかりを考えて行動したのではなく、父母のため、ふるさとの人々のためと考えて行動しようとしたことを考えさせ、今の自分と重ね合わせて考えさせる。 * ふるさとのことを考えてとった文蔵の行動や思いに共感し、これからの自分の生活にどのように生かしていきたいかを考えることができたか。(文蔵への手紙・つぶやき・発表)
<p>終末 5分</p>	<p>5 地域のために尽くし、郷土を作り上げてきた他の先人の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『私たちの道徳』p.174「国家・社会の一員として」の資料を紹介し、郷土を作り上げてきた人々の存在を知らせ、本時の学びのまとめとしてねらいとする価値を明確にする。


(5) 本時の評価

- 地域の人のために図書館を作った「青柳文蔵」の生き方から、ふるさとを大切に思い、ふるさとのためにできることをしようという思いをもつことができる。

(6) 板書計画

青柳文蔵

日本最初の公開図書館をつくる



極めて貧しい生活

それでも学ぶ意欲を失わず、少ないながらも得たお金で本を買い勉強した。

**何かふるさとのために
なることをしたい**

自分の蔵書 二万余巻
運営基金 千両（現在の約五千万円）

青柳文庫
（日本で初）

・文庫を作れば、誰もが自由に本を読めるようになり、ふるさとのためになる。
・人のためになることをすれば、父母が喜ぶだろう。
・何かふるさとのためになることがしたい。
・身分や地位に関係なく、たくさんの人に本を読んでもらいたい。

書すなわち吾の賢子孫なり

4 指導上のポイント

- 資料が長文であるため、事前に読ませたり、朗読DVDを視聴させたりしておく。内容を捉えられるようなワークシートを用意して事前に取り組みさせておくことも考えられる。また、児童の初発の感想などを紹介しながら、どんな人物なのか興味をもたせ、学習過程の展開前段につなげるようにする。
- 範読は、児童が内容を理解できるように教師が行う（事前学習等で、児童が内容を十分に理解できている場合は、必要な部分のみ範読することも考えられる。）。
- 文蔵と書物とのかかわり（幼い頃から読書に親しんだこと、極貧の中でも本を買い学習し続けたこと、さらには自分の人生を変える本に出会うことにもつながったことなど）について掲示用資料で示し、視覚的に捉えられるようにする。


5 参考資料

(1) ワークシートの例

データダウンロード可能
FREE Download

青柳文蔵 | 日本最初の公開図書館をつくる

① 幼い頃の文蔵
幼い頃から、本を読み、字を書き習うことが好きで、
② 十六歳
一医師のもとで修業。
③ 十八歳
一塾生を学ぼうと、
④ 江戸に出た文蔵
お金がない。一思案により勉強ができる。
極めて貧しい生活
「常備比喩」という蔵書の横字が家かた本に出ない。
何も知らない庶民は、
と決心した。



★文蔵は、どんな思いから文庫を作ろうとしたのでしょうか。

★文蔵の生き方を理解して手んだことき、これからの自分の生活にどのように生かしていきたいですか。「文蔵への手紙」を書きましよう。

(2) 掲示用資料の例

データダウンロード可能
FREE Download

○幼い頃から書物に親しむ。
○「人としてどうあるべきかを学ぶ必要がある。」と江戸に出る。
○お金がない貧しい生活。それでも、少ないお金で本を買い、勉強する。
○人生に大きな影響を与える本に出会う。
○ふるさとのため、青柳文庫を作ることを思い立つ。

書すなわち
吾の賢子孫なり

（書物を読むことで、人として知らなければならぬこととや人としてしなければならないことが分かる。わたしが残す書物を読んで勉強する人が出てくれば、書物こそがわたしにとって親孝行な子どもたちなのだ。）

青柳 文蔵

第5・6学年 道徳学習指導略案

- 1 主題名 正しいと思うことを貫く ○1-(5)真理・創意進取 ・4-(7)郷土愛・愛国心
 ・4-(2)公正公平・正義

- 2 資料 「大槻 磐溪 — 開国を唱えて —」
 (出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 83 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

正しいと思うことに進んで取り組み、生活をよりよく改善していこうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼少から漢学の勉強に打ち込む。① 外国の船が姿を見せるようになる と、外国の様子を知るために長崎へ行きたいと考える。②	学問所にもって勉強するだけで、世の中の役に立つ人間になれるのだろうか。 外国の様子はどうなっているのだろうか。漢学だけでなく西洋の事情もくわしく調べたい。	漢学に打ち込むが、当時の時代背景や家庭環境から、西洋や世界に目が向けられていたことを押さえ、のちに信念につながっていったことをとらえさせる。	○幼少から青年期にかけて、磐溪は外国に対してどんな思いをもっていたのでしょうか。
長崎で西洋砲術を学び、外国の様子を本にする。 黒船が来航し、藩の命令で黒船の様子をうかがう。植民地にされた中国の様子を聞き、開国の意見書を出す、身の危険が迫る。③	あのような鉄の船に日本が攻められたらひとたまりもない。日本が植民地にされないためには開国しかない。 日本のために開国は必要だ。周囲になんと言われようが、自分の考えを変える気はない。	鎖国という状況の中、将来の日本のことを考えて開国を唱える意思の強さを捉えさせる。	○黒船を調べた後、磐溪はどんなことを強く考えたのでしょうか。 ○自分の身に危険が迫っていたにもかかわらず、磐溪はなぜ自分の考えを変えようとはしなかったのでしょうか。
幕府が開国をする。それに伴い、戊辰戦争が起こり、藩は磐溪に意見を求める。開国の正しさを唱えるが投獄される。④	今は国内で争うべきではない。開国は正しかったのだ。もし自分が死んでも、考えを受け継いでくれる人がいるだろう。	これからの日本の国づくりのために開国が必要であるという、一貫した強い思いをとらえさせる。	○死を覚悟しながら牢屋で過ごしていたとき、磐溪はどんなことを考えていたのでしょうか。
明治になり外国の文化を取り入れ、豊かな国づくりが進む。⑤	自分の考えは間違っていなかった。みんなに分かってもらえた。これで日本も西洋のように豊かになっていくだろう。	自分の信念を貫き通すことで、周囲の人々を変えられるきっかけになることに気付かせる。	◎「わが国も、やっと西洋と肩を並べることができた。」とつぶやいたとき、磐溪はどんなことを考えていたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 磐溪の生き方を知ることで、自分の生活を振り返り、正しいと思ったことに進んで取り組もうとする意欲をもたせる。【もとめる】

(4) 学習過程

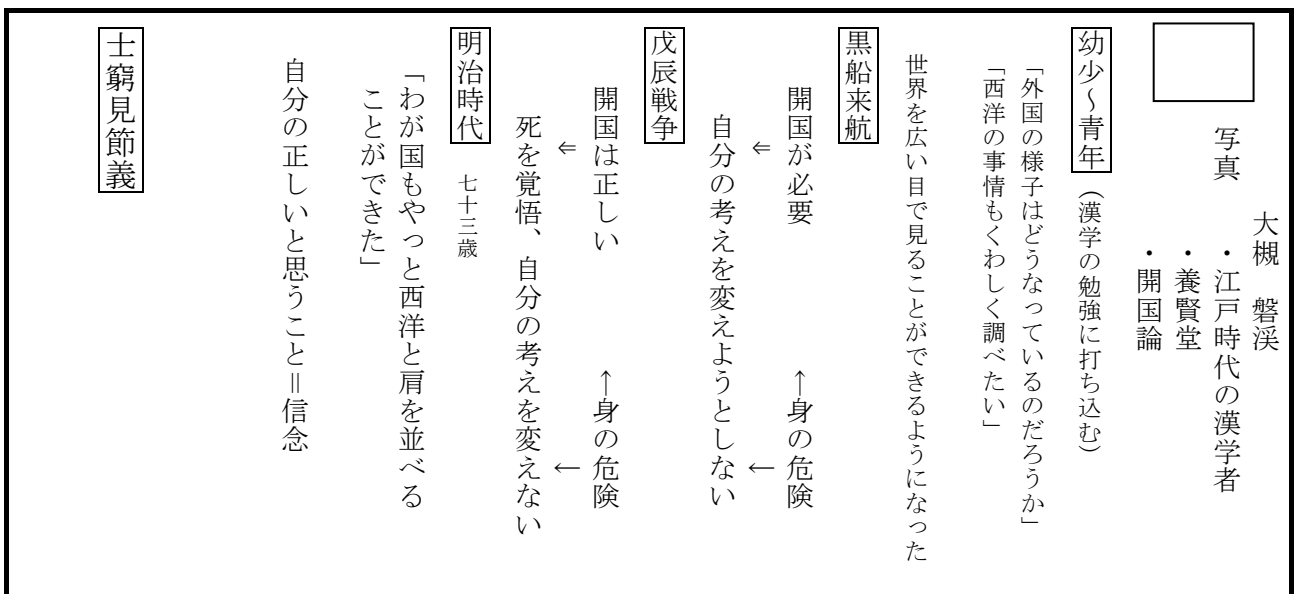
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 7分	<p>1 自分の生活をよくしようとしたり、工夫したりした経験について話し合う。</p> <p>○ 自分の生活をよくできないかと考えたり、工夫したりしたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動を見直し、クラスのためになるような活動内容を考え、実行した。 <p>2 本時の資料「大槻 磐溪」について知る。 ～江戸時代の漢学者、養賢堂の学頭を務めるなど仙台藩に貢献～</p>	<p>◆ 事前のアンケート結果を提示し、自分の生活経験から想起させる。</p> <p>◆ 胸像の写真等を提示し、江戸時代の学問や背景について簡単に説明をしながら進める。</p>
展開 前段 10分	<p>3 資料前半(p. 83 13行目～p. 85 18行目)を読み、磐溪が開国を唱えた経緯と思いについて考える。</p> <p>○ 幼少から青年期にかけて、磐溪は外国に対してどんな思いをもっていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国の様子はどうなっているのだろうか。 ・ 西洋の事情をくわしく調べたい。 ・ 外国のことをもっと知りたい。 <p>○ 黒船を調べた後、磐溪はどんなことを強く考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開国すべきだ。 ・ 戦争にしたくない。 <p>○ 自分の身に危険が迫っていたにもかかわらず、磐溪はなぜ自分の考えを変えようとはしなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒船のような軍艦に攻められたら、大変なことになるから。 ・ 戦争になったら、負けてしまうから。 ・ 日本はもっと外国のことを知るべきだと思ったから。 	<p>◆ 教師が範読し、幼少・青年期から黒船来航までを、心情を中心にまとめる。</p> <p>◆ 磐溪が世界に目を向けるようになった経緯を板書にまとめ、強い思いと行動力に気付かせる。</p> <p>◆ 西洋砲術を学んだことをきっかけに、外国や世界を知り、のちに開国論を唱えたことにつなげる。</p> <p>◆ 仙台藩だけでなく、幕府にも意見し、日本全体のことを考えていることに気付かせる。</p> <p>◆ 当時の背景から、人々の気持ちと磐溪の考え方を対比し、考えさせる。</p> <p>◆ 自分の考えを変えようとしない、磐溪の強い思いを押さえさせる。</p>
展開 後段 18分	<p>4 資料後半 (p. 85 20行目～p. 86 最終行)を読み、開国を唱え続け、実現したときの磐溪の思いを考える。</p> <p>○ 死を覚悟しながら牢屋で過ごしていたとき、磐溪はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい国づくりのためには、外国のことをもっと知るべきだ。 ・ 自分が死んでも、きっと私の考えを受け継いでくれる人がいるに違いない。 ・ 早く牢から出たい。自分の考えをもっと知ってほしい。広めたい。 ・ どうなるだろうとも、自分の考えは間違っていない。 	<p>◆ 「信念を貫き通す」という磐溪の強い思いに気付かせる。</p> <p>◆ 開国は正しかったことや、開国された結果、豊かな国になっていたことを押さえさせる。</p>

	<p>◎ 「わが国も、やっと西洋と肩を並べることができた。」とつぶやいたとき、磐溪はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えは間違っていなかった。みんなに分かってもらえた。 ・ これで日本も西洋のように豊かになっていくだろう。 ・ これまでの努力が報われてよかった。 ・ 長い道のりだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 書く活動を取り入れることで、磐溪の心情に迫り、自分の思いをまとめさせる。 ◆ 「自分の志を貫くこと」は、周囲の人々を変えるきっかけになることに気付かせる。 * 危険な目に遭いながらも、日本のために、自分の信念を貫き通した磐溪に共感することができたか。（発言、ワークシート） ◆ 「信念」という言葉についてまとめる。
<p>終末 10分</p>	<p>5 磐溪の生き方から、自分のこれからを考える。</p> <p>○ 磐溪の生き方から、あなたはどんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを貫き通すのは大変なことだが、正しいと思ったことを進んで取り組むことはとても大事だと思った。 ・ 磐溪はとても意志の強い人だと思った。私も自分の考えに自信をもって貫きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 磐溪の書「士窮見節義」の意味を知らせ、志が記してあることに気付かせる。「士は窮して節義を見わす」【士たるものは逆境にあってこそ人としての正しい道を守り通す】 ◆ 「正しいと思ったことに進んで取り組む」という視点から、児童一人一人の生活を振り返らせ、これからの自分の生き方につなげられるようにする。 * 磐溪の生き方から、自分の生活を振り返り、強い信念をもって生活しようという意欲をもつことができたか。（発言、ワークシート）

(5) 本時の評価

- ・ 自分の正しいと思うことに進んで取り組もうとする意欲をもち、これからの生活をよりよくしていこうとする気持ちをもつことができる。

(6) 板書計画




4 指導上のポイント

- ・ 学習前に資料を読ませたり，朗読DVDを視聴させたりしておく。授業では全文を読むのではなく，場面ごとの筋の流れや発問に関わる部分を読みながら進める。
- ・ 筋の流れをとらえやすくするために，磐溪の行動と当時の歴史的背景などを，場面ごとに区切り簡単な説明を加えながら読み取らせるようにする。p83 の前半は授業の中では読まず，学問を志す一家で幼少から異国の文化に触れていたことや，一族は仙台藩の学問に貢献したことなどについても簡単に触れる。
- ・ 日本の鎖国について触れ，外国や開国に対する当時の考え方や様子について知らせ，開国を唱えることがいかに大変なことだったのかに気付かせる。
- ・ 磐溪の生き方から，信念は自分のためだけではなく，周りの人々のためや生活をよりよくしていこうという思いでもあることに気付かせる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

データダウンロード可能
FREE Download



◎磐溪の生き方を読んで
どんなことを感じましたか。

○「わが国も やつと 西洋と肩を並べることができた」とつぶやいたとき、磐溪は
どんなことを考えていたのでしょうか。

世界を広い目で見るようになるようになった

江戸時代 漢学者

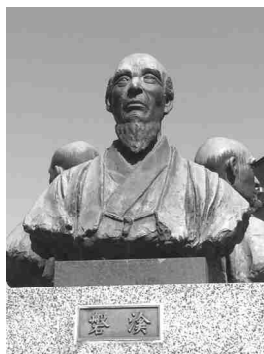
|| 信念

年
組

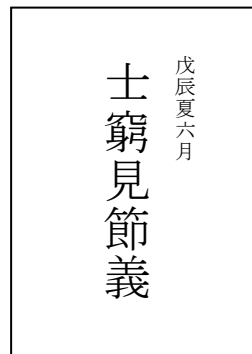
(2) 掲示用資料の例



(大槻三賢人像)



(大槻磐溪像)



(磐溪の書より)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 願いをもって生きる ○1-(2)希望・努力 ・4-(7)愛国心

2 資料 「富田 鐵之助 — 日本の製品を世界へ —」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.87 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

富田 鐵之助の努力を知り、国を愛する心をもとうとするとともに、より高い目標を立て、自らの思いや願いをもって生きる意欲を高める。


(2) 資料分析と活用


筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
漢学、剣道、弓術、馬術などに熱心に取り組み、外国の学問も学んで、視野が世界へと広がった。 29歳のとき、勝海舟の塾生になり、アメリカへ渡ることになった。 ①	一生懸命勉強してこよう。 アメリカのいいところを学んでこよう。 日本のために、頑張ろう。	アメリカに渡ることになった鐵之助の心情を捉えさせる。	○アメリカに渡ることになった鐵之助は、どんなことを考えていたと思いますか。
幕府軍が敗れ、悩んだ末に日本へ帰国したが、勝海舟に帰国したことをしつたされる。 再び、アメリカに戻って、日本の将来のために、寝る間を惜しんで一生懸命勉強した。 ③	自分の考えは、浅はかだった。 もっとアメリカで勉強しよう。 日本の将来のため、頑張ろう。	勝海舟に手をぎゅつとにぎりしめられた鐵之助の心情を捉えさせる。	○勝海舟に手をぎゅつとにぎりしめられた鐵之助は、心の中で、どんなことを考えたと思いますか。
アメリカで外交官になり、日本のお茶や生糸の輸出を推奨する。 また、イギリスなどでも政府の役人として、日本の近代化のために尽くす。 ④	日本のためだ。 世界に認められる日本になってほしい。 自分の願いをかなえたい。	日本の将来を考え、日本の近代化のために尽くす鐵之助の心情を捉えさせる。	◎日本製品の高品質化を受け入れられなくても、鐵之助が、来る日も来る日も政府へ足を運んだのは、どんな思いからだったと思いますか。
帰国後も、鐵之助はおごることなく、いつも自分ができることに、精一杯取り組み続けた。 ⑤	自分ができることに精一杯取り組もう。	自分ができることに精一杯取り組み続けた鐵之助の姿勢についての感想をもたせる。	○帰国後も、いつも自分ができることに精一杯取り組み続けていた鐵之助のことを、どのように思いますか。

(3) 志教育との関連

- ・ 事前のアンケート調査で将来なりたい職業を書かせておき、終末で、実現に向けての抱負をもたせる。【もとめる】
- ・ 主人公の生き方に目を向けさせ、将来なりたい職業の実現に向けて、新たな思いや願いをもたせる。【もとめる】

(4) 学習過程


段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導 入 5 分	<p>1 事前アンケートの結果を知る。</p> <p>○「日本はすばらしい」と思うことのアンケート結果を見ましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なるほど、いろいろなすばらしさがある。 ・ みんなの考えは、こうだったんだ。 	<p>◆ アンケート結果を提示し、多くの「日本のすばらしさ」に気付かせる。</p> <p>* 自分が思っている以上に、日本には多くのすばらしさがあることに気付いたか。 (表情)</p>
展 開 25 分	<p>2 「富田 鐵之助」について知る。</p> <p>○ 今日の資料には「富田 鐵之助」という人が出てきます。この人は、1835年12月5日に現在の仙台市で生まれた人です。生きていれば、180才（H27現在）で、江戸時代から大正時代の人です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な仙台市には、こんな人がいたんだ。 ・ ずいぶん昔の人なんだ。 <p>3 先人集資料「富田鐵之助」を読んで、鐵之助の心情と行動について考える。</p> <p>(1) アメリカに渡るようになった鐵之助の心情を考える。</p> <p>○ アメリカに渡るようになった鐵之助は、どんなことを考えていたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一生懸命勉強してこよう。 ・ アメリカのいいところを学んでこよう。 ・ 日本のために、頑張ろう。 <p>(2) 勝海舟に手をぎゅっとにぎりしめられた鐵之助の心情を考える。</p> <p>○ 勝海舟に手をぎゅっとにぎりしめられた鐵之助は、心の中でどんなことを考えたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えは、浅はかだった。 ・ 日本の将来のため、頑張ろう。 ・ 海舟先生は私以上に、日本のことを思っていたんだ。 	<p>◆ 写真を提示し、人物のイメージをもたせる。</p>  <p>◆ 生年月日を知らせることで、江戸時代に生まれた昔の人物であることを捉えさせる。</p> <p>◆ 仙台市で生まれたことを知らせ、身近な出身地であることを捉えさせる。</p> <p>◆ 教師が範読し、読む前に発問内容の見出しを板書することで、資料に対する理解を深めさせる。</p> <p>◆ 意見が次の発問の反応と重複すると考えられるので、ここではあまり時間を掛け過ぎないように留意する。</p> <p>◆ 児童が勝海舟の日本を思う心情に目を向けても、主である鐵之助の心情からそれないように留意する。</p>

<p>展 開 25 分</p>	<p>(3) 来る日も来る日も政府へ足を運んだ鐵之助の心情を考える。</p> <p>◎ 日本製品の高品質化を受け入れられなくても、鐵之助が、来る日も来る日も政府へ足を運んだのは、どんな思いからだったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後まで、やり抜きたい。 ・ 自分の願いをかなえたい。 ・ 日本のためだ。 ・ 世界に認められる日本になってほしい。 <p>(4) いつも精一杯取り組み続けていた鐵之助について考える。</p> <p>○ 帰国後も、いつも自分ができるところに精一杯取り組み続けていた鐵之助のことを、どのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あきらめないで取り組む姿勢が、すばらしい。 ・ 自分のためだけではなく、日本のために取り組んでいることがすばらしい。 	<p>◆ 数人のグループで話し合う場を設定し、意見の比較や相談によって、話し合いを深めさせる。</p> <p>* 日本の将来を考え、日本の近代化のために尽くす鐵之助の心情を捉えられたか。 (発表・話し合い内容)</p> <p>◆ 書く活動を設定し、十分な時間を与えることで、自分の意見を明確にさせる。</p> <p>* 鐵之助の生き方について、自分の考えをもつことができたか。(記述内容)</p>
<p>終 末 15 分</p>	<p>4 事前アンケートの結果を知り、自身のなりたい職業についての、「理由」と「実現に向けての意志」を考える。</p> <p>(1) 将来なりたい職業の「理由」と「実現に向けて取り組みたいこと」を書く。</p> <p>(2) 友達の書いた内容を知る。</p> <p style="text-align: center;">キンモクセイ</p>  <p style="text-align: center;">花言葉「志の高い人」</p>	<p>◆ アンケート結果を提示し、「友達になりたいと思っている職業」にも関心をもたせる。</p> <p>◆ 鐵之助の生き方に触れ、自身の生き方を深く考えさせる。</p> <p>* 自らの思いや願いをもって生きる新たな決意をもつことができたか。(記述内容)</p> <p>◆ 友達の思いを知ることで、個々の児童の生き方にも生かせるようにする。</p> <p>◆ 机間指導で紹介したい内容を教師が見取り、教師が児童の書いたものを読んで紹介する。</p>

(5) 本時の評価

先人の功績によって、現在の「日本のすばらしさ」があることを知り、日本を愛そうとする態度と、自らの思いや願いに向かって生きる意欲をもつことができる。

(6) 板書計画

<p>将来なりたい職業</p> <p>理由は…</p> <p>実現のために…</p>	<p>鐵之助ことを… すばらしい。</p>	<p>来る日も来る日も…</p>	<p>手をぎゅつと…</p>	<p>アメリカへ… 一生懸命勉強してこよう。 日本のために、頑張ろう。</p>		<p>富田鐵之助</p>
<p>仙台市生まれ (一七九年前) 江戸～大正時代</p>						

4 指導上のポイント

- 資料を、共感的活用部分と批判的活用部分に分け、活用類型に応じた発問をすることで、志教育のねらいに迫るように工夫した。
- 今までの自分を振り返ることをねらいとする展開の後段は設定せず、志教育の「将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育」に重点を置き、これからの自分の生き方を見つめ直す学習過程とした。

5 参考資料

【事前アンケートの例】

道徳アンケート

年 組 名前

1 「日本はすばらしい」と思うことには、どんなことがありますか？

2 「将来なりたい職業」を教えてください。

【ワークシートの例】

道徳ワークシート 富田鐵之助

年 組 名前

「偉業後も、いつも自分ができることに一杯取り組まれている富田鐵之助のことを、どのように思いますか。」

【導入パワーポイントの例】

「日本はすばらしい」と思うこと

6年2組 アンケート結果

「日本はすばらしい」

- 技術
 - 新しい製品
 - 機械などを作る技術
 - すぐれた技術
 - 日本の技術
- 昔から伝わる日本文化
- 日本の文化や建物
- 日本独特の文化
- 文化
- すもう

「日本はすばらしい」

- 自然がいっぱいある
- 四季
- 自然が豊か
- 四季がある
- 山がいっぱい

心から優しい

外国人が困らない英語の表記

優しく話しかける

- 助け合う
- 協力し合える
- 優しくマナーを守る
- 災害時に協力する

「日本はすばらしい」

- 日本はきれい
- 町や道路がきれい
- ゴミが少ない
- ゴミがない

- 便利なのがたくさんある
- 食べ物がいっぱいある
- 食べ物がおいしい
- なんでもある
- 学校で勉強ができる
- 苦勞しないで学校へ行ける

- スポーツや運動
- オリンピックでいっぱいメダル
- 元気に見える
- 自然、笑い、涙…

データダウンロード可能
FREE Download

【終末パワーポイントの例】

「将来なりたい職業」

6年2組 アンケート結果

- 薬剤師
- 保育士
- ゲームクリエイター
- サッカー選手
- 建築家
- 薬剤師
- ボランティアの職業
- プロ野球選手
- 会社員
- パン屋
- 映像クリエイター
- サッカー選手
- 保育士
- 作家
- 自動車整備士
- 幼稚園の先生
- 薬剤師
- 医師
- 野球選手
- テレビ関係
- 料理人
- 大工
- バスケット選手
- スタイリスト

「将来なりたい職業」

理由は…

実現のために…

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 ふるさとを愛する心 ○4-(7)郷土愛・愛国心 ・1-(2)希望・勇気・努力
 ・1-(5)真理・創意進取

2 資料 「一力 健治郎 ― 東北の発展を願って ―」
 (出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.91 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

河北新報社を設立し、様々な困難を乗り越えながら、東北の発展のために尽くした「一力健治郎」の業績のすばらしさについて考え、郷土を愛し、郷土の発展を願う心情を高める。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
8歳の時に茶商一力家の跡継ぎになるため養子となった。 ①	東北地方が「白河以北一山百文」と言われているのが悔しくて、何とか見返してやりたい。	東北地方が価値のない所として軽蔑されていることを見返してやりたいと思っている健治郎の心情を考えさせる。	○幼い頃の健治郎は「白河以北一山百文」という言葉についてどう思っていたのでしょうか。
東華学校、第二高等学校、東京の国民英学会へと入学し、熱心に勉強した。 「文学館」という書店を開いた後、市議会議員や県議会議員となり、政治家となった。 ②	今の世の中に何が必要なのか、自分に何ができるかを考え、学校に行き勉強したい。 仙台の人々が外国の本を簡単に手に入れ、新しい文化を学ぶことができるようになってほしい。 東北を発展させるためには、政治に関わることが必要だ。		
健治郎は、「東北日報」の経営を立て直すことを引き受け、それまでの仕事を全部辞め、「河北新報」という新聞づくりに懸けることにした。 ③	新聞なら広く情報をみんなに伝えることができる。だが、人々は新聞を読んでもくれるだろうか。 今までにない東北のための新聞を作ろう。 「白河以北一山百文」という東北を軽く見る見方を、新聞づくりを通して変えていきたい。	幼い頃の思いを実現し、東北の良さや優れているところをほかの地方の人に知ってもらおうとしている健治郎の心情を想像させ、郷土を思う気持ちが健治郎を新聞作りに向かわせたことを捉えさせる。	◎健治郎はどんな考えで、経営の厳しい新聞社を引き受けることにしたのでしょうか。
新聞をよりよくするため、様々な工夫を行った。 ④	「河北新報」は誰でも読める新聞にしたい。できるだけ多くの人に読んでもらいたい。	多くの人に「河北新報」が読まれ、東北の良さや優れているところが理解されるよう尽力したことを捉えさせ、様々な努力の中に、健治郎の郷土を思う強い気持ちがあることを押さえる。	○健治郎は「河北新報」が多くのの人に読まれるようになるために、どんなことを考えたのでしょうか。
社説に「農奴解放」を取り上げたことで、新聞の販売を一時禁止された。 河北新報は多くの人々に読まれるようになり、東北地方は文化や産業も大きく発展していった。 ⑤	働いて稼いだ金の大部分が地主のものになってしまう国の制度を変えたい。自由公正な新聞を作り、東北地方の発展に尽くしたい。		

(3) 志教育との関連

- ・ 一力健治郎の心情を共感的に捉えさせ、自分自身が東北の発展に対してどのような夢や願いをもっているのかを考えさせる。【もとめる】

(4) 学習過程

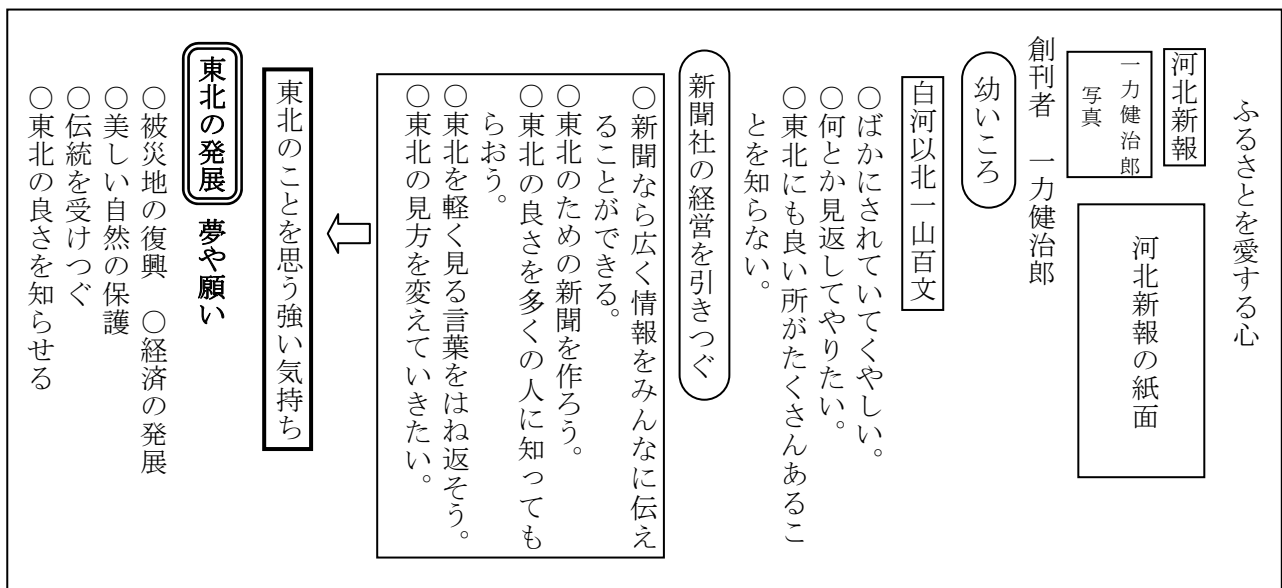
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 5分	<p>1 「河北新報」が自分たちの生活において果たしている役割について考える。</p> <p>○ 「河北新報」は、私たちの生活の中でどんな役割を果たしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東北で起きた出来事を知らせている。 ・ みんなに知ってもらいたいことを記事にして知らせている。 ・ 東北の人々の活躍や功績を知らせている。 	<p>◆ 「河北新報」で扱っている内容が、自分たちの生活でどのように利用されているかを話し合わせることで、「河北新報」が東北の発展に寄与していることへとつなげるようにする。</p> <p>◆ 創刊当時の「河北新報」や一力健治郎の写真を見せ、創刊者に対して関心をもたせるようにする。</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料「一力 健治郎－東北の発展を願って－」を読んで、話し合う。</p> <p>○ 幼い頃の健治郎は「白河以北一山百文」という言葉についてどう思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東北地方が馬鹿にされていて悔しい。 ・ 何とか見返してやりたい。 ・ 東北にも良い所がたくさんあることを知らないのだ。 <p>◎ 健治郎はどんな考えで、経営の厳しい新聞社を引き受けることにしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞なら広く情報をみんなに伝えることができる。 ・ 東北のための新聞を作ろう。 ・ 東北の良さを多くの人に知ってもらおう。 ・ 東北を軽く見る言葉を跳ね返そう。 ・ 東北の見方を変えていきたい。 <p>○ 健治郎は「河北新報」が多くの人に読まれるようになるために、どんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞の値段を下げ、たくさんの人に読んでもらいたい。 ・ 新聞のページを増やして、新しい記事を載せ、東北の人にいろいろなことを知ってほしい。 ・ 年中無休宣言をして、一日も休まず新聞を出し続け、毎日の出来事を知らせたい。 ・ 新聞配達員の手助けをして、毎日新聞を配達できるようにしたい。 	<p>◆ 「白河以北一山百文」という言葉の意味から、当時、東北地方が価値のない所として軽蔑されていたことを捉えさせた上で、健治郎の心情を考えさせるようにする。</p> <p>◆ 東北にも良い所があり、実際と違う見方をされていることも押さえ、健治郎の郷土を思う心情も想像させるようにする。</p> <p>◆ 幼い頃の思いを実現しようと考えている健治郎の心情を考えさせるようにする。</p> <p>◆ 東北の良さや優れているところをほかの地方の人に知ってもらおうとしている健治郎の心情も想像させ、郷土を思う気持ちが健治郎を新聞作りに向かわせたことを捉えさせたい。</p> <p>* 新聞社を引き受けることにした健治郎の思いに共感することができたか。 (発言、観察)</p> <p>◆ 健治郎がしたことを取り上げながら、多くの人に「河北新報」が読まれ、東北の良さや優れているところが理解されるよう尽力したことを捉えさせる。</p> <p>◆ 様々な努力の中に、健治郎の郷土を思う強い気持ちがあることを、話し合いの中で押さえるようにする。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧しい東北の農民のために「農奴解放」の問題を取り上げ、農民を助けたい。 	
<p>展開後段</p> <p>10分</p>	<p>3 東北の発展について、自分の夢や願いについて話し合う。</p> <p>○ 自分たちの住んでいる東北が発展するために、どんなことができるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災地にもっと家や商店などをつくり、復興が進むようにする。 ・ みんなの働く場所ができるように、いろいろな企業の工場に来てもらう。 ・ ホームページなどを作って、東北の良さをほかの地方の人にも知ってもらえるようにする。 ・ 山や川、海を汚さないようにし、東北の美しい自然をこれからも残していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 東北地方が東日本大震災の被害から復興している途上であることを基にして、東北の発展を身近な願いとして考えさせるようにする。 ◆ 経済だけでなく、自然保護や文化の継承などの面についても考えられるように、観点を与えるようにする。 <p>* 東北の発展について自分の夢や願いをもつことができたか。 (ワークシート、発言、観察)</p>
<p>終末</p> <p>5分</p>	<p>4 宮城県の自然や文化、産業の様子をスライドで見ながら、郷土の良さに浸らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県にもきれいな場所が多い。 ・ 昔から伝わってるものも多い。 ・ いろいろなものを作っている人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 宮城県の自然や文化、産業の様子をスライドで提示することにより、話し合った夢や願いが実現することへの思いがもてるようにする。

(5) 本時の評価

- ・ 東北の発展のために尽くした一力健治郎の心情に触れ、自分たちの郷土を愛し、その発展を願う気持ちや夢をもつことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 事前に資料を読ませたり、朗読DVDを視聴させたりするなどして、資料の内容を十分理解させた上で児童に話し合わせるようにする。
- ・ 展開前段では健治郎が「河北新報」を創刊したことを中心に、東北の見方を変えたい、東北の良さや優れたところを知ってほしいという思いに共感させる。
- ・ 展開後段では、健治郎の東北の発展への思いに共感させることで、本時のねらいに迫るようにしたい。

5 参考資料


(1) ワークシートの例

データダウンロード可能
FREE Download

ふるさとを愛する心

氏名

○ 自分たちの住んでいる東北が発展するために、どんなことができるでしょうか。



(2) 掲示用資料の例

データダウンロード可能
FREE Download



「一力健治郎」写真



新聞少年の像（仙台市青葉区 河北新報社前）

「河北新報」創刊号
「河北新報社」ホームページより
(<http://www.kahoku.co.jp/library/>)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 より高い目標に向かって ○1-(5)真理・創意進取 ・1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「酒井 げん — 女性の美しさを求めて —」
 (出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.95 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

先人の業績から、自分の思いを貫き通すことの大切さに気付かせることで、自分の特徴を知り、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼いころのげん。	髪結いになって、たくさんの人の髪をきれいに結ってあげたい。 髪結いになる夢をあきらめきれず、許しを得るため何度も何度も両親に頼んだ。		
① 髪結いの修業に出る。	夢だった髪結いになるための修行ができてとてもうれしい。 修行を許してくれた両親のためにもがんばろう。 家事と修行の生活を、少しもつらいと思わない。	つらさを感じないほど、げんが、熱心に髪結いの修行に打ち込んでいた気持ちを捉えさせる。	○女性が仕事に就くことが許されない時代に、げんが修行に出ることが許されたのはどうしてだろう。 ○つらいはずの髪結いの修行をしている間、げんはどんなことを考えていたでしょう。
③④ 髪結いとして一本立ちする。	思う存分、好きな髪結いの仕事をしよう。 簡単で便利な髪型を研究して、髪結い仲間に広めたい。 伝統を守りつつ、工夫した新しい日本髪を結おう。 お客さん一人一人に合った日本髪を結いたい。	自分の信念を貫き、念願の髪結いになれたげんの喜びを捉えさせる。 研究を怠らず、理想の髪型を追求しようとするげんの意欲に気付かせる。	
⑤ 『髪のしおり春笑草』を作る。	光線の加減も髪型の写りにも妥協したくない。 納得のいく冊子ができた。 弟子やお客さんにも『髪のしおり春笑草』を使ってもらいたい。 髪型がよければ、どんな衣装を着ても見栄えがする。髪型が一番である。	完成した冊子は、げんが、目標に向かって妥協することなく努力や工夫をしてきたあかしであることを捉えさせる。	◎『髪のしおり春笑草』を開き、写真を見つめてうなずいたげんは、どんなことを考えたでしょう。

(3) 志教育との関連

- ・ 「志シート」の記述内容を集計して導入部分に用い、将来の自分の職業について具体的に想起させ、学習への関心をもたせる。【もとめる】
- ・ 自分の目指す職業に就くために、げんの生き方で参考になる点はどんなところか考えさせることで、現在の自分について振り返るとともに、よりよい自分を目指す気持ちをもたせる。【もとめる】

(4) 学習過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 自分の将来の夢について考える。</p> <p>○ 学級みんなが考えている、将来したい仕事やなりたい人について、見てみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と同じことを考えている友達がいるんだな。 ・ いろいろな夢をもった友達がいるんだね。 	<p>◆ 年度初めに書いた志シートの「したい仕事・なりたい人」の結果を集計し、児童に示す。自分たちの結果であることを知らせ、職業についての関心をもたせる。</p>
展開 前段 20分	<p>2 本時の資料「酒井げん」の範読を聞く。</p> <p>3 資料「酒井げん」について話し合う。</p> <p>○ 「酒井げん」さんは、どんな人物でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両親に反対されても髪結いになった人。 ・ 髪結いの仕事をしていた。 ・ 『髪のおり春笑草』を作った。 ・ 自分でいろいろな髪型を考えた。 ・ 石巻や仙台で店を開いた。 <p>○ 女性が仕事に就くことが許されない時代だったにも関わらず、げんが修行に出ることが許されたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ げんの髪結いになりたいという強い気持ちが両親に伝わったから。 <p>○ つらいはずの髪結いの修行をしている間、げんはどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やっと許された修行だから、絶対にやり遂げたいと思っているから。 ・ どうしても髪結いになりたいと思っているから。 ・ 大変なのは覚悟の上だったから。 <p>◎ 『髪のおり春笑草』を開き、写真を見つめてうなずいたげんは、どんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何度も撮り直したが、納得のいく作品になってうれしい。 ・ これまで身に付けてきた技術や工夫した髪型を残せたことがうれしい。 ・ たくさんの人の髪を美しくすることができた。 	<p>◆ 明治～昭和にかけて髪結いとして活躍した「酒井げん」がどんな人物だったか確認する。</p> <p>◆ 本時の資料の内容を理解させ、げんへの共感を高めるために、児童から出た発言をキーワードとして掲示しながら資料の整理をする。</p> <p>◆ 当時の女性の日本髪や、日本髪を結っているところなどの写真を提示し、髪結いとはどんな職業なのか捉えさせる。</p> <p>◆ げんにとって「髪結い」になりたいという気持ちがどれほど強いものだったのか考えさせたい。</p> <p>◆ 自分の信念を貫いて念願の髪結いとなったことに対する喜びと、仕事に対する意気込みを捉えさせる。</p> <p>◆ 当時、写真は貴重なものであったことを補足説明する。それを何度も撮り直した行動から、げんの美しい日本髪に対する思いの深さについて考えさせたい。また、妥協することのない向上心や研究熱心さについても考えさせたい。</p>
	<p>4 自分自身を振り返る。</p> <p>○ げんの生き方から、自分の目標やしたい仕事について参考になったところ、こうなりたいたい、こういうふうにしてみたいと思ったこと</p>	<p>◆ 自分にとって参考となった点、自分もやってみたいと思ったなどを書かせることで、自分自身は今どのような状況にあるか</p>

<p>展開後段</p> <p>20分</p>	<p>を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢をかなえたげんさんは、すごい。つらいこともあきらめずに乗り越えられるようになりたい。 ・ 一人一人に似合う髪型を考えていたことがすごいと思った。工夫しようとする気持ちが自分にも必要かもしれない。 ・ 自分も、一生懸命になれる好きな仕事を見付けたいと思った。 <p>○ 自分が考えたことをグループで紹介し合いましょう。</p>	<p>振り返らせる。また、それらのことから、自分の目標や目指す姿を意識させ、夢や理想の実現のために頑張ろうという意欲をもたせたい。</p> <p>◆ グループ内で考えたことを紹介し合うことで、自分の考えたことや感じたことを明確にさせる。その後、全体場で意見を発表することも考えられる。</p> <p>* 夢や理想の実現のために努力や工夫を重ねることの大切さに気付き、自分も目標に向かって努力しようという気持ちをもつことができたか。（発言、記述、観察）</p>
<p>終末5分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ 自分の目標をもち、向上しようとする気持ちや実際に行動する勇気の大切さについて伝えたい。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 夢や理想の実現に向けて、自分の思いを貫き通すことの大切さに気付くとともに、自分の個性を伸ばしてよりよい生き方を目指していこうとする気持ちをもつことができる。

(6) 板書計画

やりたい仕事や
なりたいもの

(学級の集計結果)

● 参考になったこと

- ・ 夢をあきらめない
- ・ 自分なりに工夫
- ・ 納得できるまでやる
- ・ 伝統も大切にする

● これから伸ばしたい

- ・ 根気強くなりたい
- ・ 挑戦する気持ち

『髪のしおり春笑草』

- 納得のいく作品になってうれしい
- 身に付けた技術や髪型を見せられる
- たくさんの人を美しくできた

←

二十五歳 仙台で開業

十七歳 独立・仙台で開業

石巻で開業


仙台で開業

工夫した日本髪

伝統を守りつつ

新しい髪型・流行の髪型

時代 結婚し家のことをするのが当たり前
十五歳 髪結いになりたい ↑ 何度も両親に頼む
修行に出る



酒井 げん 女性の美しさを求めて

・ 髪結い師
↓ヘアスタイリスト

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 目標に向かって ○1-(2)希望, 勇気, 不とう不屈 ・1-(2)勤労, 社会奉仕

2 資料 「志賀 潔 — 赤痢菌を発見する —」
(出典: みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p. 99 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「赤痢菌を発見したい」という強い思いをもって努力し続けた「志賀 潔」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念をもってくじけずに努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
<p>医者になることを期待されていたが自分の将来について悩む。</p> <p style="text-align: center;">①</p>	<p>人付き合いが苦手で、医者にはなれないのではないかと悩む。</p> <p>顕微鏡を使って調べることに興味をもつようになった。</p> <p>分からないことを我慢強くこつこつと調べるようになった。</p>		
<p>細菌学と出会い、伝染病の予防や治療法を研究するため、「伝染病研究所」に入る。</p> <p style="text-align: center;">②</p>	<p>自分の得意なことを生かして仕事ができる。</p> <p>研究の結果で人の命を救える。</p> <p>自分の努力で多くの人に幸福を与えられる。</p>	<p>得意なことを生かし、しかも人の命を救うことができる仕事と出合った喜びをつかませる。</p>	<p>○志賀は、どんな思いから細菌学者になろうと決心したのでしょうか。</p>
<p>細菌学で有名な北里柴三郎から、厳しい指導を受ける。</p> <p style="text-align: center;">③</p>	<p>北里先生の厳しさは「研究の真剣さ」ととらえた。</p> <p>厳しくされることで自分の志す道へ近づいたと実感できた。</p>		
<p>赤痢の流行の兆しが現れ、研究室に泊まりこんで必死で研究することになったが、なかなか進まない。</p> <p style="text-align: center;">④</p>	<p>下宿を引き払い、研究室に泊まりこんで赤痢菌を見付けるために必死で研究した。</p> <p>研究がなかなか進まないが、任されたからには絶対に見付けたい。</p> <p>何度繰り返しても思ったような結果が出ない。</p>	<p>壁にぶつかっても研究をし続けたその原動力はどこからきているのか、志賀の力の源を考えさせる。</p>	<p>◎志賀は迷路の中を進むような作業をどのような思いで続けたのでしょうか。</p>
<p>新たな方法を試し、とうとう赤痢菌を発見する。</p> <p style="text-align: center;">⑤</p>	<p>腸チフスの診断の方法を逆にしたらどうだろうと考え、新たな方法を試した。</p> <p>とうとう赤痢菌を発見することができたとき、喜びにあふれた顔で北里先生を見た。</p>	<p>北里先生の支えや、決してあきらめず、粘り強く研究を続けた結果、手に入れることができた成功であることを考えさせる。</p>	<p>○とうとう赤痢菌を発見したとき、志賀はどんなことを考えながら、北里先生を見たのでしょうか。</p>

(3) 志教育との関連

- ・ 失敗を繰り返しても、あきらめずに粘り強く続ける気持ちを捉えさせることにより、目標を達成するために努力しようとする意欲を高める。【もとめる】
- ・ 得意分野を生かし、力を発揮する喜びに共感させることにより、自分の得意なことを生かそうという思いを深める。【もとめる】
- ・ 人のために役に立ちたいという強い願いについて考えさせることにより、自分に任された仕事に責任をもとうとする気持ちを高める。【もとめる】【はたす】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 10分	<p>1 目標に向かって頑張った経験について振り返る。</p> <p>○ 今までに、あきらめないで頑張ってきたと思った経験はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一輪車乗りで、友達ができるようになったのに、何度やってもできないので、途中でやめたいと思った。でも、もう少しだけやってみようと思った。ある日乗れた。 <p>2 資料から、「志賀潔」のおおまかな人物像を確認する。</p>	<p>◆ 努力を続けてよかったと思う経験を想起させ、価値への方向付けをする。</p> <p>◆ 事前にアンケートをとっておき、意図的に指名する。</p> <p>◆ 資料と宿題ワークを前日に配付しておき、家庭学習の課題として、志賀潔のページを読み取らせておく。</p> <p>◆ ポイントとなる言葉を書いた板書カードを貼りながら、人物像の確認とこれからの学習の方向付けをする。</p>
展開前段 20分	<p>3 壁にぶつかりながらも、赤痢菌を発見した志賀の気持ちについて考える。</p> <p>○ 志賀は、どんな思いから細菌学者になろうと決心したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の得意なことを生かして仕事ができる。 ・ 研究の結果で人の命を救える。 ・ 自分の努力で多くの人に幸福を与えられる。 <p>◎ 志賀は迷路の中を進むような作業をどのような思いで続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私の努力で多くの人を救いたい。 ・ 人々に幸福を与えたい。 ・ 途中であきらめたくない。 ・ 任されたからには成功させたい。 ・ 北里先生の期待に応えたい。 ・ 自分には赤痢菌を発見するという役割がある。 ・ 赤痢菌を発見するという目標をどうしても達成させたい。 ・ 失敗を繰り返して、いつか必ず発見できるはずだ。 <p>○ とうとう赤痢菌を発見したとき、志賀はどんなことを考えながら、北里先生を見たのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やっと実験がうまく行ってよかった。 ・ あきらめずに取り組んできてよかった。 ・ これで多くの人役に立つことができる。 ・ 北里先生が厳しく教えてくださったおかげだ。 ・ 北里先生の支えに感謝したい。 	<p>◆ 児童が考えを膨らませられるように「未来への架け橋」p.100 12行目～14行目までを教師が範読する。</p> <p>◆ 自分の考えをワークシートに書き込ませ、力の源となった志賀の思いをじっくり考えさせる。机間指導をしながら、資料中の言葉以外の言葉を使っている児童を賞賛し、自分の言葉で書くようにさせる。「途中で」「成功」「どうしても」「いつか必ず」「はずだ」など</p> <p>◆ 机間指導で内容をチェックし、意図的に指名する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の命を救いたい。(社会奉仕) ・ あきらめたくない。(不とう不屈) ・ 任された役割(勤労・責任) ・ 発見できるはず。(希望) ・ 好きなことだから続けたい。(自己実現) <p>* 赤痢菌の発見という目標に向かって努力を続けた志賀潔の気持ちを考えることができたか。(ワークシート、発言、観察)</p> <p>◆ 発見できた喜びだけでなく、研究者として育て、使命を与え、一緒に研究に取り組んでくれた北里先生への感謝の気持ちがあることを押さえさせたい。</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>4 志賀の生き方から学んだことをもとに、これからの自分について考える。</p> <p>○ 目標に向かうこれからの自分にメッセージを贈ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の家庭学習を頑張っているよね。テレビを見たくて早く終わらせたいと思うこともあるけれど、中学校に行くと部活と勉強を両立できるように今のうちから勉強の習慣を身に付けていこう。 ・ スポーツ少年団で友達がみんな上手なので私がレギュラーになるのは難しいと思うけれど、あきらめなくて練習を続ければきっとレギュラーになれるよ。頑張る。 	<p>◆ 今の自分とこれからの自分について見つめ直し、目標に向かう自分をイメージしてワークシートにまとめさせる。</p> <p>※ 目標に向かうこれからの自分について考えることができたか。 (ワークシート、発言、観察)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ 壁にぶつかったが、家族の支えもあり頑張る力が湧いてきて、乗り越えることができた経験などを話す。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 赤痢菌の発見を成し遂げた「志賀 潔」の生き方から、信念をもってくじけずに努力することの大切さについて考えることができる。

(6) 板書計画

目標に向かうこれからの自分にメッセージを贈ろう。

◎ 志賀は迷路の中を進むような作業をどのような思いで続けたのだろうか。

- ・ 世の中の人のため
- ・ 途中であきらめたくない
- ・ 任された役割
- ・ 発見できるはず・きつとうまくいく
- ・ 好きだから続けたい・幸福を与えたい

○ とうとう赤痢菌を発見したとき、志賀はどんなことを考えながら、北里先生を見たのだろうか。

- ・ やつとうまくいった。
- ・ 人々の役に立てる。
- ・ 北里先生の厳しい教えのおかげ
- ・ ありがとう

目標に向かつて

志賀 潔 — 赤痢菌の発見 —

人付き合いが苦手


顕微鏡に興味

伝染病研究所

北里先生

赤痢菌を見つけたために必死で研究

迷路を進むような作業



4 指導上のポイント

- ・ 資料が長文であるため、事前に目を通させたり朗読DVDを視聴させたりした上で、宿題ワークを使って読み取らせておく。また本時では、内容を捉えやすいように、宿題ワークの答え合わせをしながら資料の前半の文章を押さえ、後半の文章のポイントとなる言葉は、事前に板書カードに書いておき、貼り出しながら人物像を確認する。
- ・ 中心発問の場面では、児童が考えやすいように、資料の一部を指導者が読んでから、ワークシートに書くようにさせる。また、壁にぶつかっても研究を続けたその原動力となった志賀の思いについてじっくりと考えさせるようにする。机間指導で内容をチェックし、主題の価値項目に迫るような意図的指名を心掛ける。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

データダウンロード可能
FREE Download

①志賀潔についてまとめよう

☆出身地は [] である。

☆ [] を発見した人である。

☆細菌学で人類の福祉に貢献し、 [] に選ばれた。

②赤痢菌についてまとめよう

☆赤痢という病気の [] である。

☆便に [] が混じり、 [] が出る。

☆正体不明で治療の方法が [] 。

☆世界中で多くの人が [] を失う病気である。

③資料百ページの始めの「細菌学は…」文章をまとめよう。

☆細菌学は [] なことを生かして仕事ができる。

☆多くの人の [] を救える。

☆ [] をあたえることになるぞ。

志賀 潔

「赤痢（せきり）菌の発見」

名前

データダウンロード可能
FREE Download

◎ 潔は、迷路の中を進むような作業をどのような思いで続けたのだろうか。

☆ 目標に向かうこれからの自分にメッセージを贈ろう。

志賀 潔

「赤痢（せきり）菌の発見」

名前

(2) 掲示用資料の例



志賀 潔



北里研究所時代の志賀 潔

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 やりとげる強い意志 ○1-(2)希望・勇気・努力 ・1-(5)真理・創意進取

2 資料 「本多 光太郎 ― 新しい金属をつくる ―」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」p.103 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「本多 光太郎」の生き方について考えることを通して、目標をもつことの大切さを理解し、くじげずに希望と勇気をもって努力しようとする意欲を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
明治3年、愛知県に生まれる。			
小学生の頃は、勉強より川で水遊びをして魚を取ることに夢中になる。	学校に行くことより、魚取りをしていた方が楽しい。		
兄と寺田先生の言葉が、光太郎の一生を大きく変える。	志をもつことが大切だ。 苦手なことでも他人よりたくさん の努力をすればできるようになる んだ。 東京で勉強したい。	兄や寺田先生の言葉が、光太郎の生 き方に指針を与えたこ とに気付かせる。	○兄や寺田先生の言葉 を聞いた光太郎は、ど んなことを考えたでし ょうか。
17歳の春、上京し、24歳の時、帝国大学物理学科に入学する。	人の何倍も努力しよう。		
雨の日も晴れの日も一日も休むことなく、夜中まで実験を続けた。「実験の鬼」と呼ばれるようになる。	手抜きをするような実験はしたくない。 どんなに時間がかかっても、納得できる実験をしたい。		
帝国大学卒業後、3年間ドイツに留学。41歳で東北帝国大学理科大学の教授に就任する。	緑豊かで空気が澄んでいる美しい仙台を第二の故郷にし、研究に打ち込もう。		
大正5年、第1次世界大戦の最中、飛行機の部品に必要な強力な磁石鋼の制作を軍から依頼され、炉の温度を1500度まで上げ、消防服を着て水をかけながら毎日実験に取り組んだ。	こんなことで負けたくない。 だれも作っていない強力な磁石を自分の手で作ってみたい。 誰にも負けない体力がある。きっとやり遂げてみせる。 支えてくれるみんなのために頑張る。	消防服を着なければならぬほどの暑さでもへこたれずに取り組んだ光太郎の意志の強さを共感的に捉えさせる。	○光太郎はどんな思いで、消防服を着て水をかけながらも、毎日実験に取り組んだのでしょうか。
世界最優秀の磁石鋼が誕生する。資金提供者のイニシャルからKS鋼と名付ける。	あきらめずに取り組んできてよかった。 勉強嫌いな自分だったが、強い志をもってやり遂げることができた。 応援してくれたみんなに感謝したい。	光太郎の信念の強さ、根気強さが困難を乗り越える力となり、夢を実現させたことに気付かせる。	◎KS鋼ができた瞬間、光太郎はどんなことを考えたのでしょうか。
実験や研究を重ね、「世界の本多光太郎」として有名になる。	自分の知識や考えを多くの人に伝えていきたい。		

(3) 志教育との関連

- ・ 本多光太郎の功績を讃えるだけでなく、どんなに困難なことがあっても、あきらめずに努力し続けることが、夢の実現に必要なことを捉えさせる。【もとめる】
- ・ 本多光太郎の生き方について学んだことを自分の生活にどう役立てていくか、自分自身との関わりから考えさせる活動を通して、これからの生活に希望をもてるようにする。【もとめる】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 3分	<p>1 本多光太郎の業績や生い立ちについて確認する。</p> <p>○ 子どもの頃は「鼻垂らしの光さん」だった光太郎が、「世界の本多光太郎」に変わっていったのか、そのわけを考えましょう。</p> <p>本多光太郎は、K S鋼という世界最強の磁石を発明した人物である。 K S鋼の発明は、現在の冷蔵庫などの家電製品から、飛行機などの進歩にもつなげた素晴らしいものであった。光太郎は、「世界の本多光太郎」として有名になり、鉄における世界で最も優秀な学者として世界から認められた。天才として知られる二十世紀の物理学者アインシュタインも来仙し、光太郎のもとを訪れた程である。 しかし、小学生の頃は、「鼻たらしの光さん」と呼ばれるほどいつも青鼻をたらし、怒られてばかりいる少年だった。 勉強嫌いではあったが、片道12kmを通学したり、明治用水の大工事の一端を担い重いもっこを担ぐ仕事を3年間続けたりと、忍耐強さはもっていた。 東北大学で研究し、長く仙台で暮らした。</p>	<p>◆ 光太郎の一生を簡単に振り返ることで、資料への意識付けを図る。</p> <p>◆ 光太郎の業績が、理化学の進歩の礎となっていることを確認し、現代の自分たちの生活を支えていることを説明する。</p> <p>◆ アインシュタインが来仙した時の写真と、「世界の本多光太郎」の短冊を提示しながら説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アインシュタインは、1922年に訪日し、1か月余りの講演旅行をした。仙台市内でも講演し、その後東北大学金属材料研究所を訪問した。(東北大学広報誌「学びの杜」より)</p> </div> <p>少年時代のエピソードは、「本多光太郎伝(1964年 石川悌次郎著 本多光太郎記念館所蔵)より</p>
展開前段 30分	<p>2 資料を読み、困難に負けず努力を続ける主人公「光太郎」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>○ 兄や寺田先生の言葉を聞いた光太郎はどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志をもって進んでいきたい。 ・ 勉強が嫌いな自分でも、努力すれば何かできるかもしれない。 ・ 一生懸命努力すれば、苦手なことでもできるかもしれない。 <p>○ 光太郎はどんな思いで、消防服を着て水をかけながらも、毎日実験に取り組んだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんなことで負けたくない。 ・ 誰も作っていない強力な磁石を、自分の手で作ってみたい。 ・ 自分には、誰にも負けない体力がある。兄や寺田先生の言葉を思い出して、きっとやり遂げてみせる。 ・ 支えてくれているみんなのために頑張る。 <p>◎ K S鋼ができた瞬間、光太郎はどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あきらめずに取り組んでよかった。 ・ 勉強が嫌いな自分だったが、強い志をもってやり遂げることができた。 ・ 応援してくれたみんなに感謝したい。 	<p>◆ 資料の内容を確認させるため、教師が範読する。</p> <p>◆ 兄や寺田先生の言葉から、苦手な勉強に真剣に取り組もうと決意した光太郎の気持ちをつかませる。</p> <p>◆ 兄や寺田先生の言葉を短冊にして黒板に提示し、資料を理解させる。</p> <p>◆ 光太郎たちの実験がいかに過酷な状況であったか理解させるために、「千五百度」という数値は、鉄が溶ける温度であり、夏の季節に感じる暑さと比べものにならないことを確認する。</p> <p>◆ 兄や寺田先生、そして、故郷の家族の支えがあったことにも気付かせる。</p> <p>◆ 一日も休むことなく夜中まで実験を続けたこと、決して手抜きや近道をしなかったこと、「実験の鬼」と呼ばれるようになったことを確認し、光太郎の信念の強さや根気強さが困難を乗り越えさせ、夢を実現させたことに気付かせる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> もっと強い磁石をつくりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 光太郎の信念の強さ、根気強さに共感したり、感動したりしているか。(ワークシート、発言)
展開後段 10分	<p>3 自分の生活を振り返り、これからの生活に希望をもつ。</p> <p>○ 本多光太郎の生き方を学んで、これからの自分に役立てていきたいと思ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで勉強は嫌だったけれど、努力すれば自分も何かできる。勉強をがんばろう。 自分の夢は、○○○だ。難しいかもしれないけれど、努力すれば叶うかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分自身との関わりから考えさせ、実践への意欲化を図る。 ◆ 机間指導をしながら、参考になる児童の考えを教師が取り上げて広めることで、全体の共有化を図る。 * 目標をもち、努力していこうという気持ちをもつことができたか。(ワークシート)
終末 2分	<p>4 光太郎が大切にしていた言葉を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>光太郎は、「今が大切」という言葉を好んで色紙に書いていた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在の研究者たちも、本多光太郎の言葉を座右の銘にしていることを知らせる。 ◆ 若き研究者たちに、「学力（その人の現在の能力）も大事だが、努力の方がもっと大事だ。」と言っていたことを知らせる。そして、勉強の苦手な「鼻たらしの光さん」が、「世界の本多光太郎」となって、私たちの生活を豊かにしたことを確認し、努力の大切さを心に刻ませる。

(5) 本時の評価

- 目標を掲げ、くじけずに努力した「本多光太郎」の生き方に触れ、目標をもつことの大切さに気付く、希望と勇気をもって自分の将来を切り開いていこうと考えている。

(6) 板書計画

写真②
アインシュタインとの撮影

今が大切

やりとげる強い意志

↑
世界的本多光太郎

↓
K S 鋼の発明

○ K S 鋼ができた瞬間

- 努力してよかった。
- 支えてくれたみんなのおかげだ。

○ 実験の鬼

○ 千五百度に耐える ↑ 消防服

- 絶対に強い磁石を作ってやるぞ。
- 寺田先生たちの言葉を忘れずにがんばるぞ。

写真①
(光太郎)

鼻たらしの光さん

↑
勉強が苦手

本多 光太郎

- 毎日 片道十二キロの通学
- 明治用水づくり (三年間)

○ 志をもつことが大切

○ 苦手なことでも他人よりたくさん努力をすればできるようになる

○ 努力すれば、自分にもできるかもしれない。

○ 人の何倍も努力しよう。

4 指導上のポイント

- 資料が長文で、「K S 鋼」という金属自体に児童は日頃からなじみがないので、事前に教師が読んで聞かせたり，朗読DVDを視聴させたりするなどして授業に臨ませるようにする。
- 資料内容の理解を促し，学習への意欲を喚起するために，事前に，「本多光太郎の生涯」というビデオ教材（平成21年度宮城県自作視聴覚教材入選作品）を視聴させることも効果がある。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

↓ データダウンロード可能
FREE Download

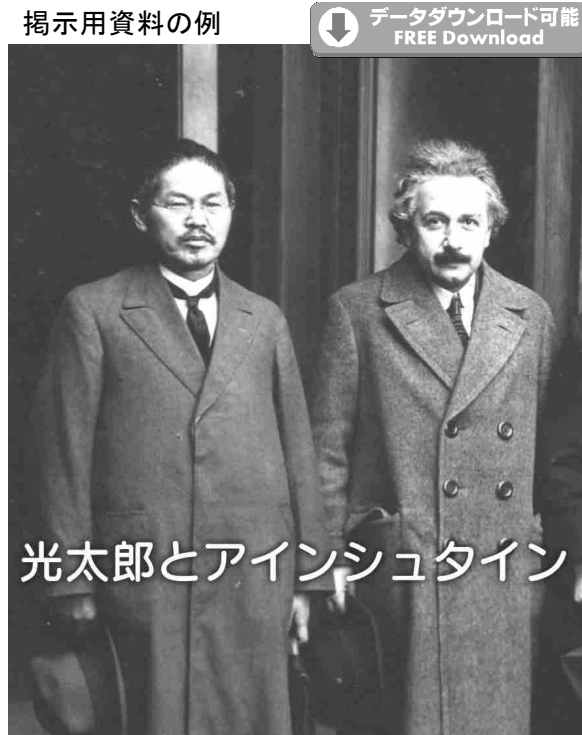
◎本多光太郎の生き方を学び、
これからの自分に役立てていきたいと
思ったことを書きましょう。

◎K S 鋼ができた瞬間、
光太郎はどんなことを考えたでしょう。

道徳・心のノート
「本多光太郎
く新しい金属をつくるく」

年
組
名
前

(2) 掲示用資料の例



光太郎とアインシュタイン
(東北大学金属研究所提供)



光太郎の書
(公益財団法人 本多記念館蔵)

第5・6学年 道徳学習指導略案

1 主題名 学び続けて ○1-(5)真理・創意進取 ・関連1-(2)希望・勇気・努力

2 資料 「土井 晩翠 — 新しい詩の世界を開く —」
(出典：みやぎの先人集 「未来への架け橋」 p.107 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自分の願いの実現に向け、積極的に進歩したものを取り入れながら新たな自己をつくっていきうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼い頃の林吉 ②	本を読むのが大好き。 中学に進み、もっともっとたくさん のことを学びたい。	幼少期の林吉について捉えさせる。	○小さい頃、林吉はどんな子どもでしたか。
質屋の店先で見習いとして働くことになった林吉 ③	勉強できなくてくやしい。 もっと学びたい。 働きながら学べる学校なら、許してもらえるかもしれない。 やっぱり英語学校で学びたい。もう一度お願いしてみよう。	自分の夢への思いが断ちきれない林吉の気持ちに共感させる。	○林吉は、質屋で働きながら、どんなことを考えていたでしょう。
英語学校への進学を認められた林吉 ④	英語学校に通えるなんてうれしいな。 やったー。これで大好きな英語を学べるぞ。 ようやく願いがかなった。頑張るぞ。 許してもらえて嬉しい。仕事も勉強も今以上に頑張るぞ。	自分の願いを実現するために努力を続けようとする姿や、願いの実現に向け歩み出せた喜びに共感させる。	◎英語学校への進学を許された時、林吉はどんなことを考えたでしょう。
日本を代表する詩人となった林吉 ⑤		学び続けた生き方が、たくさんの市民に慕われる要因になっていることを捉えさせる。	○晩翠が今でもたくさんの市民に慕われているのは、どうしてだと思いますか。

(3) 志教育との関連

- ・ 林吉の心情に共感させ、自分の願いを実現するためには強い意志が必要であり、学び続けようとする姿勢が自分の力を伸ばすことにつながることを感じ取らせる。【もとめる】
- ・ 友達の考えを聞き、今の自分に重ね合わせることで自分を見つめさせるとともに、「これからどうありたいか」に思いをはせることができるようにする。【かかわる】【もとめる】

(4) 学習過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
事前	○家庭学習として、事前に資料を読んでおくよう指示を出す。	
導入 7分	<p>1 自分の「夢」について話し合う。</p> <p>○ みなさんの夢は何ですか。その夢をかなえるために、大切なことは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカーの選手になりたい。たくさん練習することが大切。 ・ お医者さんになりたいので、家で毎日1時間勉強するようにしている。 <p>2 幼少期の土井晩翠について知る。</p> <p>○土井晩翠は、どんな子どもでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市生まれ ・ 家は質屋 ・ 本を読むのが大好き ・ 中学(今の高校)でも学問を学びたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ただ「夢」を述べるのではなく、「夢をかなえるために」という視点から児童の考えを引き出し、価値への方向付けを図る。 ◆ 現在、努力していることなどについても尋ねる。 ◆ 「志シート(未来への翼)」を活用し、児童一人一人に確認させてもよい。 ◆ 本文中の写真を拡大して提示する。 ◆ 「荒城の月」を聴かせてもよい。 ◆ 幼少期の様子について、一問一答式で確認する。また、視覚でも確認できるように掲示資料を準備しておく。 ◆ 幼少期から「学びたい」という強い気持ちをもっていることを押さえる。
展開前段 23分	<p>3 資料を読み、土井晩翠の生き方について話し合う。</p> <p>○ 林吉は、どんな気持で質屋で働いていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強できなくてくやしい。 ・ もっと学びたい。 ・ 働きながら学べる学校なら、許してもらえるかもしれない。 ・ やっぱり英語学校で学びたい。もう一度お願いしてみよう。 <p>◎ 英語学校への進学を許された時、林吉はどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語学校に通えるなんてうれしいな。 ・ やったー。これで大好きな英語を学べるぞ。 ・ ようやく願いがかなった。頑張るぞ。 ・ 許してもらえて嬉しい。仕事も勉強も今以上に頑張るぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ p.108 5行目から範読する。 ◆ 親の言いつけのために質屋で働かざるを得ない気持ち、また、そのような状況にあっても「もっと学びたい」という強い意志をもっている林吉に共感させる。 ◆ ワークシートに自分の考えをまとめさせる。 ◆ 自分の願いを実現するために努力を続けようとする姿や、願いの実現に向け歩み出すことができた喜びを感じている林吉に共感させる。 * 自分の願いを実現するために努力を続けようとする姿や、願いの実現に向け歩み出せた喜びに共感できたか。(ワークシート, 発言)

<p>展開後段</p> <p>10分</p>	<p>○ 晩翠がたくさん市民に慕われたのは、どうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有名な歌を作詞したから。 ・ 日本を代表する詩人になったから。 ・ 働きながら勉強したから。 ・ 自分の願いの実現に向け努力したから。 ・ いつも新しいことを学んでいたから。 <p>○ 自分の願いや夢を実現するために、大切なことは何だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 努力すること。 ・ つらくても最後まで頑張ること。 ・ 学びたいことに一生懸命取り組むこと。 ・ 本当にやりたいことを見つけ、自分から進んで取り組むこと。 	<p>◆ 常に学び続けた晩翠の生き方が、たくさん市民に慕われる要因になっていることに気付かせる。</p> <p>◆ ワークシートに自分の考えをまとめさせる。</p> <p>◆ 導入時と同じ発問をすることで、また、友達のよい考えをワークシートにメモさせることで、思考の深化を図る。</p> <p>◆ 出された意見を確認し、今の自分はどうかを心の中で考えさせ、自分を見つめさせる。</p>
<p>終末</p> <p>5分</p>	<p>4 今日の学びを振り返る。</p> <p>○ みんなでこの詩を読んでみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「あのねえ 自分にエンジンをかけるのは自分自身だからね」</p> </div> <p>○ 今日の学習で考えたこと、思ったことを書きましょう。</p>	<p>◆ 掲示用の資料を準備しておく。</p> <p>◆ 新しいことをなすには、自分の気持ちのもちようが大切で、それが第一歩となることを感じ取らせる。(相田みつをの詩を引用)</p> <p>* 前向きに取り組もうとすることの大切さを感じ取ることができたか。(観察、ワークシート)</p>

(5) 本時の評価

- ・ 新しいことを求め、学び続けた土井 晩翠の生き方に共感し、その前向きな姿勢が自分の力を伸ばすことにつながることを感じ取ることができたか。

(6) 板書計画

「あのねえ 自分にエンジンをかけるのは自分自身だからね」

大切なこと


- ◇ 努力すること。
- ◇ つらくても最後までがんばること。
- ◇ 学びたいことに一生懸命取り組むこと。
- ◇ 本当にやりたいことを見つけ、自分から進んで取り組むこと。

林吉、英語学校へ

- ◇ うれしいな。
- ◇ やったー。これで英語を学べる。
- ◇ ようやく願いがかなった。がんばるぞ。
- ◇ 許してもらえて嬉しい。仕事も勉強も今以上にがんばるぞ。

質屋で働く林吉

- ◇ 勉強できなくてくやしい。
- ◇ もっと学びたい。
- ◇ 働きながらなら許してもらえるかも。
- ◇ やっぱり学びたい。お願いしてみよう。



仙台市生まれ
家は質屋
本を読むのが大好き
中学でも学びたい

学び続けて(土井 晩翠)
新しい詩の世界を開く！

4 指導上のポイント

資料の晩翠の生き方について共感させたり、自分の願いをかなえるために大切なことを考えさせる時間を十分に確保したりするために、以下の点を工夫する。

- ・ 資料は前日までに一読させ（学校の読書タイムや家庭での音読等）、概要を捉えさせておく。
- ・ 導入では、青葉城址に詩碑が設置してあったり、市内の大通りの名前になるくらい市民に慕われていたことを写真資料を朗読DVDを用いて紹介する。（板書の実際を参照）
- ・ 効率よく学習を進めることができるよう、幼少期の林吉や場面を示す言葉などについて掲示資料を作成し、活用する。
- ・ 学ぶことを許された時の晩翠の気持ちに十分に共感できるよう、また、願いをかなえるために大切なことを自分の言葉で整理させるために、それぞれの場面で書く活動を取り入れる。

5 参考資料

(1) 学力向上に関する「5つの提言」との関連を踏まえたワークシートの例



こころのとびらカード

5年 番 名前

お話のだいめい	一新しい詩の世界を開くー 土井 晩翠
「こころ」のたね	みなさんは、夢がありますか。 その夢の実現に向けて、努力していることはありますか。 今日は、「夢を実現するためのヒント」が見つかるといいね。

○林吉は、どんな気持ちで質屋で働いていたでしょう。

1 英語学校への進学をゆるされた時、林吉はどんなことを考えていたでしょう。林吉になって考えてみよう。

○晩翠が、たくさんの市民にしたわれたのは、どうしてだと思いますか。

2 自分の願いや夢をかなえるために、大切なことって何だと思いますか。思いつくだけ書いてみよう。

自分の考え	なるほど！ それも大切（友達の考え）

3 今日のえいよう！
（今日の授業を通して、また、「こころのたね」について、新しく分かったこと、学んだこと、思ったこと、考えたことなど自由に書きましょう。）

ワークシート作成の意図

本時の学習内容を確認するとともに、価値への方向付けを図る。（提言3との関連）

自分の考えを明確にさせたり、深く考えさせたりする発問の際は、書く活動をしっかりと位置付けたい。
（提言4との関連）

また、よいと思う友達の考えを書き留めさせることで、相互理解を深める一助としたい。（提言2との関連）

書く活動がなくとも、主発問はプリントに書き入れておくと、児童は考えやすいかもしれません。

本時の学習を通して学んだことを整理させ、価値の内的自覚を図る一助としたい。（提言3との関連）

(2) 板書の実例（晩翠に関する写真は、ダウンロード可能。晩翠通りの写真は指導者が撮影。）

